Canon

キヤノン株式会社
キヤノン販売株式会社
〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター 全国共通電話番号

ナビダイヤル **0570-01-9000** （商品該当番号:71）

受付時間：平日9:00～20：00　土・日・祝日10:00～17:00　（1月1日～1月3日を除く）

お電話がつながりましたら、音声ガイダンスに沿って、商品該当番号＜71＞または「デジタルカメラ」とお話しください。
全国64ヶ所の最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。
自動車電話・PHSをご利用の方、海外からご利用の方は、043-211-9556をご利用ください。

※ 電話の回線状態等によっては、正しく音声認識できない場合があります。その場合は案内窓口におつなぎいたします。
※ 音声応答システム、受付時間、該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理サービスご相談窓口

付属の「修理サービスご相談窓口」（別紙）でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社	http://canon.jp/bebit/
キヤノン販売株式会社　デジタルカメラ製品情報	http://canon.jp/dc/
キヤノン販売株式会社　サポート	http://canon.jp/support/
CANON iMAGE GATEWAY	http://www.imagegateway.net/

CDI-J095-010 XXXXXXX

PRINTED IN JAPAN

Canon キヤノンデジタルカメラ PowerShot S1 IS カメラユーザーガイド

Canon

キヤノンデジタルカメラ

CDI-J095

PowerShot S1 IS
カメラユーザーガイド

CANON iMAGE GATEWAY　DiG!C



PictBridge　Exif Print　DPOF　DIRECT PRINT　BUBBLE JET DIRECT

- 最初に「ご使用の前に」（p. 4）をお読みください。
- ソフトウェアクイックガイドやダイレクトプリントユーザーガイドもお読みください。

このカメラでできること

撮影

- シャッターを押すだけで簡単に撮影できるオート撮影、多彩な機能を活用できるシャッタースピード優先AE、絞り優先AEなど、思いどおりの撮影が楽しめます。
- 光学ズームで10倍、デジタルズームと合わせて約32倍まで拡大して撮影できます。
- 高精細でなめらかな動画を音声つきで撮影できます。
- 手ブレ補正機能により、よりブレの少ない画像を撮影できます。
- SIセンサーを搭載しており、撮影した画像の縦横位置も自動的に判別します。
- 別売のワイドコンバーター、テレコンバーター、クローズアップレンズを装着して撮影できます。

再生

- 撮影した画像をその場ですぐに確認でき、必要なければすぐに削除できます。
- 動画を音声つきで再生できます。
- スライドショー機能で画像を自動的に再生できます。

編集

- 撮影した画像に音声メモを記録できます。
- 記録した動画を編集できます。

印刷（プリント）

- カメラダイレクト対応プリンター（別売）に接続し、パソコンを使わずに高画質なプリントを得られます。
- 撮影した画像は、従来の写真と同様にプリント取り扱い店でデジタルプリントできます。また、インターネットを通じてオンラインプリントもできます。
- このカメラは、標準規格「PictBridge（ピクトブリッジ）」に対応していますので、キヤノン製以外のプリンター（PictBridge 対応）も接続でき、カメラからの簡単な操作でプリントできます。

撮影した画像の活用

- パソコンに画像を取り込んで編集できます。
- 撮影した画像や音声は、カメラの起動画面や起動音、シャッター音として設定できます。
- インターネットを通じて撮影した画像をアップロードし、オリジナルアルバムを作成できます。また、そのアルバムを友人やご家族にも公開できます。

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えば電池の液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

Ni-MH

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

ガイドの使いかた

システムマップ
- 付属品・別売品の紹介
- 周辺機器との接続

クイックスタートガイド
- カメラの基本的な操作方法とボタンの説明
- ソフトウェアの基本的な操作方法

カメラユーザーガイド
- カメラの準備～撮影～再生～消去の操作方法
- パソコンとの接続方法

本　書　カメラに付属　プリンターに付属

マークについて

：カメラを正しく動作させるための注意や制限を記載しています。

：知っておくと便利になること、参考になることを記載しています。

以下のガイドもご覧ください。

ダイレクトプリント ユーザーガイド
- プリンターとの接続方法とプリント方法

修理サービス ご相談窓口
- 修理に関するお問い合わせ先

ソフトウェア クイックガイド
- 付属の CD-ROM に収められている各ソフトウェアの主な機能
- インストールに必要なパソコンのシステム構成
- ソフトウェアのインストール～パソコンとの接続～画像の取り込みの操作方法

ZoomBrowser EX ソフトウェアガイド (Windows) ImageBrowser ソフトウェアガイド (Macintosh)
- ZoomBrowser EX (Windows)、ImageBrowser (Macintosh) の詳細な使いかた

プリンターユーザーガイド
- プリンターとカメラの接続方法
- ペーパーやインクカセットの入れかた
- プリンターやペーパー、インクカセットの取り扱い上のご注意

カードフォトプリンター プリンタードライバ ユーザーガイド
- プリンタードライバのインストール方法
- プリンターとパソコンの接続方法
- プリント方法

＊ CP-300/CP-200用があります。

目次

☆ではこのカメラの機能や操作をまとめて説明しています。

ご使用の前に

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。
万一、このカメラや CF カードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

本体温度について

このカメラは、電源を入れたあと長時間お使いになっていると、本体温度が高くなることがあります。これは故障ではありませんが、長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがありますので、ご注意ください。

液晶モニターについて

液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており 99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録されている画像には影響ありません。

安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 本文中の「本機器」とは、カメラ、電池、別売のバッテリーチャージャーおよびコンパクトパワーアダプターを指します。

⚠警告

この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

⚠注意

この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。

△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。
記号の中の図は、注意事項を意味します。

⃠記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。
（左図：分解禁止）

●記号は、必ず守っていただきたいことがらを示します。記号の中の図は指示内容を意味します。

⚠ 警　告

- **カメラで太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。**視力障害の原因となります。
- **ストロボを人の目に近づけて発光しないでください。**目の近くでストロボを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。
- **本機器はお子様の手の届かないところに保管してください。**お子様が誤って本機器や電池を破損すると危険です。また、誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。
- **本機器を分解、改造しないでください。**高電圧がかかり、感電する原因となることがあります。内部の点検、調整、修理はお買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。
- **落下などにより、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。**さらに、内部が露出した際は、絶対に手を触れないでください。高電圧がかかり、感電する原因となります。速やかに、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

●**煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。**火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源を切り、その後必ず電池を外し、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

●**本機器を落としたり外装を破損した場合は、まず、カメラの電源を切り、電池を外し、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。**そのまま使用すると火災、感電の原因となります。お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

●**本機器内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。**カメラには防水処理が施されていません。水滴がかかったり、潮風にさらされたときには、吸水性のある柔らかい布で拭いてください。
万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず、カメラの電源を切り、電池を外し、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

●**お手入れのときは、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。**火災の原因となります。

●**電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。**ほこり、湿気、油煙の多いところで電源プラグを長時間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

●**電源コードに重いものを載せたり、傷つけたり、破損したり、加工しないでください。**漏電して、火災、感電の原因になります。

●**濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**感電の原因になります。また、電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などでコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

●**本機器専用以外の電源は使用しないでください。**発熱、変形して、火災、感電の原因になります。

●**電池を火に近づけたり、火の中に投げ込まないでください。**また、水の中に入れたりしないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因になります。

●**電池を分解、改造したり、加熱しないでください。**破裂により、けがの原因となります。万一、電池の電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口に付いたときは、ただちに洗い流してください。

●**電池を落とすなどして強い衝撃を与えないでください。**外装が破損した場合、電池の液漏れにより、けがの原因になります。

- **キーホルダーなどの金属類で電池の「＋」と「－」の端子を接触（ショート）させないでください。**発熱し、やけど、けがの原因となります。

- **電池を廃却する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。**廃却の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。

- **キヤノン製の単3形ニッケル水素電池およびバッテリーチャージャーをお使いください。**それ以外のものを使用すると、発熱、変形して、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

- **バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときはカメラと電源コンセントの両方から外してください。**長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。

- **別売のコンパクトパワーアダプターの出力端子は、このカメラ専用です。**他の製品にはお使いにならないでください。火災の原因となることがあります。

- **別売のワイドコンバーター、テレコンバーター、クローズアップレンズ、コンバージョンレンズアダプターを取り付けるときは、確実にねじ込んでください。**緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。

⚠ 注　意

●**直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。**電池の液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となったり、機器外装が熱により変形することがあります。また、バッテリーチャージャーで充電する際は、風通しのよいところでお使いください。

●**湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。**火災、感電、故障の原因になることがあります。

●**カメラをストラップで下げているときは、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意してください。**けがや本体の故障の原因となることがあります。

●**ストロボの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。**煙や音が出て、故障の原因になることがあります。また、連続発光後、発光部分に触らないでください。やけどの原因になることがあります。

●**ストロボ発光部分にゴミやほこりなど異物がついたまま発光しないでください。**発熱によりストロボ発光部分の損傷の原因になることがあります。

●**バッテリーチャージャーやコンパクトパワーアダプターは、必ず指定された電源コンセントを使用し、定格を超えて使用しないでください。**地域によって、電源プラグ部分が異なります。本書の「付録」をご覧ください。

●**バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターの電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが不十分なまま使用しないでください。**

●**電源プラグや充電端子部に金属性のピンやゴミを付着させないでください。**

故障を防ぐためのご注意

■電磁波による誤作動、破壊をふせぐために

カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。

■結露をふせぐために

カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

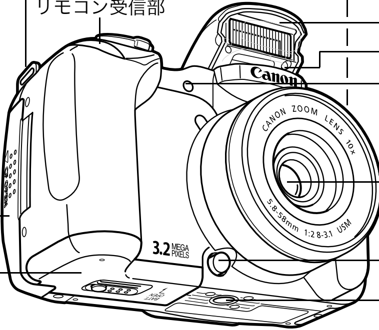
■結露が発生したときは

故障の原因になりますので、カメラをお使いにならないでください。
CF カード、電池、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、カメラをお使いください。

■長期間使用しないときは

電池をカメラやバッテリーチャージャーから取り出して、安全な場所に保存しておいてください。
電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因で、故障することがあります。

各部の名称



* カメラにパソコン、またはプリンターを接続するときに使用するケーブルは、以下のとおりです。

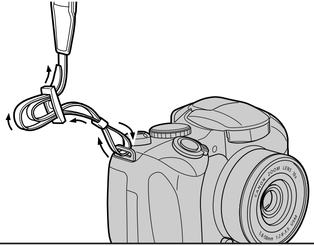
パソコン： インターフェースケーブル IFC-400PCU（カメラに付属）

カメラダイレクト対応プリンター（別売）：

- ●CPプリンター:インターフェースケーブルIFC-400PCU（カメラに付属）または、ダイレクトインターフェースケーブルDIF-100（CP-10/CP-100に付属）
- ●バブルジェットプリンタ（PIXUS）
  - ・Bubble Jetダイレクト対応プリンタ:バブルジェットプリンタの使用説明書でご確認ください。
  - ・PictBridge対応プリンタ：インターフェースケーブルIFC-400PCU（カメラに付属）
- ●キヤノン製以外の PictBridge 対応プリンター：インターフェースケーブルIFC-400PCU（カメラに付属）

このカメラで使えるカメラダイレクト対応プリンターについては、システムマップ、またはダイレクトプリントユーザーガイドでご確認ください。

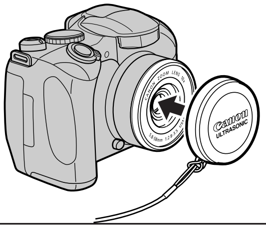
ネックストラップを取り付ける



図のようにストラップを取り付けます。
ストラップを引っ張っても止め具の部分でゆるまないことを確認してください。もう一方のストラップ取り付け部にも、同じようにストラップを取り付けます。

カメラをネックストラップで下げているときは、振り回すような持ち方を避け、他のものに引っ掛からないように注意してください。

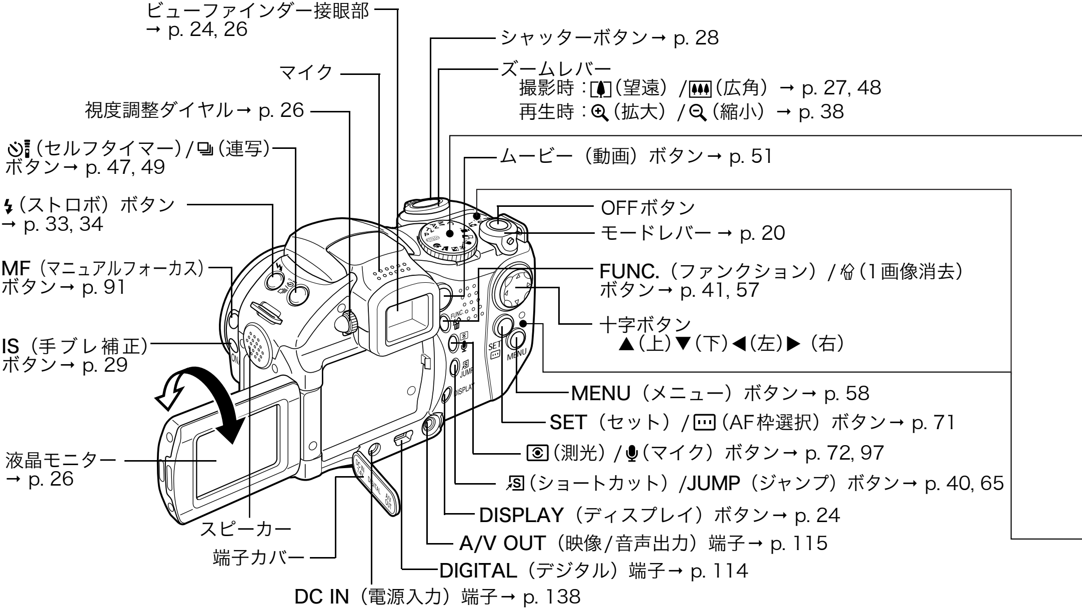
レンズキャップを取り付ける

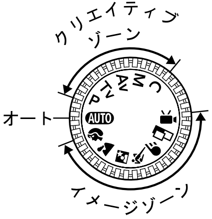


レンズキャップをレンズにかぶせるようにして取り付けます。カメラの使用後は、レンズキャップを取り付けて保管してください。

- レンズキャップのひもは、ストラップに取り付けます。
- カメラの電源を入れる前に、レンズキャップを外してください。

操作部


ビューファインダー接眼部
→ p. 24, 26
マイク
視度調整ダイヤル→ p. 26
（セルフタイマー）/（連写）
ボタン→ p. 47, 49
（ストロボ）ボタン
→ p. 33, 34
MF（マニュアルフォーカス）
ボタン→ p. 91
IS（手ブレ補正）
ボタン→ p. 29
液晶モニター
→ p. 26
スピーカー
端子カバー
シャッターボタン→ p. 28
ズームレバー
撮影時：（望遠）/（広角）→ p. 27, 48
再生時：（拡大）/（縮小）→ p. 38
ムービー（動画）ボタン→ p. 51
OFFボタン
モードレバー → p. 20
FUNC.（ファンクション）/（1画像消去）
ボタン→ p. 41, 57
十字ボタン
▲（上）▼（下）◀（左）▶（右）
MENU（メニュー）ボタン→ p. 58
SET（セット）/（AF枠選択）ボタン→ p. 71
（測光）/（マイク）ボタン→ p. 72, 97
（ショートカット）/JUMP（ジャンプ）ボタン→ p. 40, 65
DISPLAY（ディスプレイ）ボタン→ p. 24
A/V OUT（映像/音声出力）端子→ p. 115
DIGITAL（デジタル）端子→ p. 114
DC IN（電源入力）端子→ p. 138



モードダイヤル

撮影モードを選択するときに使います。

- AUTO：オート→ p. 27
  カメラまかせの撮影ができます。
- **イメージゾーン**→ p. 43
  被写体に合う条件をカメラにまかせて設定し、撮影できます。
  ：ポートレート
  ：風景
  ：夜景
  ：高速シャッター
  ：スローシャッター
  ：スティッチアシスト→ p. 45
  ：動画→ p. 51
- **クリエイティブゾーン**→ p. 67
  露出や絞りを変えるなど、思いどおりのさまざまな撮影ができます。
  P：プログラムAE
  Tv：シャッタースピード優先AE
  Av：絞り優先AE
  M：マニュアル露出
  C：カスタム

シャッターボタンを押したとき、または以下の動作中にランプが点灯、点滅します。

- **電源/モードランプ**
  橙点灯：撮影モード
  緑点灯：再生/プリンター接続モード
  黄点灯：パソコン接続モード
- **ランプ**
  赤点滅：CFカードへ記録中 / CFカードからの読み出し中 / CFカードからの消去中 / データ転送中（パソコン接続時）

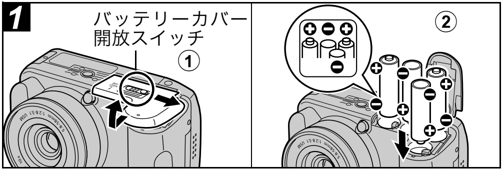
電池 / CFカードを入れる

電池と CF カードをカメラに入れ、撮影の準備をします。
電池は付属の単3形アルカリ電池、または別売の単3形ニッケル水素電池を4本入れてください。

> ランプが赤色に点滅しているときは、CF カードへの記録/読み出し中/消去中、またはデータ転送中ですので、絶対に次のことは行わないでください。画像データが壊れることがあります。
> - ●カメラ本体に振動や衝撃を与える。
> - ●カメラの電源を切ったり、CFカードスロットカバーやバッテリーカバーを開ける。

- ◆長時間お使いになるときは、コンパクトパワーアダプター CA-PS700（別売）をお使いになることをおすすめします（p. 138）。
- ◆別売のバッテリー/チャージャーキットをお使いになると、単3形ニッケル水素電池を使用することもできます（p. 136）。
- ◆電池性能について（p. 147）
- ◆お使いになれるバッテリー/チャージャーキット、単3形ニッケル水素電池については、システムマップ（別紙）をご覧ください。

1

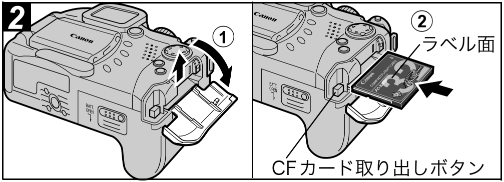


①電源が切れていることを確認し（p. 19）、バッテリーカバー開放スイッチを矢印の方向にスライドさせ、バッテリーカバーを開く

②電池を図のように入れる

- ●バッテリー室内部に貼られているシールで、電極の正しい向きを確認できます。

③バッテリーカバーを閉じる



①CF カードスロットカバーを矢印の方向にスライドさせて開く

②ラベル面を上にしてCFカードを差し込み、CFカードスロットカバーを閉じる

- CFカード取り出しボタンが飛び出すまで、しっかりと差し込んでください。CFカードを取り出すときは、このボタンを押して取り出します。

- CFカードの種類と記録画像数の目安について（p. 148）
- このカメラで初期化したCFカードをお使いになることをおすすめします（p. 18）。付属の CF カードはそのままお使いになれます。

電池の取り扱いについて

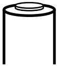
- このカメラで使用できる電池は、単3形アルカリ電池、単3形ニッケル水素電池（別売）です。単3形ニッケル水素電池は、キヤノン製のものをお使いください。単3形ニッケル水素電池の取り扱いについては、「電源キット（別売）を使う（p. 136）」をご覧ください。
- **アルカリ電池は、銘柄により容量や特性に差があるため、付属のアルカリ電池に比べ、電池の使用可能時間が短い場合があります。**
- アルカリ電池は、低温下では使用可能時間が短くなります。またアルカリ電池の特性上、ニッケル水素電池に比べ、電池の寿命が短い場合があります。低温下や長時間カメラをお使いになるときは、キヤノンの単 3 形ニッケル水素電池（4 本セット）をお使いになることをおすすめします。
- 単3形ニカド電池はお使いになれますが、性能のばらつきがあるためおすすめできません。

- **新しい電池と、他のカメラなどで使用した電池を混ぜて使わないでください。**
- **電極 ((+) と (−)) を逆にして入れないでください。**
- **メーカーや種類の異なる電池を混ぜて使わないでください。**
- 電池を入れる前に、電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていると、記録画像数が著しく少なくなったり、電池の使用可能時間が短くなります。
- 低温下では電池の性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります(特にアルカリ電池の場合)。このようなときは、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、電池の性能が回復することがあります。この際、ポケットにキーホルダーなどの金属類は入れないでください。電池がショートする恐れがあります。
- 長期間使用しないときは、カメラから電池を取り出して保管してください。電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因でカメラが故障することがあります。

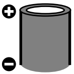
⚠ 警告

外装シールが(一部または全体に関りなく)剥がれている電池や破損している電池を使用すると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となり危険ですので、絶対にお使いにならないでください。市販されているままの状態でも、電池によっては、外装シールが十分でないものがあります。このような電池も絶対にお使いにならないでください。

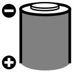
以下のような形状の電池はご使用になれません。



外装シールが一部またはすべて剥がしてある電池(裸電池)



プラス電極が平らである電池



マイナス電極の一部が膨らんでいるが、十分に外装シールで被われていない電池

電池残量について

電池残量が低下すると、液晶モニター（またはビューファインダー）に以下のようなアイコンやメッセージが表示されます。

	電池残量が低下しています。長時間お使いになる場合は、新しい電池を使用するか、早めに充電してください。
バッテリーを交換してください	電池残量が少なく、動作不能です。直ちに電池を交換してください。

CFカードの取り扱いについて

- CFカードは精密電子機器です。曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。
- CFカードを分解したり改造しないでください。
- 温度差の大きな場所へ急に移動するとCFカードに水滴が付き（結露）、故障の原因になることがあります。結露を防ぐには、移動の前にビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度に十分慣らしてからお使いください。
  結露したときは水滴が自然に消えるまで常温で放置してください。
- CFカードを保管するときは専用のケースに入れてください。
- CFカードは、下記の場所で使用したり保管しないでください。
  - ほこりや砂ぼこりの立つ場所
  - 高温多湿の場所

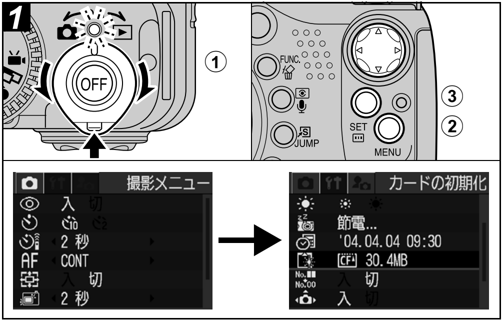
- マイクロドライブはハードディスクを使用した記録媒体であり、大容量な上に1MBあたりの単価が安いという利点があります。しかし、フラッシュメモリーを搭載したCFカードに比べると振動や衝撃に弱いので、マイクロドライブをお使いになるとき、特に記録や再生中は、カメラに振動や衝撃を加えないよう十分にご注意ください。

CFカードを初期化する

新しいCFカードをお使いになるときや、CFカード内の画像だけでなく他のデータもすべて削除したいときは、CFカードを初期化（フォーマットともいいます）します。

CFカードを初期化するとCFカードの記録内容はすべて消去されます。プロテクトをかけた画像も消去されますので、あらかじめ記録内容を十分に確認してから行ってください。

- カメラが正しく動作しないときは、CFカードが壊れている可能性があります。初期化すると正しく動作する場合もあります。
- キヤノン製以外のCFカードで正しく動作しないときは、初期化することでお使いになれることがあります。
- 他のカメラやパソコン、周辺機器で初期化したCFカードを使用すると正しく動作しない場合があります。このカメラで初期化してください。
- 初期化するときお使いのCFカードの容量よりも少ない数値が表示されますが、CFカードまたはカメラの故障ではありません。

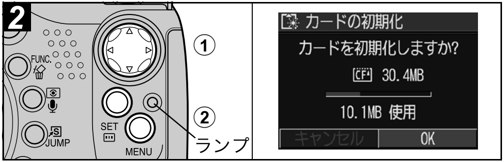


①電源を入れる（p. 19）

②MENUボタンを押し、十字ボタンの▶を押す

［(設定)］メニューが表示されます。

③十字ボタンの▲▼で［カードの初期化］を選び、SETボタンを押す



①十字ボタンの◀▶で［OK］を選び、SETボタンを押す

ランプが赤点滅し、CFカードの初期化がはじまります。ランプが消えるまでお待ちください。

- 初期化を取り消すときは［キャンセル］を選び、**SET**ボタンを押します。

②MENUボタンを押す

電源を入れる/切る

カメラに電源が入っていると、電源/モードランプが点灯します。このランプでカメラの状態がわかります。

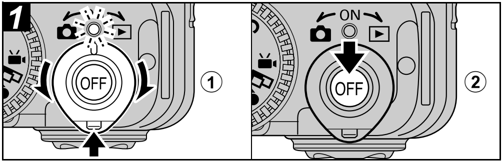
橙点灯：撮影モード
緑点灯：再生/プリンター接続モード*
黄点灯：パソコン接続モード*
消　灯：電源切

* プリンター接続モードについてはダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。パソコン接続モードについてはソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

- 電源を入れると起動音が鳴り、液晶モニターに起動画面が表示されます（p. 106）。
- 撮影モードの場合にビューファインダー表示に切り換えられていたとき（p. 24）や、カメラの端子をテレビ等に接続しているときは起動画面が表示されません。
- 撮影時はレンズに触らないように注意してください。またレンズを指で押さえるなど無理な力をかけないように注意してください。動作不良や故障の原因となります。カメラが正しく動作しないときは、一度電源を切ってからもう一度入れ直してください。

起動画面と起動音を消して電源を入れるには

🎙ボタンを押しながら電源を入れます。または液晶モニターを閉じたまま電源を入れます。



①ストッパーを押しながら、モードレバーを（撮影）または▶（再生）側に回すと電源が入る

電源が入ると、電源 / モードランプが橙または緑色に点灯します。

②電源を切るときはOFFボタンを押す

撮影 / 再生を切り換える

撮影モードと再生モードを素早く切り換えることができます。撮影直後に画像を確認したり、消去したりすることができ、またすぐに撮影に戻ることができるので便利です。

撮影モード➡再生モード

ストップパーを押しながらモードレバーを▶（再生）側に回します（p. 37）。

- 再生モードになりますが、レンズは収納されません（もう一度モードレバーを▶（再生）側に回すとレンズが収納されます）。

再生モード➡撮影モード

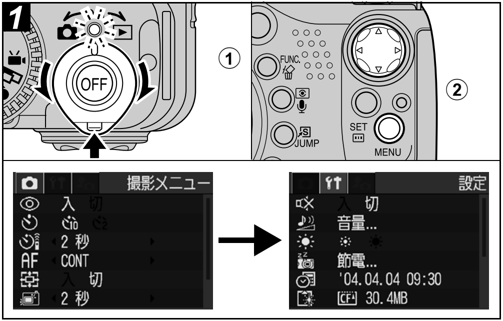
レンズキャップを外し、シャッターボタンを半押しします。

または、ストッパーを押しながらモードレバーを（撮影）側に回します（p. 27）。

日付/時刻を設定する

はじめてカメラの電源を入れたとき、リチウム電池の容量がなくなったときは、手順3から操作してください。

- 日付/時刻を設定しても、画像自体に日付/時刻を入れることはできません。日付を入れてプリントしたいときは、ダイレクトプリントユーザーガイドまたはソフトウェアクイックガイドをご覧ください。
- ボタン型リチウムイオン電池の交換（p. 139）

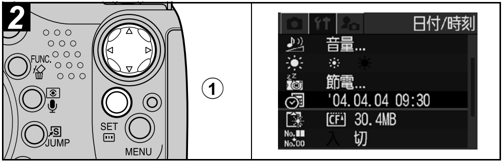


①電源を入れる（p. 19）

②MENUボタンを押し、十字ボタンの▶を押す

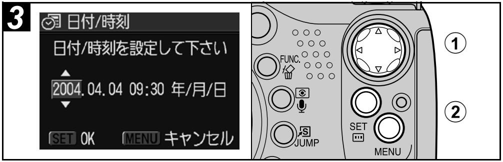
[(設定)]メニューが表示されます。

2



①十字ボタンの ▲▼ で [日付 / 時刻] を選び、SETボタンを押す

3



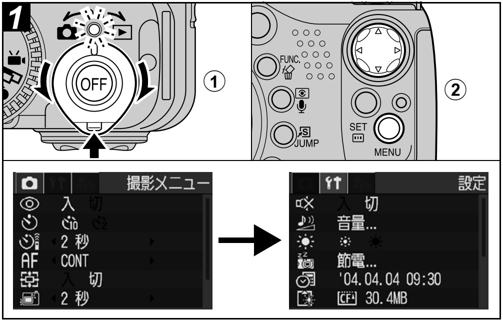
①日付と時刻を設定する

- 十字ボタンの◀▶で設定したい項目を選び、▲▼で設定内容を変更します。

②正しい日時が表示されていることを確認してSETボタンを押し、MENUボタンを押す

- 2037年まで設定できます。

言語を設定する

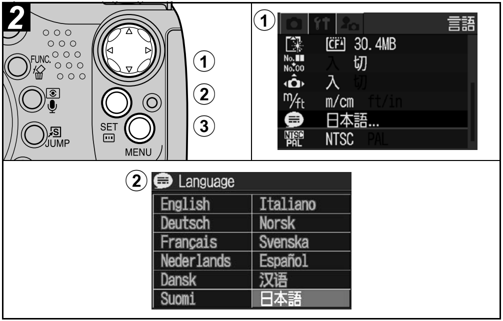


①電源を入れる（p. 19）

②MENUボタンを押し、十字ボタンの▶を押す

[(設定)] メニューが表示されます。

● カメラが再生モードのときは、**SET**ボタンを押しながら**JUMP**ボタンを押しても言語を変更することができます。動画再生時や別売のプリンター接続時は、この操作はできません。



①十字ボタンの▲▼で[言語]を選び、SETボタンを押す

②十字ボタンの▲▼◀▶で言語を選び、SETボタンを押す

③MENUボタンを押す

ビューファインダーと液晶モニターの使いかた

DISPLAYボタンを押すと、液晶モニター表示の切り換えができます。
また、液晶モニターを閉じるとビューファインダー表示に切り換わります。

撮影モードのとき

◎：**DISPLAY**ボタンを押す

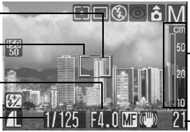
液晶モニター表示（情報表示なし） → ◎ → 液晶モニター表示（情報表示あり） → ◎ → ビューファインダー表示（情報表示あり） → ◎ → 液晶モニター表示（情報表示なし）

光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率を表示



AF枠

スポット測光枠



スポット測光枠
AF枠
絞り数値
シャッタースピード
MFインジケーター
記録可能画像数または、動画記録可能時間/経過時間（撮影時）

AF枠について
緑色点灯：撮影準備完了
黄色　　：ピントが合いにくいとき
*AF枠が鏡像（左右反転）表示のときは、表示されません。

再生モードのとき

情報表示なし → ◎ → 簡易表示 → ◎ → 詳細表示 → ◎ → 情報表示なし

（グレーの矢印）シングル再生
（黒の矢印）インデックス再生

情報表示なし



簡易表示



詳細表示



ヒストグラム（p. 152）

表示内容

機能名	アイコン	撮影モード 情報表示あり	撮影モード 情報表示なし	再生モード 詳細表示	再生モード 簡易表示	参照先
撮影モード	AUTO P Tv Av M C	○	—*1	○*2	—	p. 43, 67
露出補正	−2～+2	○	—	○*3	—	p. 74
AE ロック /FE ロック	✱	○	○	—	—	p. 82, 83
測光方式		○	—	○	—	p. 72
ホワイトバランス (WB) *4	AWB	○	—	○	—	p. 75
ドライブモード		○	—	—	—	p. 47, 49
ISO 感度	ISO 50 ISO 100 ISO 200 ISO 400	○	—	○	—	p. 77
色効果		○	—	○	—	p. 78
ブラケット		○	—	—	—	p. 81
ストロボ		○	—	—	—	p. 33
赤目緩和		○	—	—	—	p. 34
ストロボ調光補正		○	—	○*3	—	p. 85
ストロボ発光量		○	—	—	—	p. 85
圧縮率		○	—	○	○	p. 31
記録画素数	L M1 M2 S	○	—	○	○	p. 31
記録画素数（動画）	640f 640 320	○	—	○	—	p. 31
フレームレート（動画）	30 15	○	—	○	—	p. 53
ズーム倍率 *5	10x 13x 16x 20x 25x 32x	○	○	—	—	p. 48
バッテリー残量低下		○	○	○	○	p. 17
縦横自動回転		○	—	—	—	p. 104
手ブレ警告		○	○	—	—	p. 26
マニュアルフォーカス	MF	○	○	—	—	p. 91
手ブレ補正		○	—	—	—	p. 29
動画撮影	●（赤）	○	○	—	—	p. 51
WAVE 形式の音声メモ	♪	—	—	○	○	p. 97
動画	AVI	—	—	○	○	p. 54
プロテクト情報		—	—	○	○	p. 102

*1 （動画）は情報表示なしでも表示されます。
*2 C（カスタム）は表示されません。
*3 設定内容の数値もあわせて表示されます。
*4 AWB のアイコンは、撮影モードでは表示されません。
*5 光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率です。デジタルズーム時に表示されます。「10x」は光学ズームの最も望遠側（テレ端）の倍率です。

- 情報表示なしでも、撮影の設定を変更した場合などは、情報が約6秒間表示されます（そのときのカメラの設定内容によって、表示されないこともあります）。
- 光量不足のときは、撮影準備完了時に液晶モニター（またはビューファインダー）に（手ブレ警告）が表示されます。以下のようにして撮影してください。
  - ストロボをオートまたは常時発光にする
  - 手ブレ補正機能（p. 29）をオンにする
  - 三脚などでカメラを固定する
- このカメラで撮影した画像を他のカメラで再生する場合、または他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生する場合、情報を正しく表示できないことがあります。

高輝度警告について

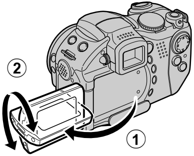
撮影画像に露出オーバー部分があると、その個所が点滅表示されます。

以下のときに高輝度警告が表示されます。

- 液晶モニター（情報表示あり）またはビューファインダーで撮影直後に画像を確認したとき
- 再生モードで詳細表示にしたとき

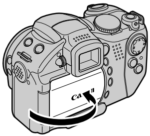
液晶モニターの使いかた

液晶モニターは次の範囲で動かせます。



左右に180度開閉できます。レンズ側に 180 度、手前側に90度回転します。

- 180度回転させたときは、レンズ側から液晶モニターを見て撮影できるように、画像が鏡像で表示されます。



液晶モニターを内側 / 外側にし、カチッと音がするまで閉じます。

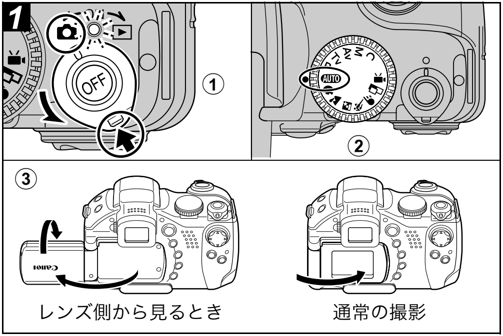
- きちんと押し込まれていないときは、画像が鏡像で表示されます。

液晶モニターの保護のため、カメラを使わないときは必ず内側にして閉じてください。

ビューファインダーの使いかた

屋外など周囲が明るい場所で液晶モニターが見えにくいときは、ビューファインダーを使って撮影してください。ビューファインダーから情報表示 (p. 24) がはっきり見えるように、視度調整ダイヤル (p. 12) で調整してください。

AUTO 撮影する（オート）

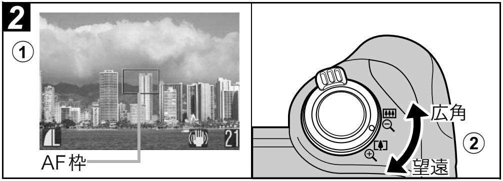


①モードレバーを （撮影）側に回す

②モードダイヤルを AUTO に合わせる

③液晶モニターを使うときは、液晶モニターを開く

- 液晶モニターを回転させることもできます。レンズ側に 180 度回転させると、画像が鏡像（左右反転）で表示され、レンズ側から液晶モニターを見て撮影できます（鏡像の設定を切ることができます（p. 61））。

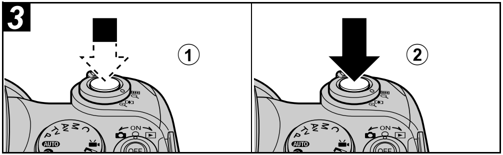


①カメラを写したいもの（被写体）に向ける

②液晶モニター（またはビューファインダー）を見ながらズームを調節して構図を決める

- ズームレバーを 側に回すと、被写体を大きく写します（望遠）。
 側に回すと、被写体を小さく写します（広角）。
ズームレバーの回しかたにより、倍率の変わる速さが切り換わります。左右いっぱいまで回すと高速で、途中まで回すとゆっくり変わります。
- 35mm フィルム換算で、38～380mm の範囲で画角を調節できます。
- デジタルズームと光学ズームを合わせて、最大約32倍に拡大して撮影できます（p. 48）。
撮影モードによっては、デジタルズームが使えないことがあります（p. 158）。
デジタルズームは、拡大するほど画質が粗くなります。

3



①シャッターボタンを浅く押して（半押し）ピントを合わせる

撮影準備が完了すると「ピピッ」と電子音が鳴り、緑色のAF枠が点灯します。

- ピントが合いにくいときは「ピッ」と電子音が鳴り、AF 枠が黄色になります。AF 枠がオート選択のときは、AF枠は表示されません。
- シャッタースピードと絞り数値が自動的に決まり、液晶モニター（またはビューファインダー）に表示されます。また、露出（p. 74）、フォーカス（p. 91）を自動設定します。

②シャッターボタンを深く押して（全押し）撮影する

撮影が終了するとシャッター音が鳴ります。
シャッター音が鳴るまでカメラを動かさないでください。撮影した画像が約2秒表示されます。

- このモードで変更できる設定（p. 158）
- 液晶モニターおよびビューファインダーの視野率*は、100%です。
  * 実際に撮影される範囲に対して、液晶モニター（またはビューファインダー）で確認できる範囲の比率です。
- 撮影した画像はいったん内部メモリーに保存され、順次CFカードに書き込まれていきます。内部メモリーに空きがあるときは、撮影後すぐに次の撮影ができます。
- CFカード記録中はランプが赤色に点滅します。
- 電子音、シャッター音の［入/切］はメニューで設定できます（p. 62）。
- シャッター音を［切］、消音を［切］に設定している場合は、全押しすると「ピッ」という電子音が1回鳴ります。
- ストロボ充電中は撮影できません。
- 撮影後、液晶モニター（またはビューファインダー）に撮影画像が表示される時間を変更したり、表示されないように設定できます（p. 30）。

手ブレ補正機能

手ブレ補正機能を使うと、遠くの被写体を大きくして撮影したいときや、薄暗い場所で撮影するときでも手ブレの少ない画像を撮影できます。初期状態では手ブレ補正機能は「入」になっています。

- ISボタン（p. 12）を押すたびに「入」と「切」が切り換わります。「入」のときは が表示されます。
- ISボタンを押し続けると、手ブレ補正モードを選択できます。以下のアイコンが表示されますので、十字ボタンの◀▶で選び、ISボタンを押します。
  - （通常時）：通常撮影
  - （テレコン装着時）：別売のテレコンバーター（p. 134）を装着しているとき選択します。
  - （ワイコン装着時）：別売のワイドコンバーター（p. 134）を装着しているとき選択します。

- 夜景撮影など、シャッタースピードを遅くして撮影するときは手ブレが補正しきれないことがあります。三脚をお使いください。
- 手ブレが大きすぎると補正しきれないことがあります。

撮影直後に画像を確認する

モードダイヤル

AUTO P Tv Av M

撮影直後に約2秒間、撮影した画像が表示されます（表示時間は変更できます。p. 30）。また、次の方法で設定時間にかかわらず画像を表示し続けます。

シャッターボタンを全押しし続ける

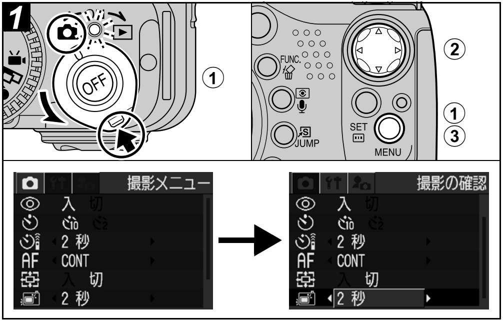
撮影した画像が表示されている間にSETボタンを押す

シャッターボタンを半押しすると解除され、撮影できます。

画像確認中に次のようなことができます。

- 画像の詳細情報を表示する（p. 24）
- 画像を拡大表示する（p. 38）
- 画像を消去する（p. 41, 42）
- 音声を録音する（p. 97）

撮影した画像の確認時間を変更する



①撮影モードで電源を入れ、(p. 19) MENUボタンを押す

［(撮影)］メニューが表示されます。

②十字ボタンの▲▼を押して［撮影の確認］を選び、◀▶を押して確認時間を選ぶ

切：画像は表示されません。
2秒～10秒：シャッターボタンを放しても設定した時間、画像が表示されます。

③MENUボタンを押す

- シャッターボタンを全押しし続けている間、設定にかかわらず画像を表示できます。
- 画像の表示中でも撮影できます。

記録画素数と圧縮率を変更する

モードダイヤル

AUTO P Tv Av M

目的に応じて、記録画素数、圧縮率（静止画）、フレームレート（動画、p. 53）を変更できます。

静止画のとき

記録画素数 画面表示	画素数		撮影の目安
L（ラージ）	2048×1536	大	●A4サイズまでプリント
M1（ミドル1）	1600×1200	↕	●Lサイズ/A5サイズをプリント
M2（ミドル2）	1024 × 768	↕	●クレジットカードサイズをプリント
S（スモール）	640 × 480	小	●電子メールで画像を送信 ●より多くの画像を撮影する

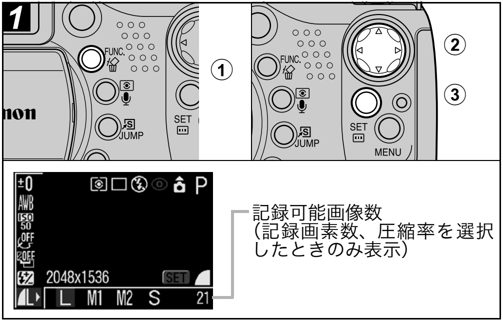
圧縮率			撮影の目安
S	スーパーファイン	きれい	より良い画質で撮影する
	ファイン	↕	通常の撮影をする
	ノーマル	普通	より多くの画像を撮影する

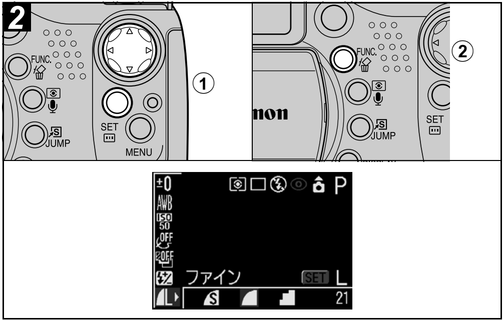
動画のとき

記録画素数		画質	撮影時間	撮影の目安
640f	640×480画素（Fine）*	きれい	短い	より良い画質で撮影する
640	640×480画素*	↕	↕	通常の撮影をする
320	320×240画素*	普通	長い	より長く撮影する

* 640fの圧縮率はファインです。640、320の圧縮率はノーマルです。

フレームレート		なめらかさ	撮影時間	撮影の目安
30	30フレーム/秒	なめらか	短い	画質を優先
15	15フレーム/秒	普通	長い	撮影時間を優先





①FUNC. ボタンを押す

②十字ボタンの▲▼で L*(2048 × 1536)を選ぶ

* 現在の設定が表示されます。

③十字ボタンの ◀▶ で設定したい記録画素数を選び、SETボタンを押す

①続けて十字ボタンの ◀▶ で設定したい圧縮率を選び、SETボタンを押す

- 設定したあとシャッターボタンを押して、すぐに撮影できます。撮影後はもう一度この画面が表示されます。
- 動画の場合は撮影できる秒数が表示されます。
- 1画像の容量（目安）について（p. 149）
- CFカードの種類別、記録可能画像数について（p. 148）

②FUNC.ボタンを押し、撮影する

ϟ内蔵ストロボを使って撮る

モードダイヤル

AUTO P Tv Av M

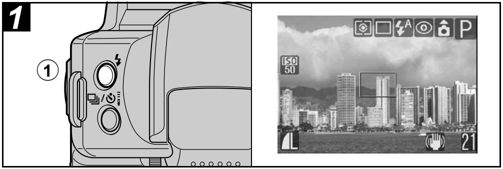
撮影状況に合わせて、ストロボを使って撮影できます。

ストロボの自動ポップアップ（p. 60）を[入]に設定しているときは、以下のように動作します。

ϟA ◎	**赤目緩和オート**	明るさに応じて自動的にストロボを発光します。 ストロボ発光の際には常に赤目緩和ランプを発光します。
ϟA	**オート**	明るさに応じて自動的にストロボを発光します。
ϟ ◎	**常時発光（赤目緩和）**	常に赤目緩和ランプとストロボを発光します。
ϟ	**常時発光**	常にストロボを発光します。
⊘	**発光禁止**	ストロボは発光しません。

ストロボがポップアップした直後は、自動でピントを合わせるまでの時間が長くなることがあります。

1



①ϟボタンを押してストロボの設定を切り換え、撮影する

液晶モニター（またはビューファインダー）に、現在の設定内容が表示されます。

- ϟボタンを押すごとに設定が切り換わります。撮影モードによっては切り換わらないこともあります。

赤目緩和機能［入］のとき（p. 34）

ϟA ◎ → ϟ ◎ → ⊘ →（ϟA ◎に戻る）

赤目緩和機能［切］のとき

ϟA → ϟ → ⊘ →（ϟAに戻る）

- 使用後は必ずストロボを指で押し下げて収納してください。

ストロボの自動ポップアップを［切］に設定しているとき

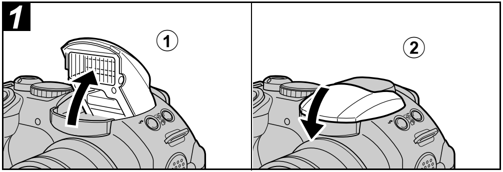
モードダイヤル

P Tv Av M

ストロボの自動ポップアップを [切] に設定しているときは、手動でストロボの発光を切り換えます。

ストロボが上がっている（⚡）	常にストロボを発光します。
ストロボが下がっている（⚡）	ストロボは発光しません。

1



① ⚡ボタンを押してストロボを上げ、撮影する

② ストロボを使わないときは指で押し下げて収納する

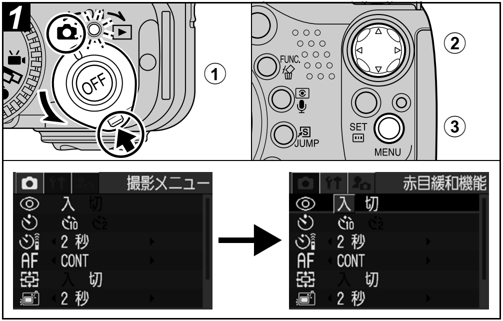
赤目緩和機能を設定する

モードダイヤル

AUTO P Tv Av M

暗いところでストロボを発光するとき、赤目緩和ランプを発光します。ストロボの光が目に反射して目が赤く光るのを防ぎます。

1



① （撮影）モードで電源を入れ (p. 19)、MENUボタンを押す

[（撮影）] メニューが表示されます。

②十字ボタンの▲▼で[赤目緩和機能]を選ぶ

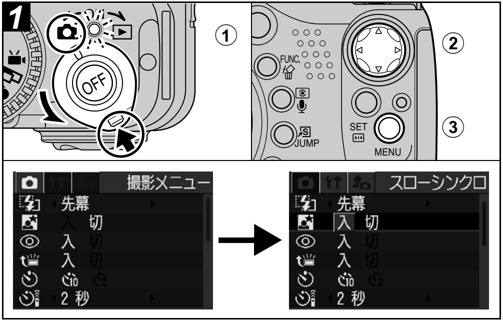
③十字ボタンの◀▶で[入]を選び、MENUボタンを押す

- 情報表示ありのときは、液晶モニター（またはビューファインダー）に ◎ が表示されます。
- 赤目緩和で撮影するときは、写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るように声をかけてください。また、「レンズを広角側にする」「室内を明るくする」「写したい人に近づく」とより効果が上がります。

スローシンクロを設定する

モードダイヤル
P Av

遅いシャッタースピードで、ストロボを発光して撮影します。夜景や室内の照明を利用した撮影などで、背景だけが暗くなるのを軽減できます。



①（撮影）モードで電源を入れ（p. 19）、MENUボタンを押す

[（撮影）]メニューが表示されます。

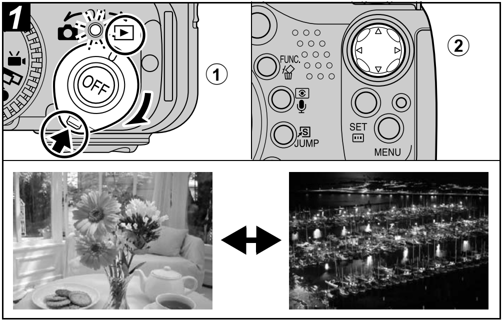
②十字ボタンの ▲▼ で [スローシンクロ] を選ぶ

③十字ボタンの◀▶で[入]を選び、MENUボタンを押す

ISO 感度を上げてストロボ撮影する場合、被写体との距離が近いほど、白飛びしやすくなります。

- 撮影メニューの［ストロボ自動調光］が［入］のときは、自動調光で発光します。**M**または［ストロボ自動調光］が［切］のときはマニュアル発光します。
- ［ストロボ自動調光］が［入］のとき、ストロボの発光はプリ発光（ストロボ撮影に必要な露出情報を得るための予備的な発光）とメイン発光（ストロボ撮影を行うための発光）の2回行われます。プリ発光で得た被写体の露出情報をもとにして、メイン発光に必要な発光量が決められ、最適な発光量でストロボ撮影が行われます。
- ストロボ発光時に有効なシャッタースピードは、最高で 1/250 秒です。1/250 秒よりも高速のシャッタースピードを設定した場合は、自動的に1/250秒に再設定され、撮影されます。
- ストロボ充電中は撮影できません。
- ストロボの充電には約 10 秒かかる場合があります。充電時間は使用状況や電池の容量などにより変わります。
- ストロボ調光補正量、ストロボ発光量を変えられます（p. 85）。
- ［スローシンクロ］を［入］にして撮影すると手ブレしやすくなります。三脚をお使いになることをおすすめします。
- **P**、**Tv**、**Av**、**M**の場合、設定したストロボモードは、カメラの電源を切っても解除されません。

1画像ずつ見る（シングル再生）



①モードレバーを右に回して再生モードにする

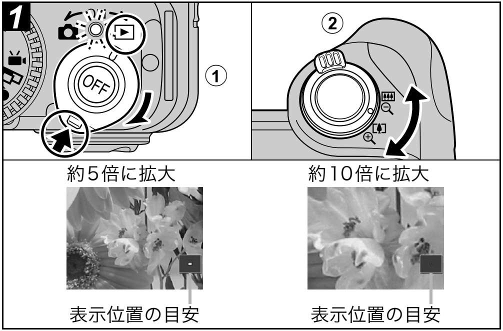
最後に撮影した画像が液晶モニター（またはビューファインダー）に表示されます。

②十字ボタンの◀▶で表示画像を切り換える

- ◀で前の画像、▶で次の画像が表示されます。ボタンを押し続けると早く進みます。ただし、表示される画像は粗くなります。
- **JUMP**ボタンを押したあと十字ボタンの◀▶を押すと、10 個前または後の画像が表示されます。もう一度**JUMP**ボタンを押すと、シングル再生の画面に戻ります。
- **DISPLAY**ボタンを押すと、表示されている画像の情報が表示されます（p. 24）。
- 消去ボタンを押すと、表示されている画像を簡単に消去できます（p. 41）。

> ! 他のカメラで撮影したり、パソコンまたは他のアプリケーションソフトウェアで編集した画像は、カメラで再生できないことがあります。

⊕拡大して見る

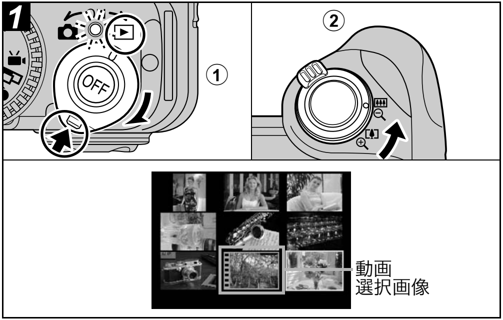


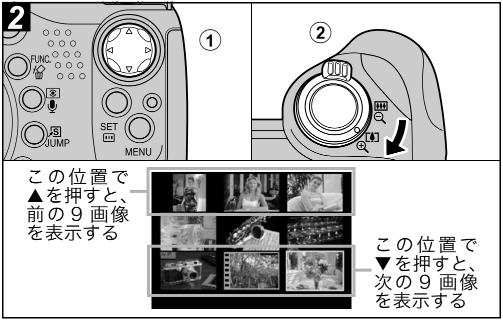
①モードレバーを右に回して再生モードにする

②ズームレバーを⊕側に回すと拡大表示され、⊖側に回すと拡大表示が解除される

- シングル再生で表示している画像を、最大約10倍に拡大表示できます。**SET** ボタンを押しながらズームレバーを⊕側に回すと、画像が約 2.5倍→約5倍→約10倍の順に拡大表示されます。
- 十字ボタンの ◀▶ または ▲▼ で表示位置を変更できます。
- 動画、インデックス再生時は拡大表示できません。
- 撮影直後に表示される画像も、拡大して見ることができます（p. 29）。

9画像ずつまとめて見る（インデックス再生）





①モードレバーを右に回して再生モードにする

②ズームレバーを🔍︎側に回す

- 9画像ずつまとめて表示されます（インデックス再生）。

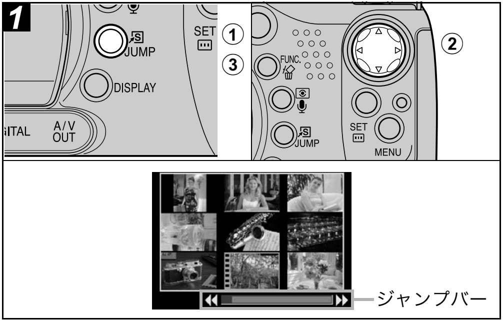
①十字ボタンの◀▶または▲▼で選択画像を切り換える

- **DISPLAY**ボタンを押すと、選択されている画像の情報が表示されます（p. 24）。

②ズームレバーを🔍︎側に回す

- インデックス再生を終了し、シングル再生に戻ります。

JUMP 9画像ずつ表示を切り換える



①シングル再生時(p. 37)またはインデックス再生時（p. 39）に、JUMPボタンを押す

ジャンプバーが表示されます。

②十字ボタンの◀▶で画像を切り換える

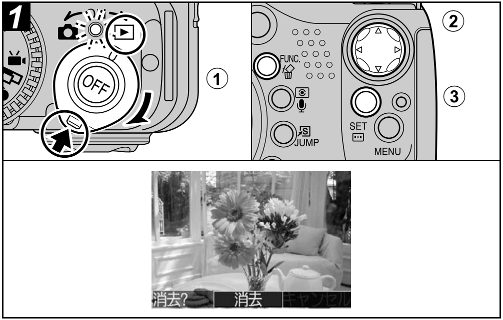
- **シングル再生のとき**：前または次の10画像目が表示されます。
- **インデックス再生のとき**：前または次の9画像が表示されます。

③JUMPボタンを押す

ジャンプバーが消え、シングル再生またはインデックス再生に戻ります。

1画像ずつ消去する

消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。



①モードレバーを右に回して再生モードにする

最後に撮影した画像が表示されます。

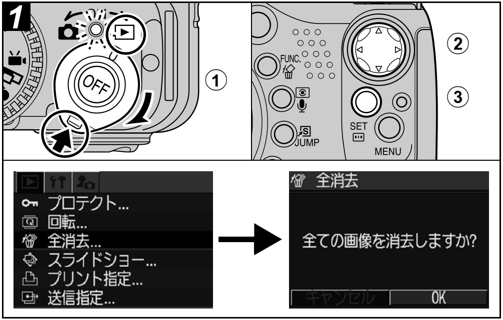
②十字ボタンの◀▶で消去したい画像を選び、ボタンを押す

③十字ボタンの◀▶で[消去]を選び、SETボタンを押す

- 消去を取り消すときは[キャンセル]を選びます。
- プロテクトされている画像は消去できません(p. 102)。

全画像を消去する

消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。



①モードレバーを右に回して再生モードにし、MENUボタンを押す

［▶(再生)］メニューが表示されます。

②十字ボタンの▲▼で［全消去］を選び、SETボタンを押す

③十字ボタンの◀▶で［OK］を選び、SETボタンを押す

- 消去を取り消すときは［キャンセル］を選びます。
- プロテクトされている画像は消去できません(p. 102)。

[全消去]を行うと、CFカード内に記録されている画像データをすべて消去します。画像データだけでなく、CFカードの記録内容をすべて消去したいときは、CFカードを初期化してください(p. 18)。

モードダイヤルを使う（イメージゾーン）

被写体に合う条件をモードダイヤルで簡単に設定できます。

風景



広がりのある風景を撮影できます。

ポートレート



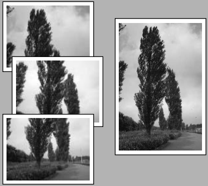
背景をぼかして人物を浮き立たせます。

動画 → p. 51

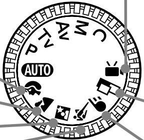
動画を撮影できます。音声も同時に録音されます。

スティッチアシスト → p. 45





撮影した画像を合成してパノラマ画像を作れます。



夜景



夕暮れや夜景をバックにした人物を撮影できます。人物にストロボ光をあて、背景を遅いシャッタースピードで撮影します。

高速シャッター

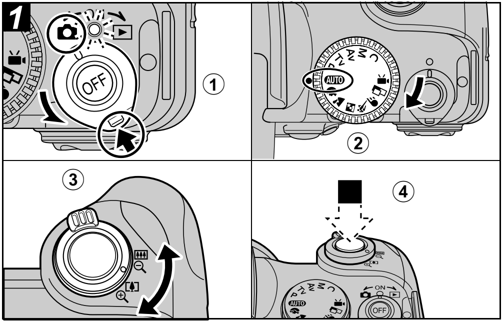


動きの速い被写体を撮影できます。

スローシャッター



動いている被写体をぶれさせたり、川の流れなどを撮影できます。



①モードレバーを左に回して撮影モードにする

②モードダイヤルを回し、使いたい機能を図のように合わせる

③被写体にカメラを向け、ズームレバーで被写体の大きさを決める

④シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- 撮影手順は「AUTO 撮影する（オート）」（p. 27）と同じです。

- このモードで変更できる設定（p. 158）
- 選択している機能により、以下のように撮影してください。

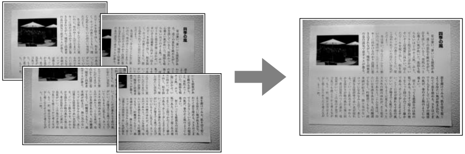
	被写体の上半身が液晶モニター（またはビューファインダー）いっぱいになるようにすると、背景を効果的にぼかすことができます。
	レンズを望遠側にすると背景をさらにぼかすことができます。
	シャッタースピードが遅くなりやすいので、液晶モニター（またはビューファインダー）に（手ブレ警告）が表示されたら三脚を使用してください。
	シャッタースピードが遅くなります。ストロボが発光してもすぐに動かないように、写される人に声をかけてください。
	日中に撮影すると、AUTO と同じ撮影効果になります。
	スローシンクロが自動的に［入］になります。
	被写体が暗い場合はノイズが目立つことがあります。
	手ブレを防ぐために必ず三脚をお使いください。

パノラマ画像を撮る（スティッチアシスト）

撮影した画像をパソコンで合成（スティッチ）し、パノラマ画像を作るときに使います。







パソコンでの画像合成には、付属のソフトウェア「PhotoStitch」をお使いください。

被写体のとらえ方

PhotoStitch は隣り合う画像の共通部分を見つけて合成処理を行います。共通部分にはできるだけ特徴のある被写体（目印となる被写体）を入れて撮影してください。



- 隣り合う画像の共通部分は、画像の幅の 30 ～ 50%になるように撮影します。また、上下のズレは画像の高さの10%以内で撮影します。
- 共通部分には、動いている被写体などが入らないように注意してください。
- 遠くの被写体と近くの被写体が混在する画像をスティッチしないでください。物体がゆがんだり、二重に写ったりすることがあります。
- 撮影時の明るさはできるだけ揃えてください。画像の明るさが違いすぎると、不自然な画像になってしまうことがあります。
- 遠くの風景を撮るときは、カメラを中心に回転して撮影します。

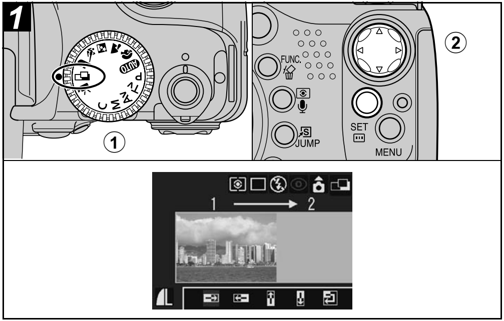
- 至近距離では、カメラをスライド（カメラを被写体に対して平行移動）させます。

撮影する

スティッチアシストには、次の5つの撮影方向があります。

	左から右方向へ水平に撮影します。
	右から左方向へ水平に撮影します。
	下から上へ垂直に撮影します。
	上から下へ垂直に撮影します。
	左上を基点に時計回りに撮影します。

- このモードで変更できる設定（p. 158）
- マニュアルホワイトバランス（p. 76）の場合、では基準となる白データの取り込みができません。あらかじめ他の撮影モードで白データを取り込んでおいてください。
- 2画像目以降の撮影では最初の設定が保持されます。
- テレビと接続しても、液晶モニター（またはビューファインダー）の画像をテレビに表示して撮影することはできません。



①モードダイヤルをにする

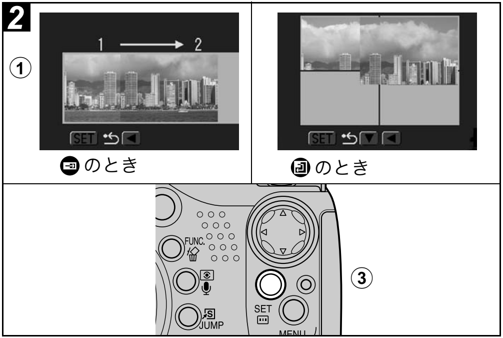
②十字ボタンの◀▶で撮影方向を選び、SETボタンを押す

撮影方向が設定されます。

- **SET** ボタンの代わりにシャッターボタンを押して撮影することもできます。

③最初の画像を撮影する

- 1画像目の撮影で露出やホワイトバランスがロックされます。



①最初の画像に重ね合わせ、次の画像を撮影する

- 画像が重なる部分は、多少ずれても合成時に修正されます。
- 十字ボタンの ▲▼◀▶ を押すと撮影済みの画像に戻り、撮影のやり直しができます。
- 水平/垂直方向の撮影では、最大26画像まで撮影できます。

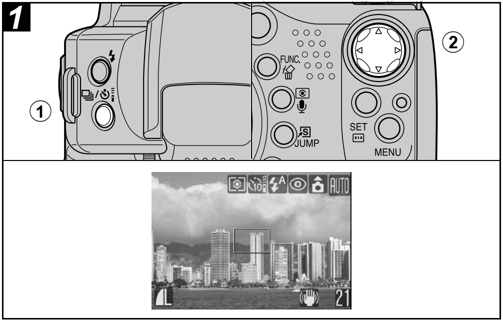
②同様の操作で3画像目以降を撮影する

③最後の画像の撮影後、SETボタンを押す

セルフタイマーで撮る

モードダイヤル





① / ボタンを押す

現在の設定が表示されます。

- ボタンを押すごとに設定が切り換わります。



- ● と は［ (撮影)］メニューの［セルフタイマー］で切り換えます（p. 60）。
- ● はシャッターボタンを全押ししてから10秒後に、 は2秒後に撮影されます。

② または が表示されていることを確認し、撮影する

- ● を選んだときは、シャッターボタンを全押しするとセルフタイマー音が鳴り、セルフタイマーランプが点滅します。撮影２秒前になると点滅が速くなります。
- ● を選んだときは、シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーランプが最初から速く点滅し、2秒後に撮影されます。
- ●セルフタイマー音は、［ (マイカメラ) ］メニューの[セルフタイマー音]で変更できます(p. 63)。

デジタルズームで撮る

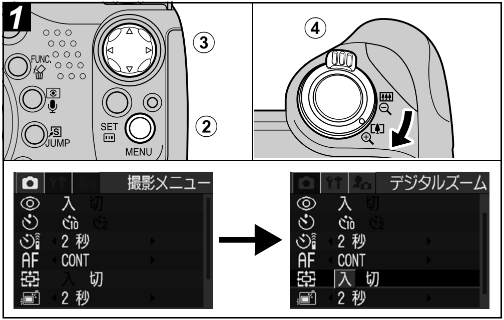
モードダイヤル

AUTO P Tv Av M

光学ズームと組み合わせて、次の倍率（目安）に拡大できます。

13倍、16倍、20倍、25倍、32倍

- ◆デジタルズームは、拡大するほど画質が粗くなります。
- ◆最も望遠側まで拡大すると、いったん停止します。もう一度ズームレバーを[ ]側に回すと、さらに拡大できます。
- ◆ズームレバーを 側に回すと、倍率が下がります。



①モードダイヤルを と 以外の任意の位置にする

②MENU ボタンを押し、［（撮影）］メニューを表示させる

③十字ボタンの▲▼で［デジタルズーム］を選び、◀▶で［入］を選んで MENU ボタンを押す

④ズームレバーを 側に回して撮影する

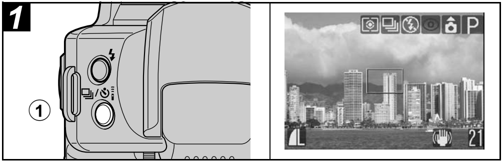
連続して撮る

モードダイヤル

P Tv Av M

シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影します。

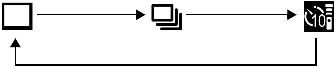
- 内部メモリーがいっぱいになると、撮影間隔が（多少）長くなります。
- ストロボは使用できますが、撮影のたびにストロボの充電時間がかかるため撮影間隔が（多少）長くなります。



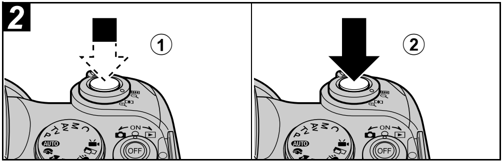
① /ボタンを押す

現在の設定が表示されます。

- ボタンを押すごとに設定が切り換わります。



② を選択する



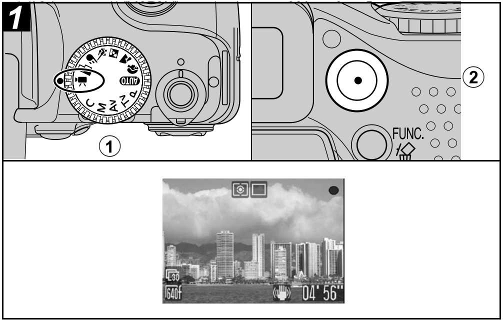
① シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

② シャッターボタンを全押しし続けて撮影する

- シャッターボタンを放すと撮影が終了します。
- 連続撮影速度は約1.7画像/秒*です。

* ラージ/ファイン時
(当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。)

動画を撮る



①モードダイヤルを にする

記録可能時間（秒数）が表示されます。

②動画ボタンを押す

「ピッ」という電子音が鳴り、撮影が開始されます。同時に音声も記録されます。

- もう一度動画ボタンを押すと「ピピッ」と電子音が鳴り、撮影が終了します。
- 撮影中は録画ランプが赤点滅します。終了すると消灯します。撮影メニューの [録画ランプ] が [切] に設定されているときは点滅しません (p. 61)。

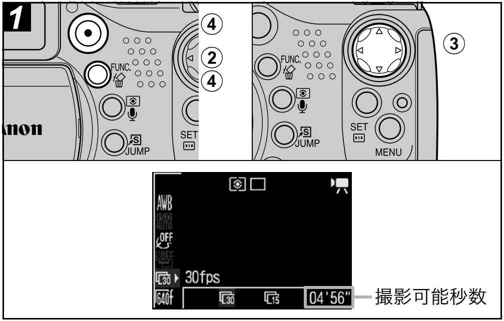
- 1回の撮影での最長記録可能時間は約1時間、最大記録可能容量は1 GBです。CFカードの容量や種類によって変わります。
  撮影時間が1時間になる、CF カードの容量がいっぱいになる、または 1GB になる直前に、液晶モニター（またはビューファインダー）右下の記録可能時間が赤表示になり、約10秒後、自動的に撮影が終了します。
- カメラの使用状況やご使用のCFカードの性能により、記録時間や記録容量が変わることがあります。記録時間や記録容量に余裕がある場合でも、カメラの内部メモリーが少なくなると、液晶モニター（またはビューファインダー）の右下に「！」が赤表示され、まもなく撮影が自動的に終了します。「！」が頻繁に表示されるときは、以下の方法をお試しください。
  - 撮影する前にCFカードを初期化する (p. 18)
  - 撮影中のズーム操作を控える
  - 記録画素数を 320 (320 × 240) にするか、フレームレートを 15 (15fps) にする
  - 高速の CF カード（FC-512MSH など）を使用する

●以下のようなCFカードをお使いのときは、撮影中に正しい撮影時間が表示されなかったり、撮影が途中で中断することがあります。
- 書き込み速度が遅い
- 他のカメラやパソコンで初期化した
- 撮影/消去を繰り返した
撮影時間が正しく表示されないときも、CFカードには実際に撮影した時間の動画が記録されています。CFカードをこのカメラで初期化すると、正しい時間が表示されます（書き込み速度の遅いCFカードを除く）。
●撮影中はマイクに触れないようにしてください。
●撮影後にランプが赤点滅し、データを記録します。このときは撮影できません。
●カメラ内部の温度が高くなると、液晶モニター（またはビューファインダー）左上に（温度計アイコン）が赤表示されます。さらに温度が上がると、CFカード（またはマイクロドライブ）を保護するため自動的に撮影を終了し、「温度上昇のため電源が切れます」というメッセージを表示して電源が切れます。そのときはカメラを約30分放置し、十分に冷ましてからお使いください。CFカード（またはマイクロドライブ）が熱くなっていますが、故障ではありません。
なお、静止画の撮影はできますので、電源を入れ直してお使いください。

◆このモードで変更できる設定（p. 158）
◆記録画素数、フレームレートについて（p. 31）
◆動画撮影中でも、以下の操作ができます。
- ズーム（デジタルズームを除く）
- AFロック：**MF**ボタンを押します。液晶モニター（またはビューファインダー）にAFLが表示されます。もう一度**MF**ボタンを押すと解除できます。
- AEロック、露出補正：ボタンを押します。液晶モニター（またはビューファインダー）に露出補正バーが表示されます。◀▶で露出を変更できます。もう一度ボタンを押すと解除できます。
- **IS**（手ブレ補正）ボタンを押して、入/切を切り換える。
◆音声はモノラルで録音されます。
◆動画撮影時はシャッター音が鳴りません。
◆動画ファイル（ファイル形式：AVI、圧縮形式：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、QuickTime 3.0以上が必要です（付属のDigital Camera Solution Disk には、Windows 版のQuickTime が収められています。なお、Mac OS 8.5以降には標準装備されています）。

フレームレートを変更する

動画撮影時に、1 秒あたりのフレーム数を選択できます。



①モードダイヤルを にする

②FUNC.ボタンを押す

③十字ボタンの▲▼で *（30fps）を選んだあと、◀▶ で設定したいフレームレートを選ぶ

* 現在の設定が表示されます。

：1 秒あたり 30 フレーム撮影します。

：1 秒あたり 15 フレーム撮影します。

- 撮影できる秒数は記録画素数との組み合わせで変わります（p. 149）。
- 設定したあと動画ボタンを押して、すぐに撮影できます。撮影後はもう一度この画面が表示されます。

④FUNC. ボタンを押したあと、動画ボタンを押して撮影する

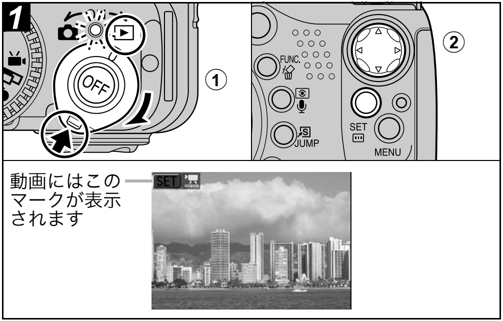
動画を見る/編集する

で撮影した動画を再生したり、前や後の不要な部分を削除できます。

- ●プロテクトされている動画は編集できません(p. 102)。
- ●編集した動画を新規保存するときやファイルサイズによっては、時間がかかることがあります。途中で電池がなくなると、編集した動画が保存できないことがあります。動画を編集するときは別売の、フル充電の単 3 形ニッケル水素電池またはコンパクトパワーアダプター CA-PS700 をお使いになることをおすすめします。

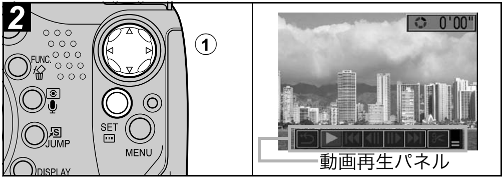
読み込み速度の遅い CF カードを使用していて、撮影時に記録画素数とフレームレートを以下のように設定していた動画を再生しているときは、再生が一瞬中断することがあります。

- 記録画素数を (640 × 480 Fine) にしているとき
- 記録画素数を (640 × 480)、フレームレートを (30fps) にしているとき



①モードレバーを右に回して再生モードにする

②十字ボタンの ◀▶ で動画を選び、SETボタンを押す



①動画再生パネルのボタンを十字ボタンの◀▶で選び、SETボタンを押す

動画再生パネル

（終了）：手順 1 の画面に戻る
（再生）：動画と音声の再生開始
（先頭フレーム）：最初のフレームを表示
（フレーム戻し）：**SET**ボタンを押し続けると巻き戻し
（フレーム送り）：**SET**ボタンを押し続けると早送り
（最終フレーム）：最後のフレームを表示
（編集）：動画の編集→手順 3

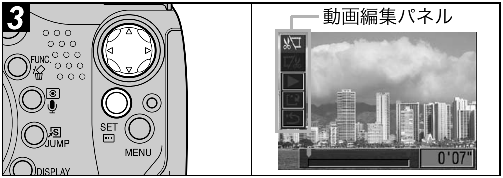
再生中の操作

▲▼：再生中の音量を調節
SET：再生の一時停止
　　もう一度押すと再生開始

再生が終了すると

最後のフレームが表示されたままで停止します。
SET：動画再生パネルを表示
　　もう一度押すと最初のフレームから再生開始

- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声が途切れることがあります。
- 設定メニューでも動画の再生音量を調節できます。
- テレビで動画を再生するときの音量は、テレビで調節してください。
- 動画を編集しないときは、ここで操作終了です。



①動画編集パネルのボタンを十字ボタンの▲▼で選ぶ

（前部を削除）：動画の前部を削除
（後部を削除）：動画の後部を削除
▶（再生）：仮編集した動画を再生
（保存）：動画を保存
（終了）：動画編集を中止し、手順 2 の画面に戻る

- 編集前の長さが 1 秒以上の動画を 1 秒単位で編集できます。

②◀▶で編集位置を選ぶ

③▲▼で ▶（再生）を選び、SETボタンを押す

仮編集した動画が再生されます。

- SETボタンを押すと再生を停止します。

④▲▼で （保存）を選び、SETボタンを押す

- （終了）を選ぶと編集内容を保存せずに手順 2 の画面に戻ります。

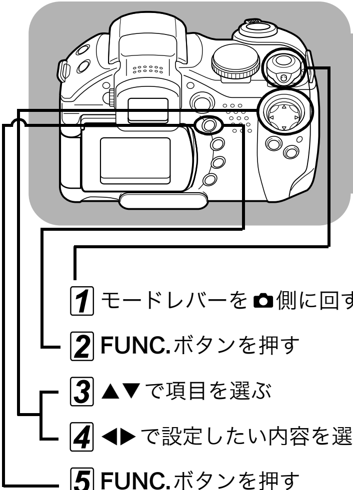
⑤◀▶で［上書き保存］または［新規保存］を選び、SETボタンを押す

上書き保存：編集前の画像と同じファイル名で保存されます。編集前のデータは残りません。
新規保存：編集した画像に新しいファイル名をつけて保存されます。編集前のデータは残ります。

- CFカードの空き容量が足りないときは、上書き保存しかできません。このとき、動画編集バーのカウンターに▲が表示されます。

メニューの選択と設定のしかた

FUNC. ボタンを押して設定する（撮影モードのとき）



2

1 モードレバーを 側に回す

2 **FUNC.**ボタンを押す

3 ▲▼で項目を選ぶ

4 ◀▶で設定したい内容を選ぶ

5 **FUNC.**ボタンを押す

6 撮影する

3 ▲▼で項目選択

露出補正（±０）→ p. 74



ホワイトバランス（AWB）→ p. 75



ISO感度（ISO 50）→ p. 77



色効果（OFF）→ p. 78



ブラケット（OFF）→ p. 81



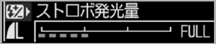
（　　）は初期設定値

4 ◀▶で設定内容選択

ストロボ調光補正（±0）→ p. 85



ストロボ発光量→ p. 85



記録画素数（L）→ p. 31



圧縮率（ ）→ p. 31



記録画素数･動画（640）→ p. 31



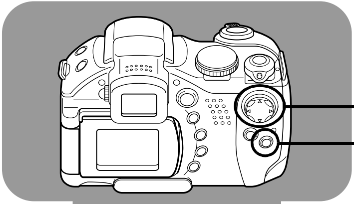
フレームレート（30）→ p. 53



5

6 撮影する

MENUボタンを押して設定する



1 **MENU**ボタンを押す

2 ◀▶ でメニューを切り換える

3 ▲▼ でメニュー項目を選ぶ
(機能によっては選んだあと**SET**ボタンを押す)

4 ◀▶ で設定したい内容を選ぶ
(機能によっては選んだあと**SET**ボタンを押す)

5 **MENU**ボタンを押す

6 撮影モードのときは撮影する

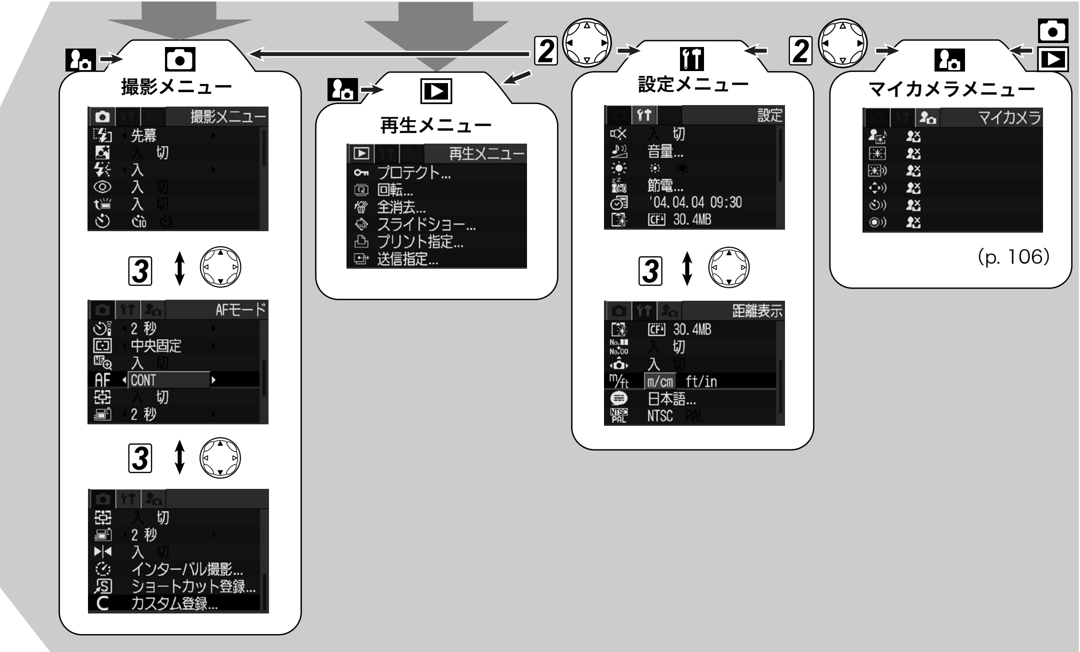
撮影時 1 MENU **再生時**

撮影メニュー　再生メニュー ↔ 設定メニュー ↔ マイカメラメニュー

5 MENU

6 撮影する

撮影モードのときは、シャッターボタンを半押ししてもメニューを終了できます。（再生モードのときにシャッターボタンを半押しすると、メニューが終了し、撮影モードになります。）


撮影メニュー
撮影メニュー
先幕
入 切
入
入 切
入 切
3
AFモード
2 秒
中央固定
入 切
AF CONT
入 切
2 秒
3
入 切
2 秒
入 切
インターバル撮影...
ショートカット登録...
カスタム登録...
再生メニュー
再生メニュー
プロテクト...
回転...
全消去...
スライドショー...
プリント指定...
送信指定...
2
設定メニュー
設定
入 切
音量...
節電...
'04.04.04 09:30
30.4MB
3
距離表示
30.4MB
入 切
入 切
m/cm ft/in
日本語...
NTSC PAL
2
マイカメラメニュー
マイカメラ
(p. 106)

- 撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります（p. 158）。
- マイカメラメニューの設定内容 と には、好きな画面や音を登録できます。詳しくは「マイカメラコンテンツを新規登録する (p. 107)」、またはソフトウェアクイックガイドをご覧ください。
- カメラの設定を初期設定に戻せます（p. 64）。

撮影メニュー

メニュー項目	内容	参照先
ストロボ発光	ストロボ発光のタイミングを設定します。 **先幕* / 後幕**	p. 86
スロー シンクロ	遅いシャッタースピードでストロボ発光するかしないかを設定します。 **入 / 切***	p. 35
ストロボ 自動調光	ストロボの自動調光をするかしないかを設定します。 **入* / 切**	p. 84
赤目緩和機能	ストロボ発光のとき、赤目緩和ランプを発光するかしないかを設定します。 **入* / 切**	p. 34
自動ポップアップ	ストロボを自動でポップアップするかしないかを設定します。 **入* / 切** [切] に設定するとストロボは自動発光しません。	p. 33
セルフ タイマー	セルフタイマー撮影のとき、シャッターボタンを押してから撮影されるまでの時間を設定します。 **(10 秒)* / (2 秒)**	p. 47

メニュー項目	内容	参照先
リモコン撮影	リモコンのシャッターボタンを押してから撮影されるまでの時間を設定します。 **0 秒 / 2 秒 * / 10 秒**	p. 132
スポット測光枠	測光方式で [スポット測光枠] を選んだとき、測光を中央枠内に固定するか、指定された AF 枠内にするかを選択します。 **中央固定 * / AF 枠連動**	p. 72
MF 拡大表示	マニュアルフォーカスのとき拡大表示するかしないかを設定します。 **入 * / 切**	p. 91
AF モード	撮影時のフォーカス動作を設定します。 CONT* / SINGLE	p. 93
録画ランプ	動画撮影時、録画ランプを点滅するかしないかを設定します。 **入 * / 切**	p. 51
デジタルズーム	光学ズームと合わせて、拡大するかしないかを設定します。 **入 / 切 ***	p. 48
撮影の確認	撮影してシャッターボタンを放したあと、撮影した画像を液晶モニター（またはビューファインダー）に表示する時間を設定します。 **切 / 2 秒 * ～ 10 秒**	p. 30
鏡像表示	液晶モニターを180度回転させたとき、画像を鏡のように反転させて表示するかしないかを設定します。 **入 * / 切**	p. 26
インターバル撮影	一定の間隔をあけて自動的に撮影します。 2 枚 * ～ 100 枚 1 分 * ～ 60 分	p. 87
ショートカット登録	（ショートカット）ボタンに登録する機能を選択します。	p. 65
カスタム登録	撮影メニュー、ファンクションメニューで設定した内容をモードダイヤルの **C** に登録します。	p. 94

* 初期設定

再生メニュー

メニュー項目	内容	参照先
プロテクト	画像を消去できないようプロテクト（保護）を設定します。	p. 102
回転	時計方向に 90 度、270 度に回転して画像を表します。	p. 96
全消去	CFカードに記録されている画像をすべて消去します。（プロテクトされている画像を除く）	p. 42

メニュー項目	内容	参照先
スライドショー	記録した画像を自動再生します。	p. 98
プリント指定	画像をカメラダイレクト対応プリンターまたはプリント取り扱い店でプリントするとき、プリントする画像の選択や枚数を指定します。	p. 118
送信指定	パソコンに取り込む画像を、あらかじめカメラで指定します。	p. 123

設定メニュー

メニュー項目	内容	参照先
消音	起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を一度に消すときは、[入] を設定します。 ●[消音]を[入]にすると、マイカメラメニューの音の各設定が 1 2 3 (入)になっていても音は鳴りません。 ●警告音は[消音]を[入]にしていても鳴ります。 **入 / 切** *	–
音量	カメラの操作音の音量を調節します。	–
①起動音量	カメラ起動時の音量を調節します。	p. 19
②操作音量	シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音量を調節します。	–
③セルフタイマー音	撮影2秒前から撮影するまでのセルフタイマー音の音量を調節します。	p. 47
④シャッター音量	シャッターボタンを全押ししたときの音量を調節します。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。	p. 28
⑤再生音量	動画再生時、または音声メモの音量を調節します。	p. 54, 97
①〜⑤の設定内容	切 1 2 * 3 4 5	–
液晶の明るさ	液晶モニターの明るさを設定します。 **(標準)* / (明るい)**	–
節電	一定時間カメラの操作をしないときに自動的に電源を切るかどうか、液晶モニターを消すかどうかを設定します。 オートパワーオフ **入 */ 切** ディスプレイオフ **10秒/20秒/30秒/1分*/2分/3分**	p. 103
日付 / 時刻	日付、時刻、日付スタイルを設定します。	p. 21

メニュー項目	内容	参照先
カードの初期化	CF カードを初期化します。	p. 18
番号リセット機能	ファイル番号の付けかたを設定します。 **入 / 切** *	p. 105
縦横自動回転	縦位置で撮影した画像を、自動的に横に回転して表示するかしないかを設定します。 **入** * **/ 切**	p. 104
距離表示	MFインジケーターの距離表示の単位を設定します。 **m/cm*** または **ft/in**	p. 91
言語	液晶モニター（またはビューファインダー）のメニューやメッセージを、どの言語で表示するかを設定します。 **English/Italiano/Deutsch/Norsk/Français/Svenska/Nederlands/Español/Dansk/汉语/Suomi/日本語** * 画像の再生時に、**SET**ボタンを押しながら **JUMP** ボタンを押しても、表示する言語を変更できます(プリンター接続時を除く)。	p. 23
ビデオ出力方式	ビデオ出力方式を設定します。 **NTSC * / PAL**	p. 141

* 初期設定

マイカメラメニュー

このカメラでは起動画面、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を自分好みに設定できます。CFカードに記録してある画像や新たに録音した音声をその場ですぐにカメラに登録し、マイカメラコンテンツとして利用することもできます（各項目の「」と「」に登録できます)。
また、付属のソフトウェアを使ってパソコンにある画像や音声を登録したり、CANON iMAGE GATEWAYからコンテンツをダウンロードして登録することもできます。詳しくはソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

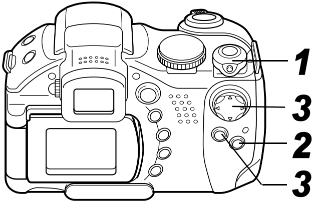
メニュー項目	内容	参照先
セット	起動画面、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音をすべて同じコンテンツに設定します。	p. 106
起動画面	電源を入れたときの起動画面を設定します。	p. 106
起動音	電源を入れたときの起動音を設定します。	p. 106
操作音	シャッターボタン以外のボタンと十字ボタンを操作したときの音を設定します。	p. 106
セルフタイマー音	セルフタイマー撮影で2秒前をお知らせする音を設定します。	p. 106

メニュー項目	内容	参照先
シャッター音	シャッターボタンを全押ししたときの音を選びます。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。	p. 106
マイカメラメニューの設定内容	（切）/ 1*/ 2/ 3	–

* 初期設定

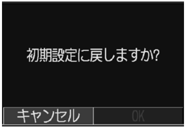
設定を初期状態に戻す

カメラの設定を初期設定に戻します。



1 モードレバーを または のどちらかに回してカメラの電源を入れる

2 MENUボタンを5秒以上押し続ける



液晶モニター（またはビューファインダー）に、「初期設定に戻しますか？」のメッセージが表示されます。

3 ◀▶ で [OK] を選び、SETボタンを押す

初期化がはじまります。

- 初期化が終わると通常画面に戻ります。

●初期設定に戻すのをやめるときは、[キャンセル]を選びます。

●以下の設定は初期状態に戻りません。
- [(設定)]メニューの[日付/時刻][言語][ビデオ出力形式]の設定内容（p. 62, 63）
- マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ（p. 75）
- 新しく登録したマイカメラコンテンツ

●パソコンまたはプリンター接続時は初期状態に戻せません。

カメラが撮影モードでモードダイヤルが**C**のときは、**C**に登録してある設定のみ初期設定に戻ります。

ショートカットボタンを登録する

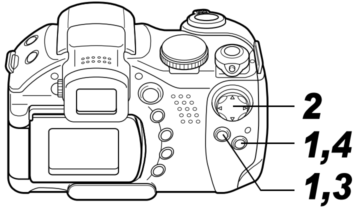
よく使う機能を (ショートカット) ボタンに登録することができます。

登録できる機能は以下のとおりです。

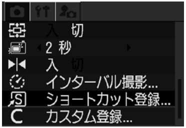
・記録画素数（静止画のみ）*
・画質（動画のみ）
・ISO 感度（静止画のみ）
・フレームレート（動画のみ）
・ホワイトバランス
・色効果
・AE ロック（静止画のみ）
・AF ロック（静止画のみ）
・ディスプレイオフ

* 初期設定

機能を登録する



1 [（撮影）] メニューから［ショートカット登録］を選び、SETボタンを押す



● メニューの選択と設定のしかた（p. 58）

2 ◀▶ で登録したい機能を選ぶ



● アイコンの右下に × が表示されている場合、機能の登録はできますが、現在の撮影モードのままでショートカットボタンを押しても無効となります（登録した機能のアイコンが表示されません）。そのときはモードダイヤルの設定を変更してください。登録はできます。

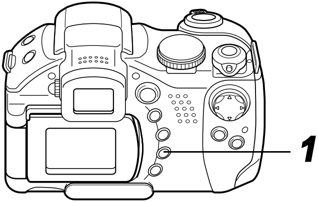


モードダイヤルを AUTO にしているとき

3 SETボタンを押す

4 MENUボタンを押す

S ショートカットボタンを使う



1 S ボタンを押す

登録した機能が呼び出されます。液晶モニター（またはビューファインダー）に機能のアイコンが表示されます（ディスプレイオフを除く）。

- S ボタンを押すたびに、登録されている機能の設定値が切り換わります。
- 現在の撮影モードで無効となる機能が設定されている場合は、何も表示されません。撮影モードを変更してもう一度 S ボタンを押します。



2 撮影する

モードダイヤルを使う（クリエイティブゾーン）

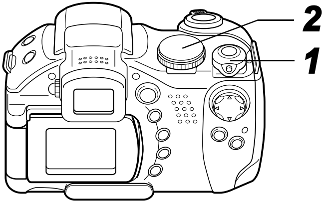
モードダイヤル

P Tv Av M

シャッタースピードや絞り数値を選択するなど、カメラの設定を自由に変えて撮影できます。

設定を変更した後の撮影のしかたは、「AUTO 撮影する（オート）（p. 27）」と同じです。

使いかた



1 撮影モードになっていることを確認する

- 電源/モードランプが橙点灯になります。

2 モードダイヤルを回し、使いたい機能を選んで撮影する



シャッタースピード
絞り数値

- 選択している機能により、以下のように操作します。

P	シャッタースピードと絞り数値を自動で設定
Tv	◀▶ でシャッタースピードを選ぶ
Av	◀▶ で絞り数値を選ぶ
M	◀▶ でシャッタースピード、▲▼ で絞り数値を選ぶ

- 液晶モニター（またはビューファインダー）に、シャッタースピードや絞り数値が表示されます。白字で表示されているときは適正露出です。
- 適正露出が得られない場合、シャッタースピードと絞り数値は赤字で表示されます。
- **P**、**Tv**、**Av** では、同じ露出でシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変えることができます（p. 69）。

◆ このモードで変更できる設定（p. 158）
◆ 絞り数値とシャッタースピードの関係について（p. 69）
◆ シャッタースピードを遅くしたり絞り数値を大きくすると、手ブレしやすくなります。液晶モニター（またはビューファインダー）に（手ブレ警告）が表示されたら、以下の方法をお試しください。
- （手ブレ補正）機能を使う（p. 29）
- 三脚を使う

P プログラムAEで撮る

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り数値をカメラが自動的に設定します。

- 適正露出が得られないときは以下の方法をお試しください。
  - ストロボを使用する
  - ISO感度を変更する
  - 測光方式を変更する

P と AUTO の違い

P では以下の機能を使用できますが、AUTO ではできません。

・露出補正　・ホワイトバランス　・ISO 感度の変更
・ブラケット撮影　・ストロボ調光補正
・ストロボ（常時発光、スローシンクロ、後幕発光）
・色効果の変更　・連続撮影　・測光方式の変更
・マニュアルフォーカス
・インターバル撮影
・AF 枠の変更（マニュアル選択）
・AE ロック　・FE ロック

Tv シャッタースピードを決めて撮る

シャッタースピードを選ぶと、被写体の明るさに応じて、カメラが適正露出になる絞り数値を自動的に設定します。シャッタースピードを速くすると動きの速い被写体の瞬間をとらえることができ、シャッタースピードを遅くすると流動感を表現したり、暗いところでもストロボを発光せずに撮影できます。

- 露出アンダー（露出不足）または露出オーバー（露出過多）になり適正露出が得られないときは、◀▶でシャッタースピードを調節してください。
- シャッタースピードが遅くなると、CCD の特性により撮影した画像にノイズが増えます。このカメラはシャッタースピードが 1.3 秒より遅くなると、ノイズを除去する処理を行い高画質で撮影します。ただし次の撮影までにしばらく時間がかかります。
- ズームによって、絞り数値とシャッタースピードは以下のように変わります。

	絞り数値	シャッタースピード(秒)
ワイド端*1	F 2.8 〜 5.0	〜 1/1250
	F 5.6 〜 8.0	〜 1/2000
テレ端 *2	F 3.1 〜 5.6	〜 1/1250
	F 6.3 〜 8.0	〜 1/2000

*1 最も広角側
*2 最も望遠側

- ストロボ発光時に有効なシャッタースピードは、最高で1/250秒です。1/250秒よりも高速のシャッタースピードを設定した場合は、撮影時に自動的に1/250秒に再設定されます。

シャッタースピードの表示

以下のシャッタースピードに設定できます。1/160は1/160秒を表します。また、0"3は0.3秒を、2"は2秒を表しています。

15"	13"	10"	8"	6"	5"	4"	3"2	2"5
2"	1"6	1"3	1"	0"8	0"6	0"5	0"4	0"3
1/4	1/5	1/6	1/8	1/10	1/13	1/15		
1/20	1/25	1/30	1/40	1/50	1/60			
1/80	1/100	1/125	1/160	1/200				
1/250	1/320	1/400	1/500	1/640				
1/800	1/1000	1/1250	1/1600	1/2000				

Av 絞りを決めて撮る

絞りとは、レンズを通して入ってくる光の量を調整するものです。絞り数値を選ぶと、被写体の明るさに応じてカメラが適正露出になるシャッタースピードを自動的に設定します。
絞り数値を小さくする（絞りを開く）と、背景をぼかした美しいポートレートが撮影できます。
絞り数値を大きくする（絞りを閉じる）と、奥行きのある風景の手前から遠くまでが鮮明に写ります。絞り数値を大きくするほど、鮮明に写る範囲が広くなります。

- 露出アンダー（露出不足）または露出オーバー（露出過多）になり適正露出が得られないときは、◀▶で絞り数値を調節してください。
- ズーム位置によっては選べない絞り数値があります。
- ストロボ同調最高シャッタースピードは､1/250秒になります。したがって、あらかじめ絞り数値を設定していても､ストロボ同調シャッタースピードに応じて絞り数値が自動的に変更されることがあります。

絞り数値の表示

表示された数値が大きくなるほど、レンズの絞り径は小さくなります。

F2.8	F3.1	F3.2	F3.5	F4.0	F4.5	F5.0
F5.6	F6.3	F7.1	F8.0			

M 自由にシャッタースピード / 絞りを決めて撮る

シャッタースピードや絞り数値を自分で決定し、狙いどおりの撮影ができます。花火の撮影など露出の設定が難しいときに使うと便利です。

- 液晶モニター（またはビューファインダー）には、設定した絞り数値とシャッタースピードに応じた明るさで画像が表示されます。速いシャッタースピードを設定した場合や被写体が暗い場合、ストロボを⚡◉（常時発光（赤目緩和））または⚡（常時発光）にすると常に明るく表示されます。

● シャッターボタンを半押しすると、液晶モニター（またはビューファインダー）に標準露出*からのずれが表示されます。このずれが±2段を越えると、液晶モニター（またはビューファインダー）に赤字で「−2」または「+2」と表示されます。

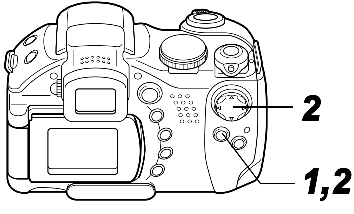
* 設定されている測光方式をもとにAE（Automatic Exposure =自動露出）を行って、標準露出を算出します。

AF枠を移動する

モードダイヤル

P Tv Av M

AF枠はオートフォーカスでピントを合わせるための枠で、任意の位置に移動できます（アクティブフレームコントロール）。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利です。
ただし、デジタルズームをお使いのときはAF枠を任意の位置に移動しても中央1点に固定されます。



1 ボタンを押す

AF枠が緑色になります。

2 ▲▼◀▶ で AF 枠を移動し、ボタンを押す

- AF 枠を移動したあと ボタンの代わりにシャッターボタンを押して、すぐに撮影できます。
- ボタンを押しつづけると、AF 枠がもとの位置（中央）に戻ります。

- ◆AF枠の色について（p. 24）
- ◆デジタルズームをお使いのときは、AF 枠は中央1点に固定されます。
- ◆測光方式が［スポット測光］のときは、AF 枠をスポット測光枠と連動させることができます（p. 72）。

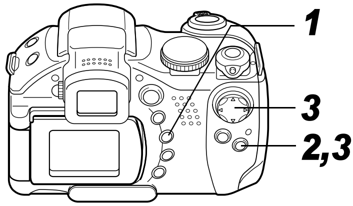
測光方式を切り換える

モードダイヤル

P Tv Av M

測光方式を切り換えて撮影できます。通常は［評価測光］に設定されています。

	評価測光		画面内を多分割して測光します。被写体の位置、明るさ、背景、順光／逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、被写体を適正な露出で撮影します。 逆光など一般的な撮影に適しています。
	中央部重点平均測光		画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
	スポット測光		「スポット測光枠」内を測光します。
		中央固定	スポット測光枠を液晶モニター中央部に固定します。
		AF 枠連動	スポット測光枠をAF枠に連動させます。



1 [測光]ボタンを押して、測光方式を切り換える

- ボタンを押すたびに以下のように測光方式が切り換わります。

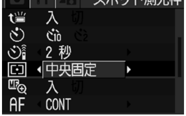
[評価測光] → [中央部重点平均測光] → [スポット測光] → [評価測光]

- 現在選ばれている測光方式が液晶モニター（またはビューファインダー）に表示されます。

[スポット測光]を選ぶ→手順***2***

[評価測光][中央部重点平均測光]を選ぶ→撮影する

2 [(撮影)] メニューから［スポット測光枠］を選ぶ



- メニューの選択と設定のしかた（p. 58）

3 ◀▶で［中央固定］または［AF 枠連動］を選び、MENU ボタンを押す



[中央固定]

スポット測光枠

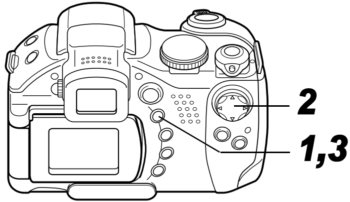
- [中央固定]のときは液晶モニター（またはビューファインダー）中央にスポット測光枠が表示されます。
[AF枠連動]のときは選択しているAF枠にスポット測光枠が表示されます。

露出を補正する

モードダイヤル

P Tv Av

逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまうようなときに露出を調整します。



1 FUNC.ボタンを押す

2 ▲▼で ±0*（露出補正）を選び、◀▶で露出を調整する



* 現在の設定が表示されます。

- 補正量は、−2〜＋2の範囲で1/3段ずつ変更できます。
- 設定したあとシャッターボタンを押して、すぐに撮影できます。撮影後はもう一度この画面が表示され、設定を変更できます。

3 FUNC.ボタンを押す

- 露出補正を解除するときは、◀▶で補正量を0に戻します。

のときも露出補正の設定 / 解除ができます(p. 52)。

WB色合いを調整する（ホワイトバランス）

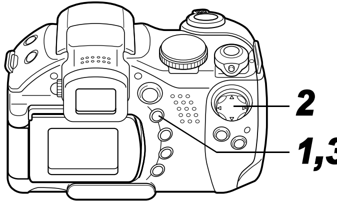
モードダイヤル

P Tv Av M

ホワイトバランスを設定すると、撮影時の光源に合った適正な色になります。

設定内容と光源の組み合わせは以下のとおりです。

AWB	オート	自動設定
	太陽光	晴天の屋外
	くもり	曇天や日陰、薄暮など
	電球	電球、電球色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	蛍光灯 H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	ストロボ	ストロボ使用時
	マニュアル	白い紙や布など白を基調としたものをカメラに記憶させ、最適な白データを取り込んでから撮影できます。



1 FUNC.ボタンを押す

2 ▲▼でAWB*（オート）を選び、◀▶で設定したいホワイトバランスを選ぶ



* 現在の設定が表示されます。

- （マニュアル）について（p. 76）
- 設定したあとシャッターボタンを押して、すぐに撮影できます。撮影後はもう一度この画面が表示され、設定を変更できます。

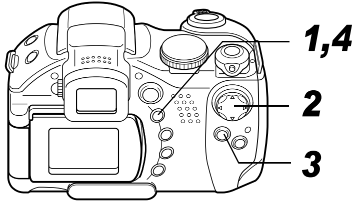
3 FUNC.ボタンを押す

色効果が（セピア）、（白黒）のときは設定できません（p. 78）。

マニュアルホワイトバランスを設定する

以下のような場合、AWB(オート)ではホワイトバランスが調整できないことがあります。(マニュアル)で調整してください。

- 単一な色の被写体(空、海、森など)を撮影するとき
- 水銀灯などの特殊な光源で撮影するとき



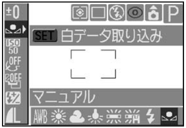
1 FUNC.ボタンを押す

2 ▲▼でAWB*(オート)を選び、◀▶で(マニュアル)を選ぶ



* 現在の設定が表示されます。

3 カメラを白い紙や布に向け、SETボタンを押す



白データが取り込まれます。

- 中央の枠いっぱいに白い紙や布が表示されるよう構図を決めます。
- 設定したあとシャッターボタンを押して、すぐに撮影できます。撮影後はもう一度この画面が表示され、設定を変更できます。

4 FUNC.ボタンを押す

◆マニュアルホワイトバランスを設定するときは、以下のような条件で撮影することをおすすめします。

- **撮影モードをPにし、露出補正、ストロボ調光補正をともに±0にする**
  適正露出でない場合(真っ黒や真っ白)は白データを正しく取り込めないことがあります。
- **ズームを最も望遠側(テレ端)の位置にする**
  デジタルズームは[切]にしてください。

- **以外の撮影モードを設定する**
  では、白データの取り込みはできません。
- **ストロボを（常時発光）または（発光禁止）にしておく**
  撮影時のストロボ設定と同じ条件でホワイトバランスを設定してください。条件が合っていない場合、最適なホワイトバランスを設定できないことがあります。
  ストロボを （赤目緩和オート）/ （オート）に設定していると、マニュアルホワイトバランスで白データを取り込むときにストロボが発光することがあります。このときは、撮影時もストロボを発光させてください。
- **ISO感度を撮影時と同じ条件に設定する**

◆設定したマニュアルホワイトバランスは、カメラの設定を初期設定に戻しても解除されません（p. 64）。

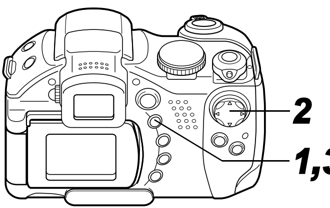
ISO感度を変更する

モードダイヤル

P Tv Av M

ISO感度を上げると、光量が少ない場所でも画像を明るめにして撮影できます。暗いところで手ブレを抑えたいとき、ストロボをオフにして撮影したいとき、シャッタースピードを速くしたいときに便利です。

感度は、AUTO、50、100、200、400から選べます。



1 FUNC. ボタンを押す

2 ▲▼ で ISO 50* （ISO 感度）を選び、◀▶ で設定したい感度を選ぶ



* 現在の設定が表示されます。

● 設定したあとシャッターボタンを押して、すぐに撮影できます。撮影後はもう一度この画面が表示され、設定を変更できます。

3 FUNC.ボタンを押す

●ISO感度を上げすぎると､画像にノイズが増えます。きれいに撮りたいときは、なるべく低い感度を選んでください。

●AUTO を選択すると、最適な画質になる感度に設定されます。
また、被写体を照らすストロボ発光量が十分でない場合は自動的に感度が上がります。

色効果を切り換える

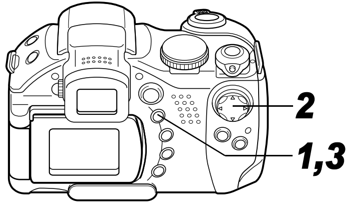
モードダイヤル

P Tv Av M

色の濃さやコントラストを変えて撮影できます。

OFF	効果切	通常設定
V	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした色合いにする
N	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした色合いにする
LS	ソフト	輪郭の強調を抑える
S	セピア	セピア色にする
BW	白黒	白黒にする
C	カスタムカラー*	コントラスト、シャープネス、色の濃さを自由に設定する

* **P**、**Tv**、**Av**、**M** のみ



1 FUNC.ボタンを押す

2 ▲▼で*（効果切）を選び、◀▶で設定したい色効果を選ぶ



* 現在の設定が表示されます。

を選んだとき

● **SET**ボタンを押すとコントラスト、シャープネス、色の濃さを設定する画面が表示されます。▲▼で設定したい項目を選び、◀▶で設定を変更して**SET**ボタンを押します。



● 設定したあとシャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

コントラスト

● 明るさの度合を調節できます。
● －（弱め）、0（標準）、＋（強め）から選びます。

シャープネス

● 輪郭のくっきり度合を調節できます。
● －（弱め）、0（標準）、＋（強め）から選びます。

色の濃さ

● 色の濃淡を調節できます。
● －（薄い）、0（標準）、＋（濃い）から選びます。

3 FUNC.ボタンを押す

（セピア）、（白黒）を選んだときは、ホワイトバランスは設定できません。

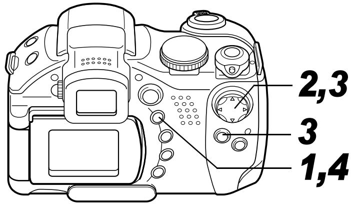
露出を自動的に変えて撮る（AEB撮影）

モードダイヤル

P Tv Av

設定した露出補正量の幅に従って、カメラが自動的に露出を変えながら3画像撮影します。

標準露出を中心に−2〜＋2の範囲で1/3段ずつ補正量を設定できます。また露出補正（p. 74）をしている場合は、その設定値を中心に補正量を設定できます。標準露出、マイナス補正、プラス補正の順で撮影します。



1 FUNC.ボタンを押す

2 ▲▼で（BKT-OFF）* を選ぶ



* 現在の設定が表示されます。

3 ◀▶で（AEB）を選んでSETボタンを押し、◀▶で補正量を調整する



- ▶を押すと間隔が広くなり、◀を押すと狭くなります。
- 設定したあとシャッターボタンを押して、すぐに撮影できます。撮影後はもう一度この画面が表示され、設定を変更できます。

4 FUNC.ボタンを押す

- AEB撮影を解除するときは、手順***3***で（BKT-OFF）を選びます。

ストロボ発光時はAEB撮影ができません。ストロボを発光して撮影した場合は、通常の1画像撮影になります。

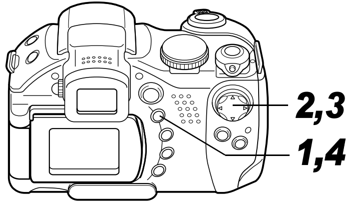
フォーカスを自動的に変えて撮る（フォーカスブラケット撮影）

モードダイヤル

P Tv Av M

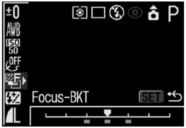
マニュアルフォーカスのときは、フォーカスを自動的に変えながら3画像撮影できます。

変更量は、大・中・小の3段階から選択できます。設定したフォーカス位置、後ろ寄りに変更、前寄りに変更の順で撮影します。



1 FUNC.ボタンを押す

2 ▲▼で *(BKT-OFF)を、◀▶で (Focus-BKT)を選びSETボタンを押す



* 現在の設定が表示されます。

3 ◀▶で変更量を選ぶ



- ▶を押すと間隔が広くなり、◀を押すと狭くなります。
- 設定したあとシャッターボタンを押して、すぐに撮影できます。撮影後はもう一度この画面が表示され、設定を変更できます。

4 FUNC.ボタンを押し、マニュアルフォーカス（p. 91）で撮影する

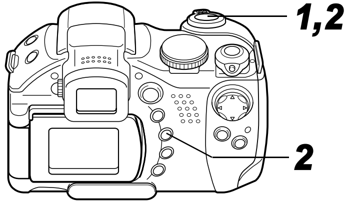
ストロボ発光時はフォーカスブラケット撮影ができません。通常の撮影になります。

露出を固定して撮る（AEロック）

モードダイヤル

P Tv Av

露出とピントを別々に決めて撮影することができます。被写体と背景のコントラストが極端に強いときや、逆光下での撮影などに有効です。



1 露出を固定したい被写体にAF枠またはスポット測光枠を合わせ、シャッターボタンを半押しする

- AF枠を移動する（p. 71）
- 測光方式を切り換える（p. 72）

2 シャッターボタンを半押ししたまま[AEロック]ボタンを押す



AEロック

- 露出が固定(AEロック)され、液晶モニター（またはビューファインダー）に✱が表示されます。
- もう一度[AEロック]ボタンを押すと、AE ロックを解除できます。

3 構図を決め直して撮影する

AF枠内の被写体にピントが合います。

- [動画]のときも､AEロックの設定/解除ができます(p. 52)。
- 自動的に設定されたシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを､同じ露出のままで自由に変えて撮影することができます。以下のように操作します。
  1. モードダイヤルを**P**、**Tv**、**Av**のいずれかにする。
  2. 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる。

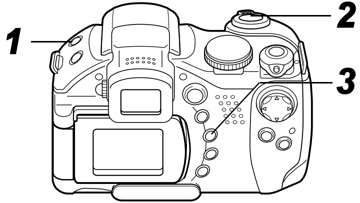
3. [AE]ボタンを押す。
露出が固定され、液晶モニター（またはビューファインダー）に ✱ が表示されます。
4. ◀▶ で希望するシャッタースピードまたは絞り数値になるまで変える。
5. 構図を決め直して撮影する。
撮影が終了し、設定は解除されます。

FEロックして撮る

モードダイヤル

P Tv Av

被写体が構図のどこにあっても、適正な露出でストロボ撮影できます。



1 ⚡ボタンを押してストロボを設定する(p. 33)

2 露出を固定したい被写体にAF枠またはスポット測光枠を合わせ、シャッターボタンを半押しする

3 シャッターボタンを半押ししたまま[AE]ボタンを押す

●露出が固定（FEロック）され、液晶モニター（またはビューファインダー）に＊が表示されます。
●ストロボがプリ発光し、被写体に必要な露光量を記憶します。
●ボタンを押すたびにプリ発光し、そのとき必要な露光量をFEロックします。
●十字ボタン以外のボタンやレバーを操作すると、FEロックを解除できます。

4 構図を決め直して撮影する

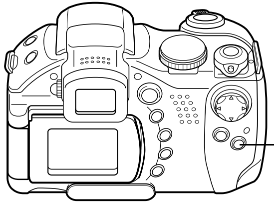
［ストロボ自動調光］が［切］のときは、FEロックできません。

内蔵ストロボの自動調光設定を切り換える

モードダイヤル

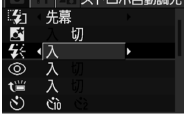
Tv Av

内蔵ストロボは自動調光で発光されます（**M**を除く）が、自動調光しないように設定することもできます。



1,2

1 [(撮影)] メニューから [ストロボ自動調光] を選ぶ



●メニューの選択と設定のしかた（p. 58）

2 ◀▶で[入]または[切]を選び、MENUボタンを押す

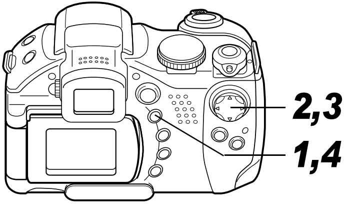
ストロボ調光量／発光量を補正する

モードダイヤル

P Tv*[1]Av*[1]M*[2]

*[1][ストロボ自動調光]が[切]のとき、ストロボ調光量を設定できます。
*[2]ストロボ発光量を設定できます。

ストロボ調光補正	●[ストロボ自動調光]が[入]のとき、標準調光を中心に－2～＋2の範囲で 1/3 段ずつ変更できます。 ●カメラの露出補正と併用することにより、背景の露出も補正したストロボ撮影ができます。
ストロボ発光量	●モードダイヤルが**M**、または [ストロボ自動調光] が [切] のとき、ストロボの発光量をフル発光から3段階で制御して撮影できます。



1 FUNC.ボタンを押す

2 ▲▼ で（ストロボ調光補正またはストロボ発光量）を選ぶ



ストロボ自動調光が[入]のとき

3 ◀▶ で補正量 / 発光量を調整する

●設定したあとシャッターボタンを押して、すぐに撮影できます。撮影後はもう一度この画面が表示され、設定を変更できます。



ストロボ自動調光が[切]のとき

4 FUNC.ボタンを押す

ストロボ発光のタイミングを切り換える

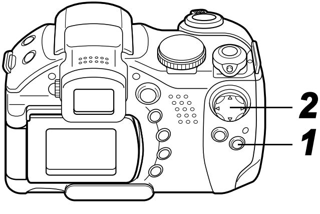
モードダイヤル

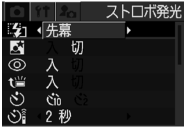
P Tv Av M

先幕	シャッタースピードにかかわらず、シャッターが開いた直後にストロボが発光します。通常はこちらで撮影します。
後幕	シャッターが閉じる直前にストロボが発光します。ストロボ発光のタイミングが先幕発光より遅くなり、車のライトが後方に流れるような画像を撮影できます。


先幕設定で撮影した画像


後幕設定で撮影した画像





1 [(撮影)] メニューから[ストロボ発光]を選ぶ

2 ◀▶で[先幕]または[後幕]を選ぶ

● メニューの選択と設定のしかた（p. 58）

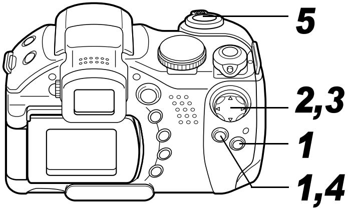
間隔をあけて自動的に撮影する（インターバル撮影）

モードダイヤル

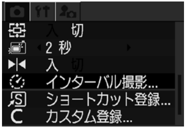
P Tv Av M

一定の間隔で自動的に撮影できます。これにより、開花する植物の観測などの定点観測ができます。設定できる撮影間隔は約1分～約60分、撮影画像数は2～100画像です。

長時間の撮影になりますので、コンパクトパワーアダプター CA-PS700（別売）の使用をおすすめします（p. 138）。

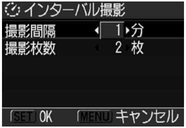


1 [（撮影）] メニューから [インターバル撮影] を選んでSETボタンを押す



- メニューの選択と設定のしかた（p. 58）

2 ◀▶ で撮影間隔を選ぶ



- ◀▶ を押し続けると撮影間隔が 5 分単位で変わります。

3 ▼を押し、◀▶ で撮影枚数を選ぶ

- ◀▶ を押し続けると撮影枚数が 5 枚単位で変わります。
- 最大撮影枚数 * は CF カードの残り容量によって決まります。

* 実際に撮影した画像によっては、少なくなる場合もあります。

4 SETボタンを押す

- メニュー画面が消え、液晶モニター（またはビューファインダー）の右下に Int. が表示されます。

5 シャッターボタンを押す

●1枚目が撮影されインターバル撮影が始まります。

●設定した枚数の撮影が終わると、節電機能の設定にかかわらず電源が自動的に切れます。

●インターバル撮影の途中で以下の操作を行うと、インターバル撮影が中止されます。

- 次の撮影を行うまでの間にモードダイヤルを変更する
- 次の撮影を行うまでの間にシャッターボタンを半押しする
- CF カードスロットカバーまたはバッテリーカバーを開く
- 再生モードにする
- 電源を切る

●インターバル撮影が始まってからのボタン操作は受け付けません。

●次の撮影までの間、レンズは繰り出されたままとなりますのでご注意ください。

●撮影直後、液晶モニター（またはビューファインダー）に撮影画像は表示されません。

●[日付/時刻］が設定されていないときインターバル撮影はできません。

●連続撮影、セルフタイマー撮影はできません。

●AEB、フォーカスブラケットは設定できません。

ピントが合いにくい被写体を撮る

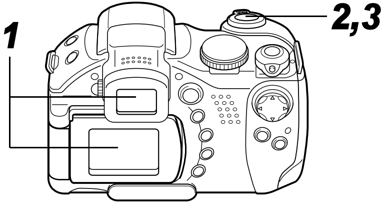
以下のような被写体は、ピントが合わないことがあります。

- コントラストが極端に低い被写体
- 近いものと遠いものが混在する被写体
- 画像中央部が極端に明るい被写体
- 高速で移動する被写体
- 横じまがある被写体

これらの被写体を撮影する場合は、その被写体とほぼ同じ距離にある別の被写体でフォーカスロック撮影するか、マニュアルフォーカスやAFロックで（手動でピントを合わせて）撮影してください。

フォーカスロックで撮る

モードダイヤル
AUTO P Tv Av M



1 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離にある別の被写体を、AF 枠に合わせる

2 シャッターボタンを半押しし、ピントを合わせる

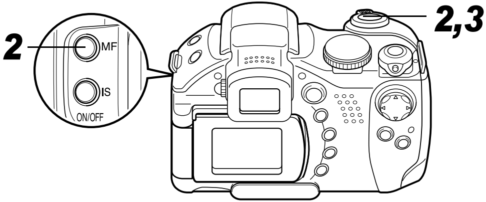
- このときAEもロックされます。撮影したい被写体と、その被写体と同じ距離にあるフォーカスロックに用いた被写体との輝度の差が大きいと、適正露出が得られない場合があります。この場合はAFロックで撮影するか、AEロックで撮影してください。

3 そのままカメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しして撮影する

AFロックで撮る

モードダイヤル

P Tv Av M



1 ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離にある別の被写体にカメラを向ける

2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、そのままMFボタンを押す

- 液晶モニター（またはビューファインダー）にMFが表示されます。
- シャッターボタン、**MF**ボタンを放しても、フォーカスは固定されています。
- もう一度 **MF** ボタンを押すと、フォーカスロックは解除されます。

3 カメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しして撮影する

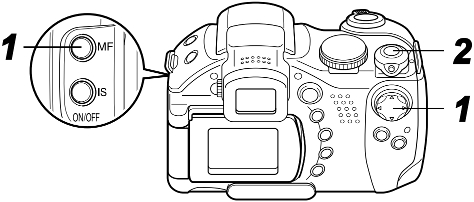
- AFロックは、シャッターボタンを放して構図を決められるので便利です。また撮影後もAFロックされたままなので、同じピントですぐ次の撮影ができます。
- ガラス越しの被写体は、できるだけガラスに近寄り反射による写り込みのない状態で撮影してください。
- のときも、AFロックの設定/解除ができます(p. 52)。

マニュアルフォーカスで撮る

モードダイヤル

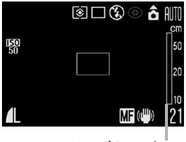
[人物] [風景] [夜景] [スポーツ] [スローシャッター] [スティッチアシスト] P Tv Av M

手動でピントを合わせて撮影します。



1 MFボタンを押しながら、▲▼を押す

- フォーカスがロックされ、液晶モニター（またはビューファインダー）に MF と MF インジケーターが表示されます。



MFインジケーター

- [[撮影アイコン]（撮影）] メニューの [MF拡大表示] を [入] にしてAF枠をマニュアル選択（p. 71）しているときは、AF枠を中心に画像が拡大表示*されます。
  - * [スティッチアシストアイコン]（スティッチアシスト）、デジタルズームを使用しているとき、テレビに画像を表示しているときは拡大表示されません。
  - * 拡大表示しない設定にもできます（p. 61）。
- MFインジケーターはピント位置の目安です。表示される数値を目安に撮影してください。
- 被写体がはっきり見えるまで、▲▼でピントを合わせてください。
- もう一度**MF**ボタンを押すと、マニュアルフォーカスは解除されます。

2 シャッターボタンを全押しして撮影する

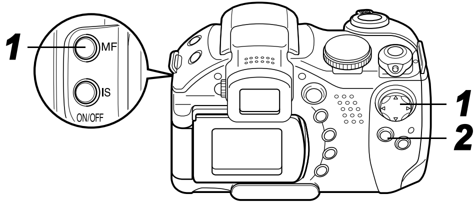
ストロボがポップアップした直後は、マニュアルフォーカスをやり直してください。

マニュアルフォーカスとAFを組み合わせて使う

モードダイヤル

(mode icons) P Tv Av M

手動で合わせた現在のピント位置の近くから、最もピントの合う位置を自動的に探し出します。



1 マニュアルフォーカスでピントを合わせる

2 SETボタンを押す

- 現在のピント位置の近くから、最もピントの合う位置を探して自動的にピントを合わせます。

3 シャッターボタンを全押しして撮影する

マニュアルフォーカスを設定しているときはAF 枠を変更できません。マニュアルフォーカスを解除してから変更してください。

MF インジケーターの表示単位を変更できます(p. 63)。

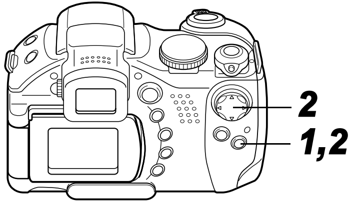
フォーカス設定を切り換えて撮る

モードダイヤル

AUTO P Tv Av M

AFの設定を選択します。

CONT（コンティニュアス）	シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた位置へ常にピントを合わせます。とっさのシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。初期状態はこちらが選択されています。
SINGLE（シングル）	シャッターボタンを半押ししたときだけピントを合わせます。通常はピント合わせを行わないため、消費電力を抑えることができます。



1 [（撮影）] メニューから [AF モード] を選ぶ



- メニューの選択と設定のしかた（p. 58）

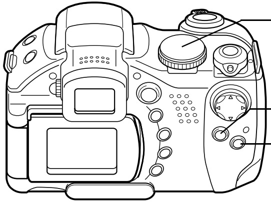
2 ◀▶で［CONT］または［SINGLE］を選び、MENUボタンを押す

Cカスタム登録する

モードダイヤル

P Tv Av M C

よく使う撮影モードや撮影時のさまざまな設定を、あらかじめ**C**(カスタム)に登録しておくことができます。必要なときにモードダイヤルを**C**に合わせるだけで、事前に登録した設定内容で撮影できます。他の撮影モードに切り換えたり、電源を切ると解除されてしまう設定(連続撮影、セルフタイマーなど)も保持されます。



1 モードダイヤルを**P**、**Tv**、**Av**、**M**、**C**のいずれかにする

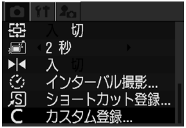
- **C**に登録した設定の一部(撮影モード以外)を変更するときは、**C**を選びます。

2 登録したい内容を設定する

Cに登録できる機能

- 撮影モード(**P**、**Tv**、**Av**、**M**)
- **P**、**Tv**、**Av**、**M**で設定可能な項目(p. 158)
- 撮影メニューの設定内容
- ズーム位置
- マニュアルフォーカス位置

3 [（撮影）] メニューから[カスタム登録]を選んで SET ボタンを押す



- メニューの選択と設定のしかた（p. 58）

4 [OK] を選びSETボタンを押す

5 MENUボタンを押す

- 設定内容は、他の撮影モードには反映されません。
- 登録内容をリセットできます（p. 64）。

回転して表示する

時計方向に 90 度、270 度に回転して表示します。

元画像

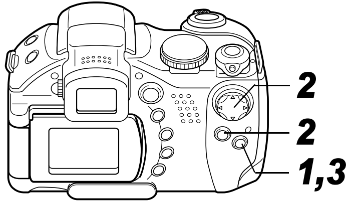


90度

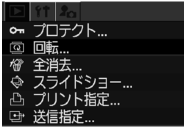


270度





1 ［▶（再生）］メニューから［回転］を選び、SETボタンを押す



- メニューの選択と設定のしかた（p. 58）

2 ◀▶ で回転したい画像を選び、SETボタンを押す



- SETボタンを押すたびに、90 度→270 度→元画像が表示されます。

3 MENUボタンを押す

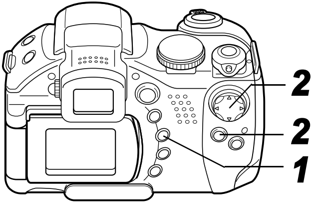
- メニュー画面表示に戻ります。もう一度MENUボタンを押すとメニュー画面が消えます。

- 動画は回転表示できません。
- カメラで回転した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。

- 画像を回転したあとで、拡大することもできます（p. 38）。
- 縦横自動回転の設定（p. 104）が［入］のとき、縦位置で撮影した画像をカメラの液晶モニター（またはビューファインダー）に表示すると、画像は自動的に縦位置に回転して表示されます。

🎙音声メモを付ける

再生中（シングル再生、インデックス再生、拡大再生、撮影直後の画像表示中）の画像に最長 60 秒の音声メモを付けることができます。音声データはWAVE形式で保存されます。



1 画像再生中に🎙ボタンを押す

- 音声メモパネルが表示されます。

2 ◀▶ で [●] を選び、SET ボタンを押す



音声メモパネル

- 録音が始まり、録音時間が表示されます。カメラのマイクに向かって音声を発してください。
- 停止するときは **SET** ボタンを押します。引き続き録音をするときは、もう一度**SET**ボタンを押します。
- 1画像につき、合計が60秒に達するまで何度でも録音を追加できます。

音声メモの再生

- [▶] を選びます。音声メモの付いた画像には♪マークが表示されています（情報表示なしのときは表示されません）。
  停止するときは**SET**ボタンを押します。引き続き再生するときは、もう一度**SET**ボタンを押します。▲▼で音量を調節できます。

音声メモの消去

- ♪マークが表示されていることを確認し、[🗑] を選びます。

音声メモ設定の終了

- 🎙ボタンを押します。

> ●動画には音声メモを付けられません。
> ●画像に互換性のない音声ファイルが添付されている場合、録音や再生はできません。録音や再生をしようとすると「互換性のないWAVEです」のメッセージが表示されます。互換性のない音声データはこのカメラで削除できます。
> ●プロテクトされている画像の音声メモは消去できません（p. 102）。

設定メニューでも、音声メモの音量を調節できます（p. 62）。設定メニューの [消音] を [入] にすると音量は0になりますが、▲▼での音量調節はできます。

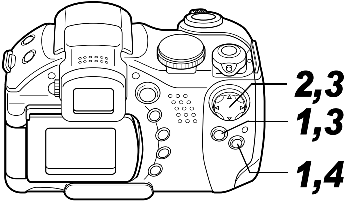
画像を自動再生する（スライドショー）

スライドショーの画像指定はDPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています（p. 116）。

スライドショーをはじめる

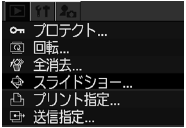
CFカード内の全画像または選択した画像が自動再生されます。

全画像	CFカード内のすべての画像が順に再生されます。
ショー1 ～ショー3	各ショーでマークされている画像が順に再生されます（p. 99）。



1 [▶(再生)]メニューから［スライドショー］を選び、SETボタンを押す

- メニューの選択と設定のしかた（p. 58）



2 ▲▼で［スライド］を選び、◀▶で［全画像］、［ショー1］～［ショー3］のいずれかを選ぶ



3 ▲▼で［スタート］を選び、SETボタンを押す

スライドショーがはじまります。再生したあと自動的にスライドショーが終了します。

スライドショーの一時停止 / 再開

- SET ボタンを押すと自動再生を一時停止します。もう一度SETボタンを押すと再生を続けます。

画像送り / 戻し

- ◀▶で前または次の画像へ進めます。

スライドショーの中止

- 再生中にMENUボタンを押すとスライドショーが中止され、スライドショーメニューが表示されます。

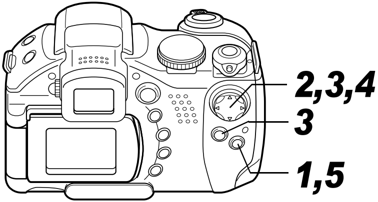
4 スライドショーが終了したら、MENUボタンを押す

メニュー画面表示に戻ります。もう一度MENUボタンを押すと、メニュー画面が消えます。

- 動画は、設定した再生間隔にかかわらず、記録した時間で再生されます。
- スライドショーで自動再生中は、節電機能は働きません（p. 103）。

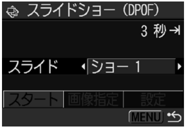
再生する画像を選ぶ

スライドショーで再生したい画像だけをマークし、［ショー1］から［ショー3］に保存します。
最大998画像まで指定でき、選択した順番に自動再生されます。



1 スライドショーメニューを表示する（p. 98）

2 ▲で［スライド］を選び、◀▶で［ショー1］～［ショー3］のいずれかを選ぶ



- すでに画像指定されているショーには、チェックマーク（✓）が表示されます。

3 ▼と◀▶で［画像指定］を選び、SETボタンを押す

4 再生する画像を選ぶ

シングル再生のとき



- ◀▶で画像を選びます。▲▼で選択、選択の解除ができます。
- 選択した画像の上部には、選択順の番号とチェックマーク（✓）が表示されます。

インデックス再生のとき



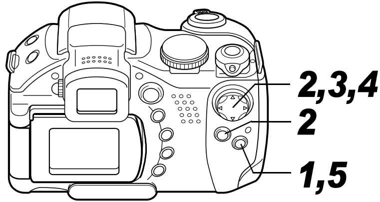
- ズームレバーを🔍側に回し、インデックス再生（3画像表示）に切り換えます。
- ◀▶で画像を選びます。▲▼で選択、選択の解除ができます。
- 選択した画像の下部には、選択順の番号とチェックマーク（✓）が表示されます。
- すべての画像を選択するときは **SET** ボタンを押し、▲▼で［全画像指定］を選んでもう一度**SET**ボタンを押します。[全指定解除]を選ぶと、すべての指定を解除できます。
- [全画像指定]または[全指定解除]を行ったあと、◀▶で特定の画像を選び、▲▼で設定変更できます。

5 MENUボタンを押す

画像指定が終了します。

再生間隔やリピート設定をする

再生間隔	スライドショーで 1 画像を表示する時間を指定します。3～10 秒、15 秒、30 秒、手動を指定できます。
リピート	スライドショーが一巡したら終了するか、繰り返し再生するかを設定します。



1 スライドショーメニューを表示する (p. 98)

2 ◀▶ で[設定]を選び、SETボタンを押す



3 ▲▼ で［再生間隔］または［リピート］を選ぶ

4 ◀▶ で設定する



再生間隔

- 再生時間を選びます。

リピート設定

- ［入］または［切］を選びます。

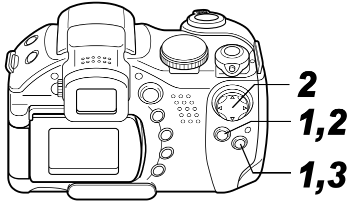
5 MENUボタンを押す

設定が終了します。

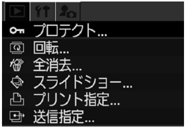
- 画像によっては、設定した時間と多少異なる再生間隔で再生されることがあります。
- 付属のソフトウェア（ZoomBrowser EXまたはImageBrowser）を使用すると、スライドショーの編集が簡単に行えます。

画像をプロテクト（保護）する

大切な画像を誤って消去しないように、プロテクトを設定できます。



1 ［▶（再生）］メニューから［プロテクト］を選び、SETボタンを押す



- メニューの選択と設定のしかた（p. 58）

2 ◀▶ でプロテクトしたい画像を選び、SETボタンを押す



- プロテクトを設定した画像には、 が表示されます。
- プロテクトを設定した画像で**SET**ボタンを押すと、プロテクトを解除します。
- ズームレバーでシングル再生とインデックス再生を切り換えて指定できます。

3 MENUボタンを押す

設定が終了します。

> CFカードを初期化（p. 18）すると、プロテクトした画像も消去されます。CF カードを初期化するときは、CF カード上の記録内容を十分に確認してから行ってください。

節電の設定をする

カメラには節電機能が付いています。節電機能の設定にしたがってカメラの電源が自動的に切れたり、液晶モニター（またはビューファインダー）が消えます。

●オートパワーオフ

入：
- **撮影モード：**約3分間何も操作をしないと電源が切れます。オートパワーオフを[切]にしている場合でも、液晶モニター（またはビューファインダー）を表示して約1[*1]分間何も操作しないと、表示が消えます。このときOFFボタン以外のボタンを押すと、液晶モニター（またはビューファインダー）が表示されます。
  *1 時間を変更できます。
- **再生モード：**約5分間何も操作をしないと電源が切れます。
- **プリンター接続モード：**約5分間カメラの操作を何もせず、プリンターで何もプリントしないと電源が切れます。

切：節電機能は働きません。

●ディスプレイオフ（撮影モードのみ）

設定した時間、何も操作をしないと液晶モニター（またはビューファインダー）が消えます。
10秒/20秒/30秒/1分[*2]/2分/3分から選択できます。
*2 初期設定

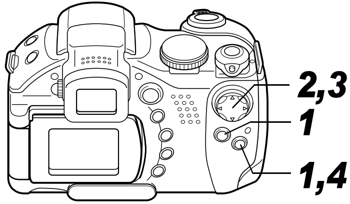
オートパワーオフが働いたとき

もう一度電源を入れます。
再生 / プリンター接続モード：もう一度モードレバーを右に回し、電源を入れます。

ディスプレイオフが働いたとき

シャッターボタン以外のボタンを押すと液晶モニター（またはビューファインダー）が表示されます。

- 節電機能が働いて電源が切れても、微量の電力が消費されますのでご注意ください。
- スライドショーで自動再生中およびパソコン接続時は、節電機能は働きません（p. 98, 113）。
- 設定メニューで節電機能を無効にすることもできます（p. 62）。



1 **[（設定）] メニューから [節電] を選び、SETボタンを押す**

- メニューの選択と設定のしかた（p. 58）



2 **▲▼ で（節電）を選び、◀▶ で[入]または[切]を選ぶ**



3 **▲▼ で（ディスプレイオフ）を選び、◀▶ で設定時間を選ぶ**

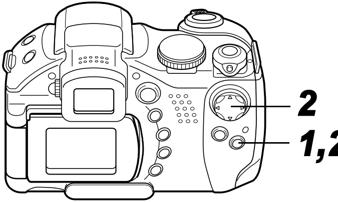
4 **MENUボタンを押す**

縦横自動回転の設定をする

モードダイヤル

AUTO P Tv Av M

このカメラにはSIセンサーが装備されており、縦位置で撮影した画像は、再生時に正しい縦位置に回転して表示されます。この機能の入 / 切を設定できます。



1 **[（設定）] メニューから[縦横自動回転]を選ぶ**

- メニューの選択と設定のしかた（p. 58）



2 **◀▶ で [入] を選び、MENUボタンを押す**

- [入]に設定すると、撮影モードで液晶モニター（またはビューファインダー）が「情報表示あり」のとき、画面右上にカメラの向きを示すアイコンが表示されます。
  ：通常
  ：右が下
  ：左が下

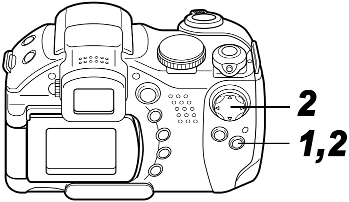
> - カメラを真上や真下に向けて撮影すると、正しく機能しない場合があります。アイコン（ ）を確認し、正しく天地を判断しない場合は[切]にしてお使いください。
> - 縦横自動回転の設定が[入]のときに縦位置で撮影した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。

- このカメラは、縦位置で構えて撮影する場合、SI センサーにより上側を「天」、下側を「地」と判断して縦位置に最適なフォーカス、露出、ホワイトバランス制御を行います。この機能は縦横自動回転の入 / 切に関係なく有効です。
- カメラの縦・横の向きを変えると、その向きを検出する機構により音がすることがありますが、故障ではありません。

ファイル番号をリセットする

ファイル番号の設定方法を選択します。

入	新しい CF カードを入れるたびに、ファイル番号が初期値（100-0001）に戻ります。記録済みの CF カードを入れたときは、続きの番号になります。
切	最後に撮影した画像のファイル番号が記憶され、新しい CF カードを入れても続きのファイル番号になります。



1 [(設定)] メニューから［番号リセット機能］を選ぶ



- メニューの選択と設定のしかた（p. 58）

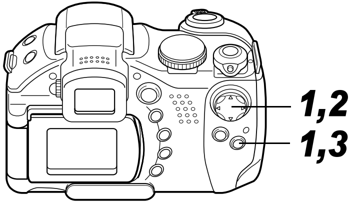
2 ◀▶で[入]または[切]を選び、MENUボタンを押す

◆番号リセット機能を［切］にして撮影すると、ファイル番号が重複しないため、パソコンでまとめて管理するような場合に便利です。
◆画像ファイルの管理（p. 152）

カメラを自分好みにする（マイカメラ機能）

カメラの起動画面や起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を「マイカメラコンテンツ」と呼びます。このカメラでは起動画面や音をそれぞれ3種類から選べます。

マイカメラコンテンツを変更する



1 MENUボタンを押し、▶を2回押す



[(マイカメラ)]メニューが表示されます。

2 ▲▼でメニュー項目を選び、◀▶で設定したいコンテンツを選ぶ

- [切]：切
- [1]：一般
- [2]：SF関連
- [3]：動物関連
- ● [2] [3] に登録されているコンテンツは変更できます （p. 63）。

3 MENUボタンを押す

メニューが終了し、設定が有効になります。

- ●撮影モードのときは、シャッターボタンを半押ししてもメニューを終了できます。

- ◆すべて同じコンテンツに設定したいときは、手順**2**で［セット］を選びます。
- ◆マイカメラメニューでコンテンツを選択していても、[[設定]（設定）]メニューの[消音]が[入]になっているときは、警告音以外の音は鳴りません。起動画面は表示されます （p. 62）。

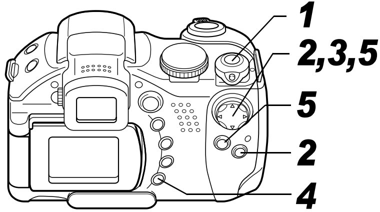
マイカメラコンテンツを新規登録する

[2] [3] に新しいコンテンツを登録します。

CF カードに記録してある画像や新たに録音した音声を、マイカメラコンテンツとしてその場ですぐにカメラに登録できます。付属のソフトウェアを使うと、パソコンにある画像や音声、CANON iMAGE GATEWAY (オンラインフォトサービス p. 110) からダウンロードしたコンテンツをカメラに登録することもできます。
コンテンツを登録できる項目は、以下のとおりです。

- ・起動画面
- ・起動音
- ・操作音
- ・セルフタイマー音
- ・シャッター音

CFカード内の画像や音声は、以下の手順で登録できます。



1 モードレバーを ▶（再生）側に回す

2 MENUボタンを押し、▶を2回押す



[（マイカメラ）]メニューが表示されます。

3 ▲▼で登録したいメニュー項目を選び、◀▶で または を選ぶ

(DISPLAY) が表示されます。

4 DISPLAYボタンを押す

起動画面または音声を登録する画面が表示されます。

[起動画面］を登録するとき



- ◀▶で登録したい画面を選び、**SET** ボタンを押します。

[起動音] [シャッター音] [操作音］［セルフタイマー音］を登録するとき



- ◀▶ で ●（録音）を選び、**SET**ボタンを押します。録音がはじまります。
- 一定時間が経過すると自動的に録音が終了します。

起動音：1 秒	操作音：0.3 秒
セルフタイマー音:2 秒	シャッター音：0.3 秒

- ◀▶ で （登録）を選び、**SET**ボタンを押します。

5 ◀▶ で [OK] を選び、SETボタンを押す

●動画や音声メモ機能（p. 97）で記録した音声は、マイカメラコンテンツに登録できません。
●新しいマイカメラコンテンツを登録すると、以前に登録されていたコンテンツは消去されます。

マイカメラコンテンツのファイルフォーマット

マイカメラコンテンツは以下のファイルフォーマットにしたがっている必要があります。
ただし、このカメラで撮影したCFカード内の画像は下記フォーマットに関係なく登録できます。

● **起動画面**
- 記録画像フォーマット　JPEG（ベースラインJPEG）
- サンプリングレート　4：2：0 または4：2：2
- 画像サイズ　320×240画素
- ファイル容量　20KB以下

● **起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音**
- 記録フォーマット　WAVE（モノラル）
- 量子化ビット　8bit
- サンプリング周波数　11.025kHz または8.000kHz
- 記録時間

	11.025kHz	8.000kHz
起動音	1.0 秒以下	1.3 秒以下
操作音	0.3 秒以下	0.4 秒以下
セルフタイマー音	2.0 秒以下	2.0 秒以下
シャッター音	0.3 秒以下	0.4 秒以下

上記フォーマット以外のファイルは、カメラに登録できません。

たとえば[セルフタイマー音]に「はい、チーズ！」などのかけ声を登録しておくと、シャッターが切れる2秒前にカメラが発声します。他にもさまざまな音をお楽しみいただけます。陽気なリズムの音楽を登録すれば目元もほころび、自然な笑顔を撮影できるかもしれません。演奏に合わせてポーズを決めるのも、マイカメラならではの撮影方法です。

マイカメラコンテンツの登録、作成についての詳細は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

CANON iMAGE GATEWAYを利用する

CANON iMAGE GATEWAY は、キヤノンのデジタルカメラを購入された方がお使いになれるオンラインフォトサービスです。オンラインで会員登録（無料）されると、いろいろなサービスがご利用いただけます。

http://www.imagegateway.net/

- 最新のサービス内容は、上記のサイトでご確認いただけます。
- 会員登録方法は、上記のサイト、またはソフトウェアクイックガイドでご確認いただけます。

* インターネットに接続できる環境（プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み）が必要です。

* プロバイダとの接続料金、およびプロバイダのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

CANON iMAGE GATEWAYの会員になるとできること

－次のサービスをご利用いただけます－

バージョンアップなどサポート情報の電子メール配信サービス（無料）

登録されたカメラのファームウェア / ソフトウェアのバージョンアップに関する最新情報を、ご希望の方にお知らせいたします。

オンラインアルバムサービス（無料）



- 撮影した静止画や動画 * を CANON iMAGE GATEWAY にアップロードし、ネット上にご自分のアルバムを作成できます。
- 画像につけたコメントや音声もアップロードできますので、オリジナルのアルバムをお楽しみいただけます。

* 動画をアップロードするには、追加ソフトウェア（無料）を CANON iMAGE GATEWAYからダウンロードし、事前にパソコンにインストールすることが必要です。

携帯電話アルバム通知・閲覧サービス（無料）



- お友達やご家族のパソコンや携帯電話に、作成したアルバムのURLをメールで知らせることができます。
  オンラインアルバムは、メールで通知されたURLからパソコンや携帯電話で直接見られるので、楽しい思い出を共有できます*（パソコンからは動画も閲覧できます）。
- 携帯電話は、お使いの機種に合わせて画像の大きさや色数が自動的に調整されます。

* 携帯電話の通信料金は使用された方のご負担となります。また、カラー表示可能な携帯電話をご利用ください。

ホームプリンティングサービス（無料）

画面上の印刷ボタンを押すだけで、オンラインアルバム上のお好きな画像を、対応のキヤノン製プリンターで印刷できます*。ご自身だけでなく、お知らせメールを受けたお友達やご家族の方にもご利用いただけます。

* ご利用の際には、プラグインモジュールをCANON iMAGE GATEWAYからダウンロードして、パソコンにインストールすることが必要です。

プリント注文サービス（有料）



- オンラインアルバムの画像は、インターネットから24時間、いつでもプリント注文できます。
- ご自身だけでなく、公開されたアルバムを見たお友達やご家族の方も注文できます。
- プリントサイズは　DP判、L判、2L判、A4判、A3判、ポストカードサイズに対応しています。
- プリントは、提携のプリントサービス会社から指定の場所に配送されます。

●代金はクレジットカード、もしくは最寄りのコンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末を使って（コンビニ決済)、簡単にお支払いいただけます。
●携帯電話からもプリントを注文できます。

オリジナル写真集（マイブック）作成サービス（有料）

●CANON iMAGE GATEWAY のオンラインアルバムをプリント/製本して、本格的なオリジナル写真集をインターネットから24時間、いつでも注文できます。
●ご自身だけでなく、公開されたアルバムを見たお友達やご家族の方も注文できます。
●写真集は、提携のプリントサービス会社から指定の場所に配送されます。
●代金はクレジットカード、もしくは最寄りのコンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末を使って（コンビニ決済)、簡単にお支払いいただけます。

マイカメラコンテンツのダウンロード（無料）

●マイカメラコンテンツをダウンロードし､カメラに登録できます。
●多彩なコンテンツが用意されていますので､お好きなものをダウンロードしてカメラに登録すれば､ご自分だけのオリジナルカメラをお楽しみいただけます。



* 画面例は Windows XP 用です。また、最新の画面表示と異なることがあります。

カメラとパソコンを接続して画像を取り込む

カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法は以下のとおりです。

カメラとパソコンを接続して画像を取り込む
カメラとパソコンを接続するだけで、簡単に画像を取り込めます。

CFカードから直接画像を取り込む
カードアダプターやカードリーダーをお使いの場合は、CFカードから直接パソコンに画像を取り込めます。

付属のソフトウェアをインストールしたあと、そのソフトウェアで簡単に画像を取り込み、プリントしたりメールに添付して送付できます。

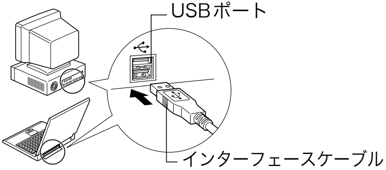
以下の OS をお使いの場合、カメラとパソコンを接続する前に、必ず付属のCanon Digital Camera Solution Disk に収められているドライバとソフトウェアをインストールしてください。
● Windows 98 (Second Edition を含む)
● Windows 2000　● Windows Me
● Mac OS 9.0〜9.2

- カメラをパソコンに接続する場合、カメラの電源にはコンパクトパワーアダプター CA-PS700（別売）をお使いになることをおすすめします(p. 138)。
- USB 2.0対応ボードとの接続は、すべての動作を保証するものではありません。

以下のようなときはソフトウェアクイックガイドをご覧ください。
- ドライバとソフトウェアをインストールする前にカメラとパソコンを接続し、カメラが正しく認識されない（ソフトウェアクイックガイドの「困ったときには」）
- パソコンに必要なシステム条件、ドライバやソフトウェアのインストール手順を知りたい
- カメラとパソコンを接続したあとの操作方法を知りたい

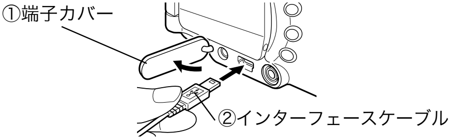
1 Canon Digital Camera Solution Disk から、ドライバとソフトウェアをインストールする

2 付属のインターフェースケーブルでパソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL端子を接続する

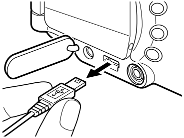


DIGITAL 端子

①端子カバーの溝に爪をかけて開きます。
②⭠を上にしてしっかり奥まで差し込みます。



- カメラの端子からケーブルを取り外すときは、必ずコネクターの側面を持って取り外してください。



- USB接続の場合、カメラやパソコンの電源を切る必要はありません。
- USBポートの位置は、お使いのパソコンの取扱説明書で確認してください。
- パソコンへの接続が完了すると、液晶モニター（またはビューファインダー）は消え、電源 / モードランプが黄色に点灯します。

ソフトウェアをインストールしないで画像を取り込む (Windows XP、Mac OS X(v10.1/v10.2) のみ)

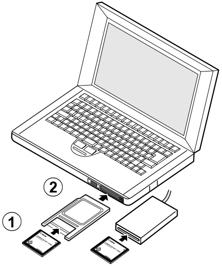
Windows XPまたはMac OS X (v10.1/v10.2)をお使いの場合、OS に標準で組み込まれているソフトウェアを使用するので、Canon Digital Camera Solution Disk からソフトウェアをインストールしなくても、画像（JPEG 形式のみ）を取り込むことができます。会社やお友達のパソコンに画像を取り込むときに便利です。
ただし、この方法で画像を取り込む場合、いくつかの制限事項があります。詳しくは、付属の「Windows® XP、Mac OS Xをお使いの方へ」でご確認ください。

1. 付属のインターフェースケーブルで、パソコンの USB ポートとカメラの DIGITAL 端子を接続する （p. 113 手順 **2**を参照してください。）
2. パソコンに表示されるメッセージにしたがって画像を取り込む

Mac OS X（v10.1/v10.2）をお使いの場合
iPhoto で音声メモ付きの静止画を取り込む場合、音声メモは取り込めません。なお、[転送後にカメラの内容を消去する] を選択して画像を取り込むと、音声メモも消去されてしまいますので、ご注意ください。

CFカードから直接画像を取り込む

1 カメラからCFカードを取り出し、パソコンに接続されたCFカードリーダーに入れる



- PCカードリーダーまたはPCカードスロットをお使いの場合は、まずCFカードをPCカードアダプター（別売）に差し込んでから（①）入れてください（②）。

2 CFカードを接続したドライブをダブルクリックして開く

- OSによっては、自動的に画面が開きます。

3 撮影した画像をハードディスクの任意の場所にコピーする

- 画像は、CFカード内の[DCIM]フォルダの中の[xxxCANON]フォルダ（xxxは100～998の数字が入ります）にあります（p. 152）。

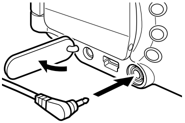
テレビを使って撮影／再生する

付属のAVケーブルAVC-DC300を使用すると、テレビに画像を表示して撮影や再生ができます。

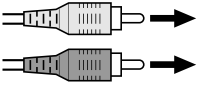
1 カメラ（p. 19）とテレビの電源を切る

- ビデオ出力方式は、日本国内で採用しているNTSC方式に設定されています。

2 カメラの端子にAVケーブルを接続する



3 テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続する



4 **テレビの電源を入れ、入力切り換えをビデオ入力にする**

5 **撮影モードまたは再生モードでカメラの電源を入れる（p. 19）**

- 画像がテレビに表示されます。通常の撮影や再生ができます。

- テレビ表示中は、液晶モニター（またはビューファインダー）に画像が表示されません。
- 海外で使うとき（p. 141）
- AVケーブルをステレオ対応のテレビに接続する場合は、音声入力端子の左右どちらかに接続してください。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書でご確認ください。
- （スティッチアシスト）では使用できません。

プリントについて

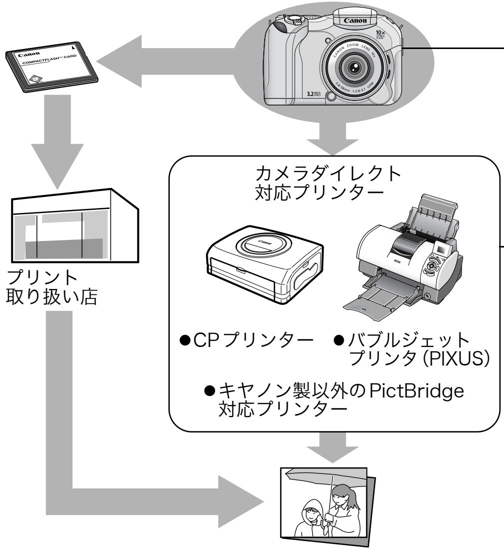
このカメラで撮影した画像は、次の方法でプリントできます。

- カメラとカメラダイレクト対応プリンター[*1]をケーブルで直接つなぎ、CF カード内の画像をカメラのボタン操作だけで簡単にプリントできます。
- プリントする画像や枚数などを、あらかじめカメラで設定（DPOF[*2]プリント設定）しておけば、CF カードをプリント取り扱い店にお持ちいただくだけで、指定どおりにプリントできます。

*1 このカメラは標準規格「PictBridge（ピクトブリッジ）」に対応していますので、キヤノン製以外の PictBridge 対応プリンターでもプリントできます。

*2 Digital Print Order Formatの略

本書ではDPOF のプリント指定を説明しています。プリント方法は、別冊のダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。また、お使いのプリンターの使用説明書もご覧ください。



DPOFプリント指定（p. 118）
DPOF送信指定（p. 123）

カメラダイレクト対応プリンターでのプリント
→ダイレクトプリントユーザーガイド
→お使いのプリンターの使用説明書

■このカメラで使えるプリンターについて

カメラダイレクト対応CPプリンター
→システムマップ

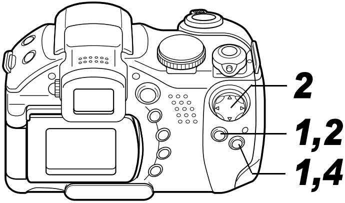
カメラダイレクト対応バブルジェットプリンタ
→裏表紙に記載されているホームページ
インクジェットプリンタ総合カタログ
キヤノン販売お客様相談センター

DPOFのプリント指定

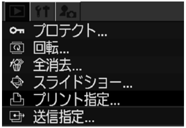
CF カードに記録されている画像のプリント条件を、あらかじめカメラで指定します。プリントする画像の選択、プリント枚数、日付印刷などが指定できます。カメラダイレクト対応プリンターで一括してプリントするときや、プリント取り扱い店に注文するときに大変便利です。
プリンターからプリントする方法は、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

- DPOF対応の他のカメラでプリント指定されたCF カードの場合、▲が表示されることがあります。このカメラでそれらのプリント指定を変更すると、設定済みのプリント指定は、すべて書き換えられます。
- プリンターまたはプリント取り扱い店によっては、指定内容が反映されないことがあります。
- 動画はプリント指定できません。

プリントする画像を選ぶ

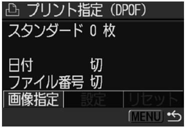


1 [▶(再生)] メニューから［プリント指定］を選び、SETボタンを押す



- メニューの選択と設定のしかた（p. 58）

2 ◀▶で［画像指定］を選び、SETボタンを押す



3 プリントする画像を選ぶ

1 画像ずつ指定するとき



- プリントタイプ（p. 120）が［スタンダード］/［両方］の場合、◀▶で画像を選びます。
  ▲▼で、プリント枚数が指定できます（最大99枚まで）。



- プリントタイプ（p. 120）が［インデックス］の場合、◀▶で画像を選び、▲▼で、指定、指定解除を行います。指定したときは、チェックマークが表示されます。
- ズームレバーを 🔍 側に回してインデックス再生（3 画像表示）に切り換えても、同じ方法で指定できます。

CFカード内のすべての画像を指定するとき



- ズームレバーを 🔍 側に回し、インデックス再生（3 画像表示）に切り換えます。
- **SET** ボタンを押したあと▲▼で［全画像指定］を選び、もう一度 **SET** ボタンを押すと、すべての画像に対して 1 枚ずつプリント指定されます。
- プリントタイプが［スタンダード］/［両方］の場合、各画像のプリント枚数を変更できます。［インデックス］の場合は、プリント指定の解除ができます。変更方法は「1 画像ずつ指定するとき」と同じです。
- ［全指定解除］を選ぶと、すべての指定を解除できます。
- ［全画像指定］または［全指定解除］を行ったあと、◀▶ で特定の画像を選び、▲▼ で設定変更できます。

4 MENUボタンを押す

プリント指定が終了し、プリント指定メニューに戻ります。

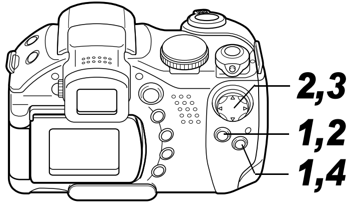
- 撮影日時の古い画像から順にプリントされます。
- 最大998画像まで指定できます。
- [プリントタイプ] が [両方] の場合、プリント枚数は指定できますが、[インデックス] の場合は指定できません。[インデックス] では1枚のみプリントされます。
- 付属のソフトウェア（ZoomBrowser EX またはImageBrowser）を使ってプリント指定ができます。

プリントスタイルを設定する

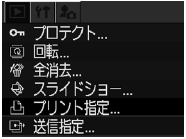
必ずプリントしたい画像を選んでから、プリントスタイルを指定してください。

以下のプリントスタイルを指定できます。

プリントタイプ	スタンダード	ペーパー 1 枚に 1 画像をプリントします。
	インデックス	インデックス形式で画像を縮小してプリントします。
	両方	スタンダードとインデックスの両方をプリントします。
日付		日付を入れてプリントします。
ファイル番号		ファイル番号を入れてプリントします。

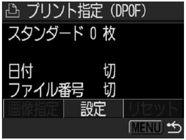


1 [▶(再生)]メニューから［プリント指定］を選び、SETボタンを押す



- メニューの選択と設定のしかた（p. 58）

2 ◀▶で［設定］を選び、SETボタンを押す



3 ▲▼で［プリントタイプ］、[日付]、[ファイル番号］のいずれかを選び、◀▶で設定する



プリントタイプ

- ［スタンダード］、［インデックス］、［両方］のいずれかを選びます。

日付

- ［入］または［切］を選びます。

ファイル番号

- ［入］または［切］を選びます。

4 MENUボタンを押す

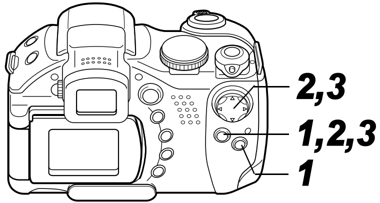
設定が終了し、プリント指定メニューに戻ります。

- [プリントタイプ]が［インデックス］の場合、［日付］と［ファイル番号］を同時に［入］に設定することはできません。
- CPプリンターと接続していて[プリントタイプ]を[両方]に設定している場合、[日付]と[ファイル番号]を同時に[入]に設定できますが、インデックスプリントには[ファイル番号]のみプリントされます。

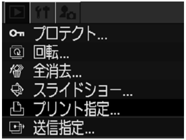
日付は、[日付 / 時刻] で設定した日付スタイルでプリントされます（p. 21）。

プリントの設定をリセットする

プリント指定された画像をすべて解除し、プリントタイプを［スタンダード］、日付を［切］、ファイル番号を［切］に戻します。



1 ［▶（再生）］メニューから［プリント指定］を選び、SETボタンを押す

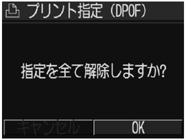


- メニューの選択と設定のしかた（p. 58）

2 ◀▶ で［リセット］を選び、SETボタンを押す



3 ◀▶ で［OK］を選び、SETボタンを押す



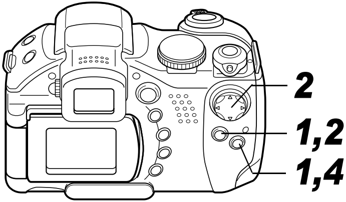
画像の送信指定（DPOF送信指定）

パソコンに取り込む画像をあらかじめカメラで指定できます。パソコンへの送信方法は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。ただし、Mac OS Xをお使いの場合、送信指定した画像をパソコンに一括で送信できません。

なお、この指定は、DPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています。

> DPOF 対応の他のカメラで送信指定された CF カードの場合、⚠が表示されることがあります。
> このカメラでそれらの送信指定を変更すると、設定済みの送信指定は、すべて書き換えられます。

送信する画像を選ぶ



1 [▶（再生）] メニューから [送信指定] を選び、SETボタンを押す



- メニューの選択と設定のしかた（p. 58）

2 ◀▶で［画像指定］を選び、SETボタンを押す



- 送信指定された画像をすべて解除するときは [リセット] を選びます。

3 送信する画像を選ぶ

1 画像ずつ指定するとき



- ◀▶ で画像を選び、▲▼で指定または指定解除を設定します。指定したときはチェックマーク（✓）が表示されます。
- ズームレバーを 🔍 側に回してインデックス再生（3 画像表示）に切り換えても、同じ方法で指定できます。

CFカード内のすべての画像を指定するとき



- ズームレバーを 🔍 側に回し、インデックス再生（3 画像表示）に切り換えます。
- **SET** ボタンを押したあと ▲▼ で［全画像指定］を選び、もう一度**SET**ボタンを押すと、すべての画像が指定されます。
- ［全指定解除］を選ぶと、すべての指定を解除できます。
- ［全画像指定］または [全指定解除] を行ったあと、◀▶ で特定の画像を選び、▲▼ で設定変更できます。

4 MENUボタンを押す

送信指定が終了し、送信指定メニューに戻ります。

- ◆撮影日時の古い画像から順に送信されます。
- ◆最大998画像まで指定できます。

メッセージ一覧

液晶モニター（またはビューファインダー）に表示されるメッセージには以下のものがあります。
●プリンターを接続しているときに表示されるメッセージについては、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

処理中 …	：撮影した画像を CF カードに記録しています。 再生モードを起動中です。 カメラやメニューの設定を初期設定に戻しています。
カードがありません	：CF カードがカメラに入っていないときに、撮影や再生をしようとしました。
記録できません	：CF カードがカメラに入っていないのに撮影しようとしました。
カードが異常です	：CF カードに異常があります
カードがいっぱいです	：CF カードの容量いっぱいに画像が記録されていて、これ以上記録や保存ができません。または、これ以上プリント指定を保存できません。
ファイル名が作成できません	：カメラが作成しようとするディレクトリと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでにファイル番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。設定メニューの［番号リセット機能］を［入］に設定してください。必要な画像をパソコンに取り込んだ後、CF カードを初期化してください（p. 18）。なお、初期化すると CF カード内の画像およびデータはすべて消去されます。
バッテリーを交換してください	：電池の容量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに 4 本ともすべて新しい単 3 形アルカリ電池（p. 14）に交換するか、充電されたキヤノン製の単 3 形ニッケル水素電池に交換してください。
温度上昇のため電源が切れます	：カメラの内部の温度が上昇したため、電源が切れました。
画像がありません	：CF カードに画像が記録されていません。
画像が大きすぎます	：4064 × 3048 画素より大きなサイズの画像を再生しようとしました。
互換性のない JPEG です	：互換性のない JPEG フォーマットの画像を再生しようとしました。
データが壊れています	：データの破壊されている画像を再生しようとしました。

RAW	：別のカメラで撮影した RAW 画像を再生しようとしました。
拡大できない画像です	：動画、別のカメラもしくは異なるフォーマットで撮影した画像、またはいったんパソコンに取り込んで加工した画像を拡大しようとしました。
回転できない画像です	：動画、別のカメラもしくは異なるフォーマットで撮影した画像、またはいったんパソコンに取り込んで加工した画像を回転しようとしました。
認識できない画像です	：特殊なフォーマット（他社カメラ特有の記録フォーマットなど）で撮影した画像、または別のカメラで撮影した動画を再生しようとしました。
互換性のない WAVE です	：録音済みの音声メモの形式が正しくないので、この画像に追加録音できません。
プロテクトされています	：プロテクトされている動画、画像を削除しようとしました。
指定が多すぎます	：プリント指定、送信指定、スライドショーの画像指定が多すぎます。これ以上指定できません。
指定できない画像です	：JPEG 以外のファイルをプリント指定しようとしました。
指定完了できませんでした	：プリント指定またはスライドショーの画像指定を保存できませんでした。
編集できません	：スライドショー指定ファイルが壊れています。
登録できない画像です	：動画、このカメラ以外で撮影した画像を起動画面に登録しようとしました。

故障かなと思ったら

現象	原因	対処
カメラが動作しない	電源が入っていません。	●電源を入れてください。 →「電源を入れる / 切る」(p. 19)
	CF カードスロットカバーまたはバッテリーカバーが開いています。	●CF カードスロット / バッテリーカバーをしっかり閉めてください。
	電池が逆向きに入っています。	●電池を正しい方向で入れ直してください。
	電池の電圧が足りません。	●未使用の電池、または十分に充電した電池に 4 本とも交換してください。 ●コンパクトパワーアダプターを使用してください。
	不適切な電池が入っています。	●未使用の単 3 形アルカリ電池、またはキヤノン製の単 3 形ニッケル水素電池を入れてください。 →「電池の取り扱いについて」(p. 15)
	カメラと電池の接触不良です。	●電池の電極を乾いたきれいな布で拭いてください。
撮影ができない	再生モード、またはパソコン接続 / プリンター接続モードになっています。	●モードレバーを左に回して、撮影モードに切り換えてください。 ●パソコン接続/プリンター接続モード時は、インターフェースケーブルを抜いてから撮影モードに切り換えてください。
	ストロボが充電中です。(液晶モニター / ビューファインダーの ϟ が点滅表示)	●充電が完了すると、液晶モニター/ ビューファインダーの ϟ の点滅が点灯に変わります。その後、シャッターボタンを押してください。
	CF カードの空き容量がありません。	●新しい CF カードを入れてください。 ●必要であれば、CF カードに記録されている画像をパソコンに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。

現象	原因	対処
	CF カードが正しく初期化されていません。	●CF カードを初期化してください。 →「CF カードを初期化する」(p. 18) ●CF カードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。キヤノンのお客様相談センターにお問い合わせください。
再生ができない	他のカメラで撮影した画像やパソコンで編集した画像を再生しようとしました。	●付属のZoomBrowser EXやImageBrowserを使って、再生できない画像をパソコンからカメラに追加すると、再生できます。詳細は ZoomBrowser EX / ImageBrowser のソフトウェアガイド(PDF)をご覧ください。
	ファイル名をパソコンで変更したり、ファイルの場所を変更しました。	●ファイル名およびフォルダ番号は、カメラの形式に合ったファイル名にしてください。 →「ファイル番号およびフォルダ番号について」(p. 152)
レンズが出たままで収納されない	電源を入れたまま、バッテリーカバーまたはCFカードスロットカバーを開けようとしました。	●バッテリーカバーまたはCFカードスロットカバーを閉じた後、電源を切ってください。
	CF カードへの記録中に、バッテリーカバーまたはCFカードスロットカバーを開けようとしました。(警告音が鳴ります。)	●バッテリーカバーまたはCFカードスロットカバーを閉じた後、電源を切ってください。
	撮影モードから再生モードに切り換えました。	●この場合はレンズが収納されません。レンズを収納するときは、モードレバーを右に回してください。
電池の消耗が早い	不適切な電池が入っています。	●未使用の単 3 形アルカリ電池または、キヤノン製の単 3 形ニッケル水素電池を入れてください。 →「電池の取り扱いについて」(p. 15)
	周囲の温度が低いために電池の容量が低下しています。	●温度が比較的低い場所で撮影する場合には、ポケットなどに電池を入れて、温めてからお使いください。

現象	原因	対処
	電池の電極が汚れています。	●電極を乾いた布などで拭いてからお使いください。
	1 年以上お使いにならなかったために、充電池の容量が低下しています。	●フル充電して使い切ることを数回繰り返すうちに容量が回復します。
	充電池の寿命です。	●4 本ともすべて新しい充電池と交換してください。
別売のバッテリーチャージャーで充電できない	電池が逆向きに入っています。	●電池を正しい方向で入れ直してください。
	充電池とバッテリーチャージャーの接触不良です。	●充電池をバッテリーチャージャーにしっかりとセットしてください。 ●電源コードをバッテリーチャージャーのコネクターとコンセントにしっかり差し込んでください。
	電池の電極が汚れています。	●電極を乾いた布などで拭いてから充電してください。
	充電池の寿命です。	●4 本ともすべて新しい充電池と交換してください。
画像がぼやけている ピントがあまい	カメラが動いています。	●シャッターボタンを押すときに、カメラを動かさないように注意してください。 ●シャッタースピードが遅く(手ブレ警告)が表示されたときは、三脚をお使いください。 ●手ブレ補正機能をオンにしてください。
	被写体がピントの合う範囲からはずれています。	●被写体から 50cm 以上離してください。
	ピントが合いにくい被写体です。	●フォーカスロックかマニュアルフォーカスで撮影してください。 →「ピントが合いにくい被写体を撮る」(p. 89)

現象	原因	対処
撮影した画像の被写体が暗すぎる	撮影時の光量が不足しています。	●内蔵ストロボを常時発光にしてください。
	被写体が周辺部に比べて暗すぎます。	●露出補正値をプラス側に設定してください。 ●AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください。 →「露出を固定して撮る(AE ロック)」(p. 82) →「測光方式を切り換える」(p. 72)
	被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	●内蔵ストロボをお使いになるときは、ストロボ到達範囲内に被写体を置いてください。 感度オート時:1.0 ～ 4.2m(ワイド端)/ 3.0m(テレ端) ISO100 相当時:1.0 ～ 3.8m(ワイド端)/ 2.5m(テレ端) ●ISO 感度を上げて撮影してください。 →「ISO 感度を変更する」(p. 77)
撮影した画像の被写体が明るすぎる	被写体が近すぎてストロボ光が強すぎます。	●ストロボをお使いになるときは、ストロボ調光補正(p. 84)でストロボの発光量を調節してください。
	被写体が周辺部に比べて明るすぎます。	●露出補正値をマイナス側に設定してください。 ●スポット測光やAEロック機能を使用してください。 →「露出を固定して撮る(AE ロック)」(p. 82) →「測光方式を切り換える」(p. 72)
	照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	●被写体に対するカメラのアングルを変えてください。
	ストロボが常時発光になっています。	●ストロボをオートまたは発光禁止にしてください。
液晶モニター上に縦に赤紫などの帯が表示される	被写体が極端に明るすぎます。	●CCD特有の現象で、カメラの故障ではありません。(動画にはこの帯が記録されますが、静止画には記録されません。)

現象	原因	対処
画像に白い点などが写る	ストロボ撮影時に空気中のちりやほこり、虫などにストロボ光が反射しました。特に以下の条件で目立ちやすくなります。 ●ワイド側で撮影した場合 ●絞り優先 AE で絞り数値を大きくして撮影した場合	●デジタルカメラ特有の現象で、カメラの故障ではありません。
ストロボが発光しない	ストロボが発光禁止になっています。	●ストロボをオートまたは常時発光にしてください。
テレビに出力できない	お使いの地域のビデオ出力形式に合っていません。	●正しいビデオ出力形式(NTSC または PAL)に合わせてください。 ●日本国内の出力形式は「NTSC」です。 →「設定メニュー」(p. 63)
	(スティッチアシスト)で撮影しています。	●ではテレビに出力できません。他の撮影モードで撮影してください。
CFカードからの画像の読み出しが遅い	違う機器で初期化したCFカードが入っています。	●このカメラで初期化したCFカードをお使いください。 →「CF カードを初期化する」(p. 18)
CF カードへの画像の記録時間が長い		

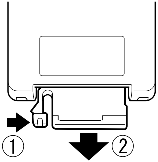
ワイヤレスコントローラー（別売）を使う

電池を取り付ける

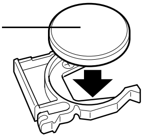
ご使用の前に、ワイヤレスコントローラー WL-DC100（別売）にコイン型リチウム電池（CR2025）を取り付けてください。

> **⚠ 警告**
>
> コイン型リチウム電池は、お子様の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合、電池の液で胃、腸が侵される恐れがありますので、直ちに医師に相談してください。

1 **① に爪をかけて矢印の方向に押しながら、② に爪をかけて電池ホルダーを取り出す**

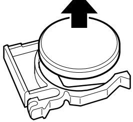


2 **電池の（－）側を上にして、電池ホルダーに取り付けて、元に戻す**



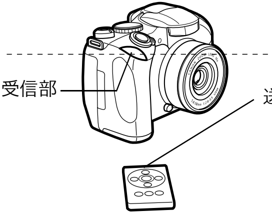
電池を取り出す

矢印の方向に引き抜くように取り出してください。



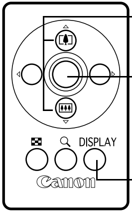
撮影/再生する

ワイヤレスコントローラーを使って、撮影や再生ができます。ワイヤレスリモコン受信部の正面から約5 m離れて撮影や再生ができます。



（撮影）のとき

液晶モニター（またはビューファインダー）に まは が表示されるまで / ボタンを押し、撮影します。

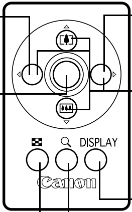


①ズームボタンで構図を決めます。

②シャッターボタンを押します。撮影メニューの［リモコン撮影］で設定した時間（0 秒 /2 秒 /10 秒）ののちに撮影されます。

●ボタンを押すたびに、情報表示なし/情報表示ありの切り換えができます。

（再生）のとき



●前の画像を表示します。

●次の画像を表示します。

●動画の再生をします。

●拡大表示時、表示位置を切り換えます。

●インデックス再生時、選択画像を切り換えます。

●ボタンを押すたびに、情報表示を切り換えます。

●ボタンを押すたびに、約2.5倍、約5倍、約10倍に拡大して表示します。

●9画像ずつまとめて表示します。（インデックス再生）

以下の場合は、使用できる距離が短くなります。

- カメラに強い光が当たっている場合
- 電池が消耗している場合

動画の編集やプリントは操作できません。

レンズ（別売）を使う

別売のレンズアダプター / フードセット LAH-DC10 には、コンバージョンレンズアダプター LA-DC52E と、レンズフード LH-DC20 が付属しています。

別売のワイドコンバーター WC-DC52A、テレコンバーター TC-DC52B、クローズアップレンズ 500D（52mm）を取り付けるときは、別売のコンバージョンレンズアダプター LA-DC52E（LAH-DC10 に付属）が必要です。
ストロボを使わずに広角側で逆光時に撮影する場合は、画面外の光がレンズに入らないように、レンズフードを取り付けることをおすすめします。

警告

- ワイドコンバーター / テレコンバーター / クローズアップレンズを取り付けるときは確実にねじ込んでください。緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。
- ワイドコンバーター / テレコンバーター / クローズアップレンズは絶対に太陽や強烈なライトに向けないでください。失明の恐れがあります。

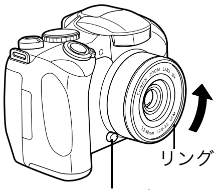
- 内蔵ストロボを使用すると、画面が欠け（ケラレ）て画像の一部が暗くなります。
- ワイドコンバーターは、ワイド端の位置でお使いください。
- テレコンバーターは、テレ端の位置でお使いください。それ以外のズーム位置でお使いになると、画像がケラレることがあります。

ワイドコンバーター WC-DC52A	52 mm のねじ径を持つ広角撮影をするための倍率変換レンズです。焦点距離は、カメラ本体の焦点距離の 0.7 倍になります。
テレコンバーター TC-DC52B	52 mm のねじ径を持つ望遠撮影をするための倍率変換レンズです。焦点距離は、カメラ本体の焦点距離の 1.6 倍になります。
クローズアップレンズ 500D（52mm）	52 mm のねじ径を持つ簡単に拡大撮影するためのレンズです。レンズ前面から被写体までが 32 ～ 50cm（テレ端）の至近距離で撮影できます。

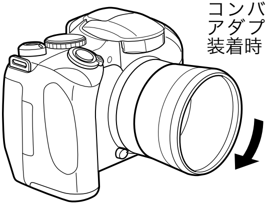
ワイドコンバーター / テレコンバーターにフィルターやレンズフードは取り付けられません。

レンズ/レンズフードを取り付ける

1 カメラの電源を切り、リング取り外しボタンを押して、レンズ周りのリングを外す

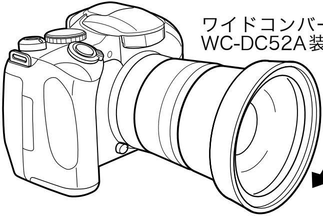


2 コンバージョンレンズアダプターの●をカメラの●印に合わせてから、▲印まで回して取り付ける



● コンバージョンレンズアダプターを取り外すときは、リング取り外しボタンを押しながら反対方向に回します。

3 レンズまたはレンズフードを矢印の方向に回して取り付ける

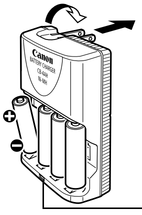


- ●レンズを取り付けて □ (スティッチアシスト) で撮影した場合、付属のソフトウェア「PhotoStitch」を使ったパソコンでの合成が正しく行えません。
- ●レンズの保護のため、カメラのレンズを片手で固定しながら着脱してください。
- ●ご使用前にはレンズ面のゴミをブロワーブラシなどで完全に取り除いてください。ゴミにピントが合ってしまいます。
- ●レンズには指紋がつきやすいのでご注意ください。
- ●取り付けたレンズアダプターはカメラ本体にロックされています。ワイドコンバーター / テレコンバーター /クローズアップレンズをレンズアダプターから取り外すときは、レンズアダプターを手でしっかり押さえながら行ってください。しっかり押さえないと、レンズアダプターが破損することがあります。

電源キット（別売）を使う

充電式バッテリーを使う（バッテリー/チャージャーキットCBK4-200）

バッテリーチャージャーと単3形ニッケル水素電池4本が入っています。次のように電池を充電してください。



- 充電中は充電ランプが点滅します。充電が終わると点灯に変わります。
- このバッテリーチャージャーでは、キヤノン製の単3形ニッケル水素電池NB-2AH以外の電池を充電しないでください。また、NB-2AHを他の充電器で充電しないでください。
- 新しい電池と、他のカメラなどで使用した電池を混ぜて使わないでください。
- 電池を充電するときは、必ず、一緒に使用している4本を同時に充電してください。
- 充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使わないでください。
- 電池を保護し、性能の劣化を防ぐため、フル充電された電池を再度充電しないでください。また、24時間以上連続して充電しないでください。
- 熱のこもりやすい場所では充電しないでください。容量を使い切らずに充電を繰り返すと、容量が低下することがあります。液晶モニター（またはビューファインダー）に「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示されるまで使い切ったあと、充電してください。
- 以下のときは、電池の電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。
  - 電池の使用可能時間が著しく短いとき
  - 記録画像数が著しく少ないとき
  - 電池を充電するとき（さらに、電池の取り付けと取り外しを2〜3回繰り返してから充電してください。）
  - 電池の充電時間が数分程度で終了する（バッテリーチャージャーのチャージランプが点灯する）とき

●電池の特性により、お買い求め直後や長期間お使いにならなかった電池は、十分に充電されないことがあります。このときは、フル充電して電池を使い切ることを数回繰り返してください。電池の性能が元に戻ります。

●フル充電の状態で長期間（1年くらい）保管すると、電池の寿命を縮めたり、性能の劣化の原因となることがありますので、カメラでバッテリーを使い切ってから常温（23 ℃以下）の涼しいところで保管することをおすすめします。また長期間使用しないときは、1年に 1 回程度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。

●電極を拭いてからチャージランプが点灯するまで充電したにもかかわらず、電池の使用可能時間が著しく短いときは、電池の寿命と考えられます。新しい電池と交換してください。新しくお求めになるときは、キヤノン製の単3形ニッケル水素電池NB4-200（NB-2AH4本セット）をご購入ください。

●電池をカメラやバッテリーチャージャーに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。お使いにならないときは、カメラやバッテリーチャージャーから取り出して乾燥した冷暗所に保管してください。

- 完全に放電された状態からフル充電になるまでの時間は、約250分です（当社測定基準による）。0～35℃の範囲で充電してください。
- 充電時間は、周囲の温度や充電状態により異なります。
- バッテリーチャージャーを使用中、音がすることがありますが、故障ではありません。
- バッテリー/チャージャーキットCBK100もお使いになれます。バッテリー / チャージャーキットCBK100では、キヤノン製の単3形ニッケル水素電池NB-1AHを充電してください。

●この製品には、充電式のニッケル水素電池を使用しています。
●ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
Ni-MH ●ニッケル水素電池の回収・リサイクルについては、下記のキヤノンのホームページで確認できます。
キヤノンサポートページ canon.jp/support
●交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。
●リサイクル協力店のお問い合わせは、以下へお願いします。

製品、ニッケル水素電池をご購入いただいた販売店
（社）電池工業会小形二次電池再資源化推進センター
及び充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局*

*（社）電池工業会　電話番号　03-3434-0261

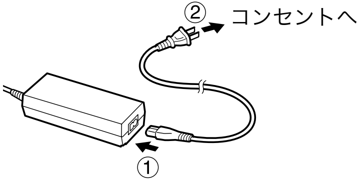
リサイクル時のご注意

電池を分解しないでください。

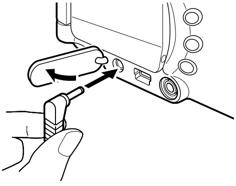
コンパクトパワーアダプター

カメラを連続して長時間お使いになるときや、パソコンやプリンターと接続するときは、コンパクトパワーアダプター CA-PS700（別売）の利用をおすすめします。

1 コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む



2 カメラの端子カバーを開き、コンパクトパワーアダプターのDCプラグをDC IN端子に接続する



●使用後はコンパクトパワーアダプターを取り外してください。

●コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しは、必ずカメラの電源を切って（p. 19）から行ってください。
●コンパクトパワーアダプター CA-PS700 以外をお使いになると、カメラやコンパクトパワーアダプターの故障の原因となることがあります。

海外で使うとき（p. 141）

ボタン型リチウムイオン電池の交換

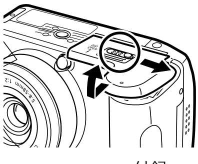
カメラの電源を入れたとき、日付 / 時刻の設定メニューが表示された場合は、ボタン型のリチウム電池の残量が低下し、日付の設定が消えています。市販されているボタン型のリチウム電池（CR1220）をお求めのうえ、次の手順で交換してください。

最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、ご購入後の電池の寿命は短い場合があります。

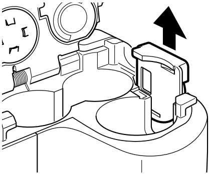
⚠ 警告

ボタン型のリチウム電池は、お子様の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合、電池の液で胃、腸が侵される恐れがありますので、直ちに医師に相談してください。

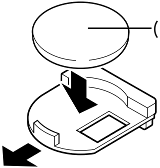
1 電源を切り、バッテリーカバーを矢印の方向にスライドさせて開く



2 **単 3 形の電池を取り出し、電池ホルダーの側面に爪をかけて引き出す**



3 **古い電池を取り外し、新しい電池の（+）側を上にして電池ホルダーに取り付ける**



4 **電池ホルダーと単 3 形の電池を元に戻し、バッテリーカバーを閉じる**

カメラのお手入れ

カメラやレンズ、ビューファインダー、液晶モニターなどが汚れたときは、以下の方法でクリーニングしてください。

カメラ	：やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。
レンズ	：市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払った後、やわらかい布で軽く拭き取ってください。 ●カメラやレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りのキヤノンサービスセンター（別紙の「修理サービスご相談窓口」をご参照ください）にご相談ください。
ビューファインダー、液晶モニター	：市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。 ●液晶モニターの表面を強くこすったり押したりすると、表面にキズがつきますのでご注意ください。

絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の変形や故障の原因になることがあります。

海外で使うとき

本製品は、海外でもお使いになれますが、以下のことにご注意ください。

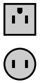
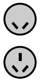
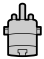
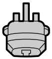
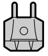
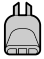
テレビでの再生

ビデオ出力方式は、初期設定では日本国内で採用している NTSC 方式に設定されていますが、海外の別方式（PAL 方式：主にヨーロッパ、オセアニア、アジア（一部地域を除く））に切り換えることができます。海外に旅行したときなどは、切り換えてお使いください（p. 63）。

電源について

コンパクトパワーアダプターやバッテリーチャージャーは、AC100～240V 50 / 60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります（1つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	S
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

主な国名と使用するプラグの種類

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. S
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. S
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア	
オーストラリア	S
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	S
ニュージーランド	S
フィジー	S

●中南米	
アルゼンチン	BF. C. S
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

●中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ	
アルジェリア	A. B. BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

- コンパクトパワーアダプターやバッテリーチャージャーを海外旅行用の電子変圧器などに接続すると、故障のおそれがありますので使用しないでください。
- このカメラの保証書は、国内に限り有効です。万一、海外旅行先で故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により、記載内容を予告なしに変更することがあります。

PowerShot S1 IS

カメラ部有効画素数	：約320万画素
撮像素子	：1/2.7型 CCD（総画素数 約330万画素）
レンズ	：5.8（W）- 58.0（T）mm (35mm フィルム換算38-380 mm) F2.8（W）- F3.1（T）
デジタルズーム	：最大約3.2倍（光学ズームと合わせて最大約32倍のデジタルズームが可能）
ビューファインダー	：カラー液晶ファインダー、視野率100%
液晶モニター	：1.5型低温ポリシリコン（バリアングルタイプ） TFT液晶カラーモニター、視野100%
AF方式	：TTLオートフォーカス AFロックおよびマニュアルフォーカス可能 測距枠：1点（位置は任意設定可能）
撮影距離（レンズ先端より）	：通常撮影：10 cm～∞（W）/93 cm～∞（T） マニュアルフォーカス撮影：10 cm～∞（W）/93 cm～∞（T）
シャッター	：メカニカルシャッター＋電子シャッター
シャッタースピード	：15～1/2000秒 1.3秒以上はシャッタースピード優先モードまたはマニュアルモード撮影時 15～1.3秒のスローシャッター時はノイズリダクション処理あり
測光方式	：評価測光 / 中央部重点平均測光 / スポット測光（中央固定AE / AF枠連動）
露出制御方式	：プログラムAE / シャッタースピード優先AE / 絞り優先AE / マニュアル露出　AEロック可能
露出補正	：±2段（1/3段ステップ)、AEB撮影可能
感度	：オート、ISO 50 / 100 / 200 / 400相当

（W）：ワイド端　（T）：テレ端

ホワイトバランス	：TTLオート / プリセット（太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯H / ストロボ）/ マニュアル
内蔵ストロボ	：オート* / 常時発光* / 発光禁止 *赤目緩和設定可能
内蔵ストロボ撮影範囲	：1.0～4.2m（W）/ 1.0～3.8m（T）（ISO 100相当時）
ストロボ調光補正	：±2段（1/3段ステップ）、FEロック/ スローシンクロ / 先幕、後幕シンクロ可能
撮影モード	：オート クリエイティブゾーン：プログラム / シャッタースピード優先 / 絞り優先/ マニュアル/カスタム イメージゾーン：ポートレート / 風景 / 夜景/ 高速シャッター / スローシャッター / スティッチアシスト / 動画
連続撮影	：約1.7画像/秒（ラージ/ファインモードのとき）
インターバル撮影	：撮影間隔：約1～60分（1分単位） 撮影枚数：2～100画像（最大画像数は、CFカードの容量による）
セルフタイマー	：約10秒 / 約2秒後に撮影
ワイヤレスコントローラー	：撮影 / 再生可能（別売） 撮影時はレリーズボタン操作から瞬時 / 約2秒後 / 約10秒後に撮影
パソコン接続撮影	：USB接続時、付属のソフトウェアで撮影可能
記録媒体	：コンパクトフラッシュカード（TypeIおよびTypeII対応）
画像ファイルフォーマット	：DCF準拠*1、DPOF対応
画像記録フォーマット （静止画）	：JPEG (Exif 2.2)*2
（動画）	：AVI（画像データ：Motion JPEG / 音声データ：WAVE（モノラル））
圧縮率	：スーパーファイン / ファイン / ノーマル

（W）：ワイド端　（T）：テレ端

記録画素数 (静止画)	: ラージ　:2048× 1536画素 ミドル1 :1600× 1200画素 ミドル2 :1024× 768画素 スモール:　640× 480画素
(動画)	: 640 × 480画素ファイン 640 × 480画素 320 × 240画素 1回の撮影でのファイルサイズ最大1GB、または撮影時間約1時間まで撮影可能
フレームレート	: 15フレーム/秒または30フレーム/秒
音声	: サンプリング周波数　:約22 kHz 量子化ビット　　　　:16ビット
再生モード	: シングル再生（ヒストグラム表示可能）/ インデックス再生（サムネイル9画像） 拡大再生（液晶モニター / ビューファインダー上で約10倍に拡大可能） スライドショー 音声メモ（最長60秒まで記録/再生が可能）
ダイレクトプリント	: CPダイレクト / Bubble Jet ダイレクト / PictBridgeに対応
表示言語	: 日本語 / 英語 / ドイツ語 / フランス語 / オランダ語 / デンマーク語 / フィンランド語 / イタリア語 / ノルウェー語 / スウェーデン語 / スペイン語 / 中国語
マイカメラ（カスタマイズ）機能	: 起動画面/起動音/シャッター音/操作音/ セルフタイマー音が､以下の方法で設定可能 1. このカメラで記録 2. 付属のソフトウェアやオンラインフォトサービス「CANON iMAGE GATEWAY」からダウンロード
CANON iMAGE GATEWAY 対応機能	: 付属のソフトウェアを使って、CANON iMAGE GATEWAYの会員登録、画像のアップロード、オンラインアルバムサービス、携帯電話アルバム通知・閲覧サービス、カメラへのマイカメラコンテンツのダウンロード、オンラインプリントサービス、オリジナル写真集作成サービス、ホームプリンティングサービスなどが利用可能
インターフェース	: USB（mini-B、PTP [Picture Transfer Protocol]） 映像/音声出力端子（NTSCまたはPAL切換可能、モノラル音声）

電源	：1. 単3形アルカリ電池（付属） 2. ニッケル水素電池（NB4-200）（別売） 3. コンパクトパワーアダプター（CA-PS700）（別売）
動作温度	：0～40℃
湿度	：10～90%
大きさ	：111.0 × 78.0 × 66.1 mm（突起部を除く）
質量	：約370 g（本体のみ）

*1 DCFは（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、DSC等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

*2 このデジタルカメラは、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Printは、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

電池性能について

	撮影画像数		再生時間
	液晶モニター表示時	ビューファインダー表示時	
単 3 形アルカリ電池（付属品）	約 120 画像	約 125 画像	約 330 分
単 3 形ニッケル水素電池（NB4-200）	約 550 画像	約 570 画像	約 450 分

* 上記データは当社測定条件によるもので、撮影状況、撮影モードなどにより異なります。
* 動画データは除きます。

＜測定条件＞

撮影：常温（23℃）、20秒間隔でワイド端とテレ端撮影を交互に繰り返し、4回に1回ストロボ使用、8回に1回電源を切 / 入操作、CFカード使用、液晶モニターの明るさは工場出荷時の設定

再生：常温（23℃）、1 画像あたり 3 秒間隔で連続再生、CF カード使用、液晶モニターの明るさは工場出荷時の設定

電池の取り扱いについて（p. 15）

CFカードの種類と記録可能画像数の目安

□付属のカード

			FC-32MH	FC-64M	FC-128M	FC-256MH	FC-512MSH
L（ラージ）	2048 × 1536 画素	🅂	18	38	76	154	308
		◢	33	68	137	276	552
		▟	67	136	274	548	1096
M1（ミドル 1）	1600 × 1200 画素	🅂	30	61	122	246	491
		◢	54	109	219	440	879
		▟	108	217	435	868	1736
M2（ミドル 2）	1024 × 768 画素	🅂	53	107	215	431	855
		◢	94	189	379	762	1524
		▟	174	349	700	1390	2717
S（スモール）	640 × 480 画素	🅂	120	241	482	962	1893
		◢	196	393	788	1553	3125
		▟	337	676	1355	2720	5209
動画 *	640 × 480 画素 (Fine)	640f	15 秒 /30 秒	30 秒 /61 秒	62 秒 /124 秒	125 秒 /249 秒	250 秒 /499 秒
	640 × 480 画素	640	20 秒 /42 秒	42 秒 /85 秒	85 秒 /170 秒	172 秒 /343 秒	344 秒 /686 秒
	320 × 240 画素	320	46 秒 /91 秒	92 秒 /183 秒	186 秒 /368 秒	374 秒 /735 秒	743 秒 /1463 秒

- この数値は当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、撮影モードなどにより変わります。
- **L**（ラージ）、**M1**（ミドル1）、**M2**（ミドル2）、**S**（スモール）、640f、640、320 は記録画素数を表します。
- 🅂（スーパーファイン）、◢（ファイン）、▟（ノーマル）は圧縮率を表します。

* 前部は約30フレーム/秒、後部は約15フレーム/秒のとき

1画像の容量（目安）

記録画素数		圧縮率		
L	2048×1536画素	1602KB	893KB	445KB
M1	1600×1200画素	1002KB	558KB	278KB
M2	1024 × 768 画素	570KB	320KB	170KB
S	640 × 480 画素	249KB	150KB	84KB

画質		フレームレート	
動画	640 × 480 画素（Fine）	1980KB/ 秒	990KB/ 秒
	640 × 480 画素	1440KB/ 秒	720KB/ 秒
	320 × 240 画素	660KB/ 秒	330KB/ 秒

ワイヤレスコントローラー WL-DC100（別売）

電源	：コイン型リチウム電池 CR2025
使用温度	：0 〜 40 ℃
大きさ	：35 × 6.5 × 56.6mm
質量	：約 10g

コンパクトフラッシュカード

カードスロットタイプ	：Type Ⅰ
大きさ	：36.4 × 42.8 × 3.3mm
質量	：約 10g

コンパクトパワーアダプターCA-PS700（別売）

定格入力	：AC100 〜 240V（50 / 60 Hz）30VA（100V）〜 40VA（240V）
定格出力	：DC 7.4V / 2.0A
使用温度	：0 〜 40 ℃
大きさ	：112 × 29 × 45mm（本体のみ）
質量	：約 186g

バッテリーチャージャー CB-4AH

(別売のバッテリー /チャージャーキットCBK4-200に付属)

定格入力	：AC100 〜 240V（50 / 60Hz）16VA 〜 21VA
定格出力	：565mA*1、1275mA*2
充電時間	：約 250 分 *1、約 110 分 *2
使用温度	：0 〜 35 ℃
大きさ	：65.0 × 105.0 × 27.5mm
質量	：約 95g

*1 ニッケル水素電池NB-2AH　4本充電時
*2 ニッケル水素電池 NB-2AH 2 本をバッテリーチャージャーの両端にセットしたとき

ワイドコンバーター WC-DC52A（別売）

倍率	：約 0.7 倍
焦点距離	：26.6mm（35mm フィルム換算）
レンズ構成	：3 群 3 枚
撮影範囲（レンズ先端より）	：0cm ～∞
ねじ径	：52mm 標準フィルターネジ（PowerShot S1 IS に装着時は、コンバージョンレンズアダプター LA-DC52E が必要）
大きさ	：直径 81.0mm　長さ 46.0mm
質量	：約 145g

テレコンバーター TC-DC52B（別売）

倍率	：約 1.6 倍
焦点距離	：608mm（35mm フィルム換算）
レンズ構成	：3 群 5 枚
撮影範囲（レンズ先端より）	：2.15mm ～∞
ねじ径	：52mm 標準フィルターネジ（PowerShot S1 IS に装着時は、コンバージョンレンズアダプター LA-DC52E が必要）
大きさ	：直径 69.6mm　長さ 66.5mm
質量	：約 145g

ニッケル水素電池NB-2AH

（別売のニッケル水素電池 NB4-200 またはバッテリー /チャージャーキットCBK4-200に付属）

形式	：単3形充電式ニッケル水素電池
公称電圧	：DC1.2V
公称容量	：2300mAh（最小：2150mAh）
充放電回数	：約 300 回（目安）
動作温度	：0 ～ 35 ℃
大きさ	：直径 14.5mm　長さ 50mm
質量	：約 29g

コンバージョンレンズアダプターLA-DC52E

（別売のレンズアダプター /フードセットLAH-DC10に付属）

ねじ径	：52mm 標準フィルターネジ
大きさ	：直径 56.8mm　長さ 34.5mm
質量	：約 12g

レンズフードLH-DC20

（別売のレンズアダプター /フードセットLAH-DC10に付属）

ねじ径	：52mm 標準フィルターネジ
大きさ	：直径 73.8mm　長さ 28.2mm
質量（本体のみ）	：約 15g

クローズアップレンズ 500D 52mm（別売）

焦点距離	：500mm
撮影距離 （レンズ先端より）	：32 〜 50cm (T)/7.7 〜 50cm (W) （PowerShot S1IS 装着時）
ねじ径	：52mm 標準フィルターネジ （PowerShot S1 IS に装着時は、コンバージョンレンズアダプター LA-DC52E が必要）
大きさ	：直径 54mm　長さ 9.8mm
質量	：約 40g

ワンポイントアドバイス

ISO感度（p. 77）

ISO 感度とは、光を感じる能力を数値化したものです。数値が高いほど感度が高くなります。ISO感度が高いと、暗い場所でストロボを使わずに撮影できます。ストロボ撮影禁止の場所で撮影するときに便利です。その場の光を生かした雰囲気のある仕上がりになります。


ISO50相当

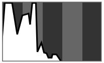

ISO400相当

セルフタイマーの活用法（p. 47）

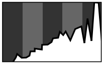
シャッターボタンを押した瞬間に、カメラが動いてしまう可能性があります。このときセルフタイマーを⏲に設定すると､2秒後に撮影されるので画像のブレを防ぐことができます。
カメラを固定した台の上に置いたり、三脚を使用すると、よりきれいな画像を撮影できます。

ヒストグラム（p. 24）

ヒストグラムは、撮影した画像の明るさを判断するためのグラフです。グラフが左に寄るほど暗い画像になり、右に寄るほど明るい画像になります。
暗いほうに偏っているときは、露出をプラス側に補正し、明るいときは、マイナス側に補正して撮影します（p. 74）。


暗い画像

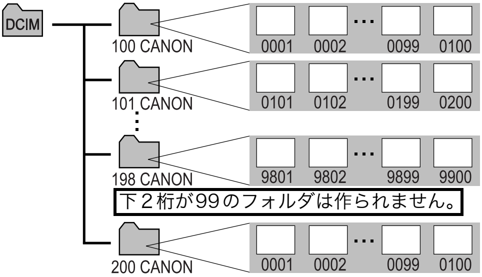

普通の明るさの画像


明るい画像

画像ファイルの管理（p. 105）

●ファイル番号およびフォルダ番号について

撮影した画像には0001〜9900までのファイル番号が割り振られ、各フォルダには100〜998までの番号が割り振られます（下2桁が99のフォルダは作られません）。



●ファイル数について

ひとつのフォルダに100画像ずつ保存されます。
ただし、連続撮影やステッチアシストモードで撮影した画像は、必ずひとつのフォルダに保存されるため、フォルダ内に 101 画像以上保存されることがあります。他のカメラで撮影したりパソコンから画像をコピーすると、ひとつのフォルダ内に 101 画像以上を保存できますが、2001 以上の画像が保存されているフォルダ内の画像はこのカメラで再生できません。

露出補正のしかた（p. 74）

このカメラは、適切な明るさで撮影できるよう自動で露出を補正しています。しかし、撮影状況によっては実際よりも明るく写ったり、暗く写ってしまうことがあります。このようなときは、手動で露出を補正してください（p. 74）。

●露出不足（アンダー）

全体が黒っぽく写ります。そのため、白いものはグレーのように写ります。白っぽい被写体や逆光で撮影すると、露出アンダーになることがあります。＋側に補正してください。



●適切な露出



●露光過多（オーバー）

全体が白っぽく写ります。そのため、黒いものはグレーのように写ります。黒っぽい被写体や暗い場所で撮影すると、露出オーバーになることがあります。－側に補正してください。



索引

記号 / アルファベット

ア行

カ行

サ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

補修用性能部品について
保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーガイド（本書）に従って正しい取り扱いをしてください。

①本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
②本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
③本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたら、キヤノンお客様相談センターまでご連絡ください。連絡先は、本書巻末に記載してあります。
④このカメラを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

- CanonおよびPowerShot、PIXUSは、キヤノン株式会社の商標です。
- CANON iMAGE GATEWAYおよびiMAGE GATEWAYは、日本国内において商標登録出願中です。
- CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は、SanDisk Corporationの商標です。
- DCFは、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- iBookおよびiMacは、米国アップルコンピュータ社の商標です。
- MacintoshおよびPowerBook、Power Macintosh、QuickTimeは、米国および他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- MicrosoftおよびWindows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

各撮影モードで設定できる機能一覧

各撮影モードで設定できる機能は、以下のとおりです。
Cのときは、登録時に設定した内容で撮影ができます。（p. 94）

			AUTO								P	Tv	Av	M	参照先
記録画素数（静止画）	ラージ	L	○*	○*	○*	○*	○*	○*	△*	–	○*	○*	○*	○*	
	ミドル 1	M1	○	○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	
	ミドル 2	M2	○	○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	
	スモール	S	○	○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	p. 31
記録画素数（動画）	640 × 480 画素(Fine)		–	–	–	–	–	–	–	○	–	–	–	–	
	640 × 480 画素		–	–	–	–	–	–	–	○*	–	–	–	–	
	320×240画素		–	–	–	–	–	–	–	○	–	–	–	–	
圧縮率	スーパーファイン		○	○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	
	ファイン		○*	○*	○*	○*	○*	○*	△*	–	○*	○*	○*	○*	p. 31
	ノーマル		○	○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	
フレームレート	30 フレーム / 秒		–	–	–	–	–	–	–	○*	–	–	–	–	p. 53
	15 フレーム / 秒		–	–	–	–	–	–	–	○	–	–	–	–	
ストロボ	オート		○*	○*	○	○*	○*	○	–	–	○	–	–	–	
	常時発光		–	○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	p. 33
	発光禁止		○	○	○*	○	○	○*	△*	–	○*	○*	○*	○*	
赤目緩和			○	○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	p. 33

			AUTO								P	Tv	Av	M	参照先
スローシンクロ		入	–	–	○	○	–	○	△	–	○	–	○	–	p. 35
		切	○	○	–	–	○	–	△*	–	○*	○	○*	○	
ストロボ自動調光		入	○	○	○	○	○	○	○	–	○	○*	○*	–	p. 84
		切	–	–	–	–	–	–	–	–	–	○	○	○	
ストロボ発光	先幕		○	○	○	○	○	–	○	–	○*	○*	○*	○*	p. 86
	後幕		–	–	–	–	–	○	–	–	○	○	○	○	
ストロボ自動ポップアップ		入	○	○	○	○	○	○	○	–	○*	○*	○*	○*	p. 33
		切	–	–	–	–	–	–	–	–	○	○	○	○	
ドライブモード	シングル撮影	□	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	–
	通常連続撮影		–	○	○	○	○	○	–	–	○	○	○	○	p. 49
	10 秒セルフタイマー		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 47
	2 秒セルフタイマー		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
インターバル撮影			–	–	–	–	–	–	–	–	○	○	○	○	p. 87
AF 枠の選択	中央一点		○	○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○*	○*	p. 71
	マニュアル選択		–	–	–	–	–	–	–	–	○	○	○	○	
AF ロック			–	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 90
マニュアルフォーカス		MF	–	○	○	○	○	○	○	–	○	○	○	○	p. 91
デジタルズーム		入	○	○	○	○	○	○	–	–	○	○	○	○	p. 48
		切	○*	○*	○*	○*	○*	○*	–	–	○*	○*	○*	○*	

機能			アイコン	AUTO								P	Tv	Av	M	参照先
露出補正				–	○	○	○	○	○	△	○ (2)	○	○	○	–	p. 74
測光方式	評価測光			○	○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○*	○*	p. 72
	中央部重点平均測光			–	–	–	–	–	–	–	–	○	○	○	○	
	スポット測光			–	–	–	–	–	–	–	–	○	○	○	○	
		中央固定		–	–	–	–	–	–	–	–	○*	○*	○*	○*	
		AF 枠連動		–	–	–	–	–	–	–	–	○	○	○	○	
AE ロック / FE ロック撮影				–	–	–	–	–	–	–	○ (3)	○	○	○	–	p. 82, 83
ブラケット撮影	AEB			–	–	–	–	–	–	–	–	○	○	○	–	p. 80
	フォーカスブラケット			–	–	–	–	–	–	–	–	○ (1)	○ (1)	○ (1)	○ (1)	p. 81
ホワイトバランス (4)			WB	– (5)	○	○	○	○	○	△	○ (6)	○	○	○	○	p. 75
色効果				–	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	p. 78
	コントラスト / シャープネス / 色の濃さ			–	–	–	–	–	–	–	–	○	○	○	○	
フォーカス設定	CONT			○*	○*	○*	○*	○	○	△*	○	○*	○*	○*	○*	p. 93
	SINGLE			○	○	○	○	○	○	△	–	○	○	○	○	
ISO 感度			ISO	– (7)	– (7)	– (7)	– (7)	– (7)	– (7)	– (7)	– (7)	○	○	○	○ (8)	p. 77
縦横自動回転			入	○*	○*	○*	○*	○*	○*	△*	–	○*	○*	○*	○*	p. 104
			切	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	

*初期設定　○：設定可　△：最初の1画像で設定可　ー：設定不可

- ：電源を切っても、解除されません。
- [日付/時刻]、[言語]、[ビデオ出力方式]以外のメニュー設定と、ボタン操作によるカメラの設定を、一度にすべて初期設定に戻すことができます（p. 64）。

(1) マニュアルフォーカス時のみ設定できます。
(2) AEロックした後、設定できます。
(3) AEロックのみ設定できます。
(4) 色効果が[セピア]、[白黒]の場合は設定できません。
(5) ホワイトバランスは［オート］に設定されます。
(6) ホワイトバランス［ストロボ］は設定できません。
(7) カメラが自動的に設定します。
(8) ISO [AUTO]は設定できません。